

**「第三次魚沼市総合計画」（仮称）
策定に関する
市民アンケート調査結果報告書**

令和6年3月

魚 沼 市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査方法	1
3 留意事項	1
 II. 調査結果	 2
1 あなたご自身のことについて	2
2 魚沼市の印象や住みやすさなどについて	9
3 普段の生活について	32
3-1 不安に感じていることについて	32
3-2 外出するときの困りごと等について	41
3-3 市政への参加・参画について	44
3-4 地域での活動やボランティアについて	46
3-5 地球温暖化について	49
4 人口減少について	52
5 市政全般の満足度・重要度について	64
6 自由記載	89
7 アンケート調査を終えて	97

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第二次魚沼市総合計画」の総括及び令和8年度から10年間のまちづくりの指針となる「第三次魚沼市総合計画」（仮称）の資料とするため、市民の生活実態や市が進めてきた施策に対する評価、まちづくりに対する市民意識等を把握し、広く市民の意向等を反映した計画づくりを行うために実施したものです。

2 調査方法

(1) 調査設計

- ① 調査地域：魚沼市全域
- ② 調査対象：市内在住の18歳以上の市民1,000人
- ③ 抽出方法：住民基本台帳から年代別に無作為抽出
- ④ 調査期間：令和5年12月16日（月）～令和6年1月15日（月）
- ⑤ 調査方法：調査票を郵送し、回答を返信用封筒にて返送、又は専用ページからインターネットで回答
- ⑥ 回収率

配布数	有効回収数		回収率
1,000 票	全体	536 票	53.6%
	うち郵送回収	392 票	
	うち Web 回収	144 票	

(2) 調査項目

- ① 回答者の属性
- ② 魚沼市の印象や住みやすさなど
- ③ 普段の生活について
- ④ 人口減少について
- ⑤ 市政全般の満足度・重要度について

3 留意事項

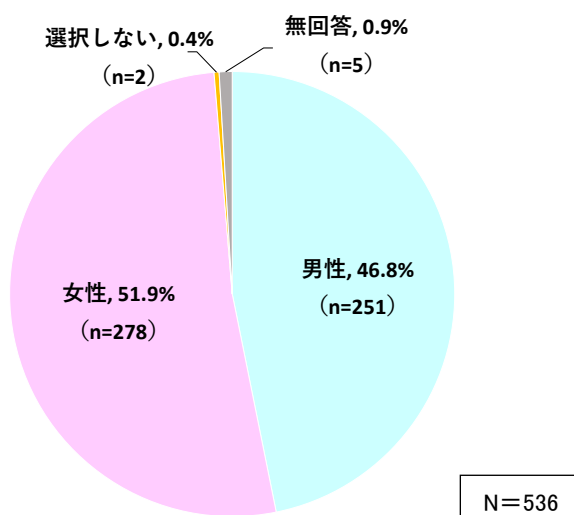
- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- グラフ及び表において「無回答」とあるのは、回答が示されなかったものを表します。
- グラフ、数表上の選択肢表記は、場合により語句を簡略化しています。
- 「N」（Number Of Cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数です。（無回答を含む）
- 「n」は各選択肢の回答者数を示しており、複数回答の場合は「n」の総数が回答者の総数「N」と一致しない場合があります。

Ⅱ．調査結果

1 あなたご自身のことについて

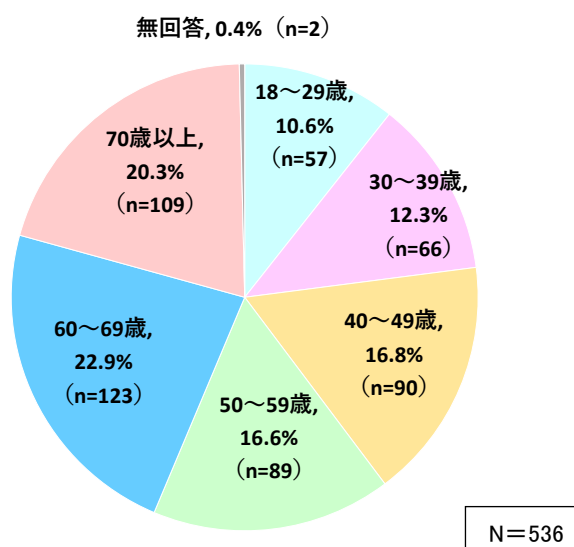
問1 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

回答者の性別は、「男性」が46.8%、「女性」が51.9%となっています。



問2 あなたの年齢は、何歳ですか。（○は1つ）

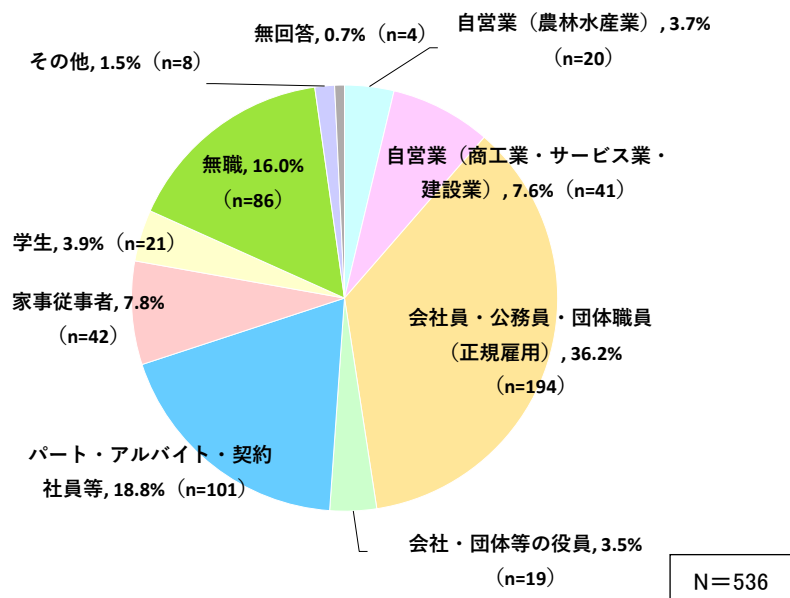
回答者の年齢構成は、「60～69歳」が22.9%と最も高く、次いで「70歳以上」（20.3%）、「40～49歳」（16.8%）となっており、60歳以上が4割強を占めています。



問3 あなたの職業はどれにあたりますか。※兼業の方は主な職業を選んでください。

(○は1つ)

回答者の主な職業は、「会社員・公務員・団体職員（正規雇用）」が36.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・契約社員等」（18.8%）、「無職」（16.0%）となっています。



●問3 その他の回答内容
内職
シルバー人材センター
介護士
不動産管理
法人職員

■問 3 × 年齢別

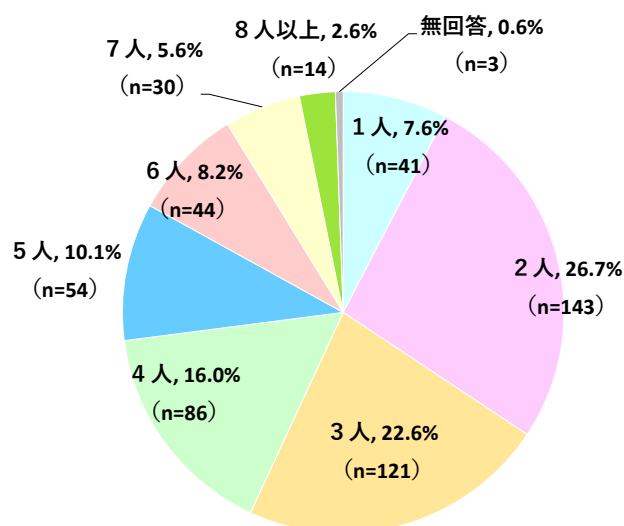
●年齢別では、“18～29 歳”は、「学生」と「会社員・公務員・団体職員（正規雇用）」の割合が高く、“30～39 歳”から“50～59”歳は、「会社員・公務員・団体職員（正規雇用）」が最も高くなっています。

また、“60～69 歳”は「パート・アルバイト・契約社員等」、「70 歳以上」は、「無職」がそれぞれ最も高くなっています。

単位：%		回 答 数	自 営 業 （ 農 林 水 産 業 ）	自 営 業 （ 商 工 業 ・ サ ー ビ ス 業 ・ 建 設 業 ）	会 社 員 ・ 公 務 員 ・ 団 体 職 員 （ 正 規 雇 用 ）	会 社 ・ 団 体 等 の 役 員	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ 契 約 社 員 等	家 事 従 事 者	学 生	無 職	そ の 他	無 回 答
合計		536	3.7	7.6	36.2	3.5	18.8	7.8	3.9	16.0	1.5	0.7
年 齢	18～29 歳	57	0.0	1.8	35.1	0.0	19.3	0.0	36.8	3.5	3.5	0.0
	30～39 歳	66	3.0	4.5	66.7	0.0	16.7	1.5	0.0	4.5	1.5	1.5
	40～49 歳	90	3.3	8.9	67.8	2.2	13.3	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0
	50～59 歳	89	3.4	13.5	52.8	5.6	15.7	5.6	0.0	3.4	0.0	0.0
	60～69 歳	123	4.9	8.9	15.4	7.3	30.9	17.1	0.0	12.2	3.3	0.0
	70 歳以上	109	5.5	5.5	2.8	2.8	13.8	13.8	0.0	54.1	0.9	0.9

問4 一緒に住んでいるご家族の人数はあなたを含めて何人ですか。（○は1つ）

同居している家族の人数は、「2人」が26.7%と最も高く、次いで「3人」（22.6%）、「4人」（16.0%）となっています。

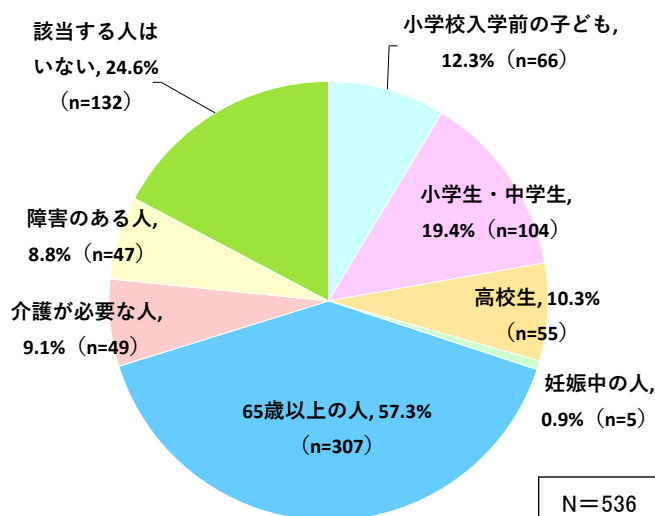


N=536

問5 一緒に住んでいるご家族の中に、次に当てはまる人はいますか。あなたを含めてお答えください。（○はいくつでも）

回答者自身も含め、家族内における小中高校生や要配慮者の存在については、「65歳以上の人」が57.3%と最も高く、回答者の6割弱において、家族内に65歳以上の高齢者が居ることがうかがえます。

また、「該当する人はいない」は24.6%で、回答者の7割強には、家族内に小中高校生や要配慮者が居ることがうかがえます。

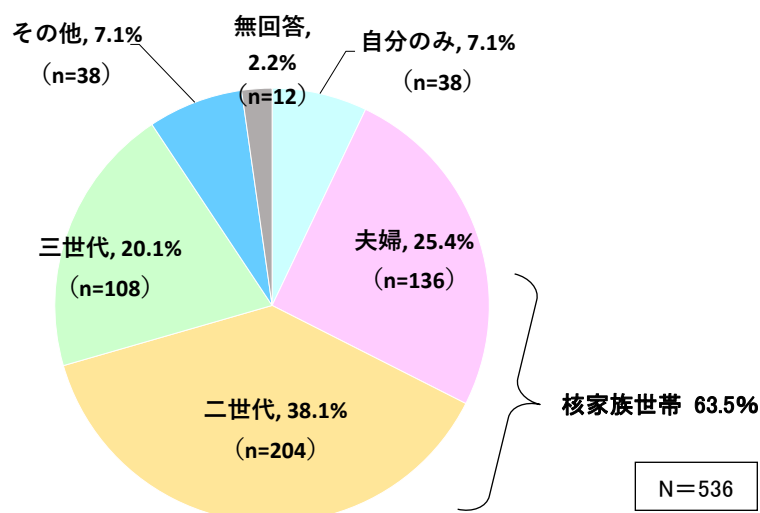


N=536

問6 一緒に住んでいる家族の構成はどれにあたりますか。(○は1つ)

回答者の家族構成は、「二世帯」が38.1%と最も高く、次いで「夫婦」(25.4%)、「三世帯」(20.1%)となっています。

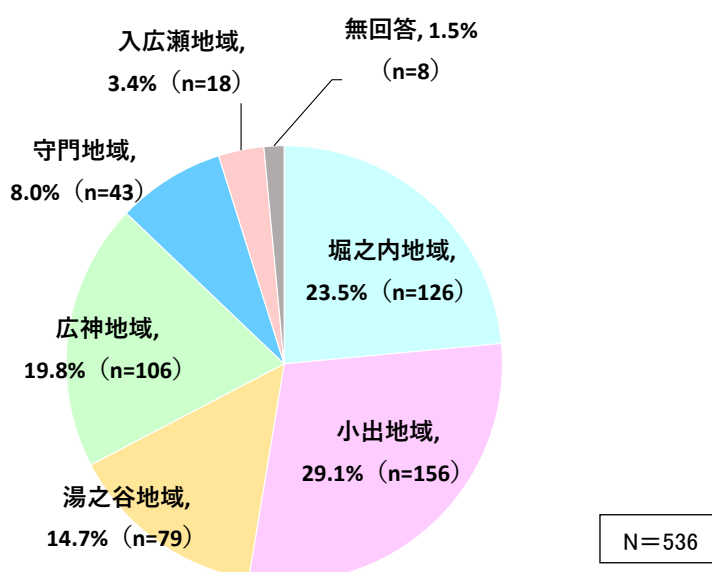
また、「夫婦」と「二世帯」からなる“核家族世帯”が63.5%と全体の6割強を占めています。



●問6 その他の回答内容	
同棲	4世代
一世帯	恋人
自分、子ども2人	夫婦と子供
兄妹	母親、兄

問7 あなたのお住まいはどこですか。(○は1つ)

回答者の居住地域は、「小出地域」が29.1%と最も高く、次いで「堀之内地域」(23.5%)、「広神地域」(19.8%)となっています。

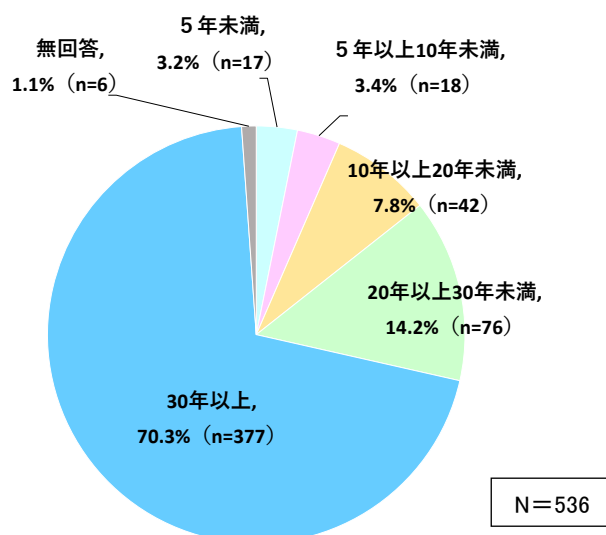


問8 あなたは、魚沼市に住んでどのくらい経ちましたか。※通算でお答えください。

(○は1つ)

回答者の魚沼市での居住年数は、「30年以上」が70.3%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」(14.2%)、「10年以上20年未満」(7.8%)となっています。

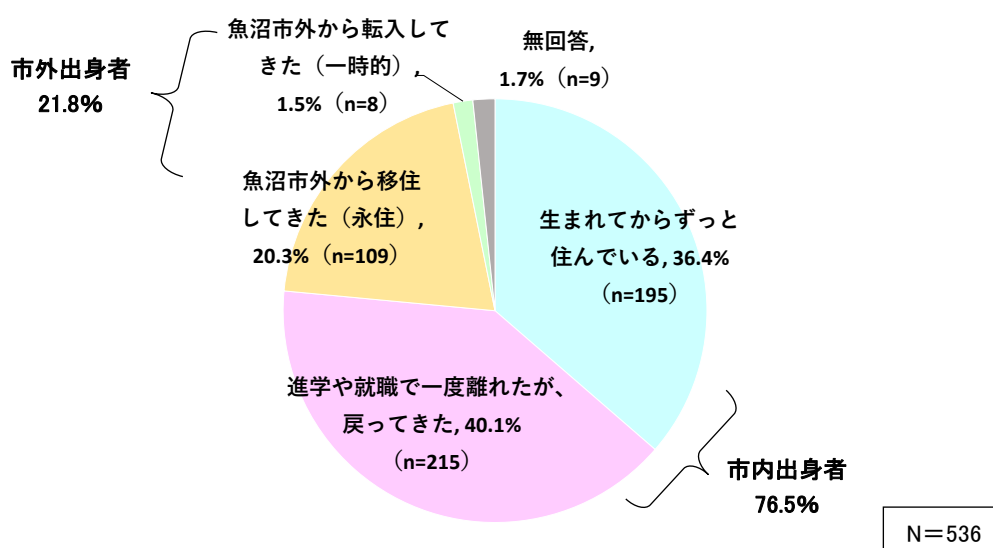
魚沼市に20年以上居住している人が全体の8割強を占めており、居住年数の長い人が多くなっています。



問9 あなたは、ずっと魚沼市に住んでいますか。(○は1つ)

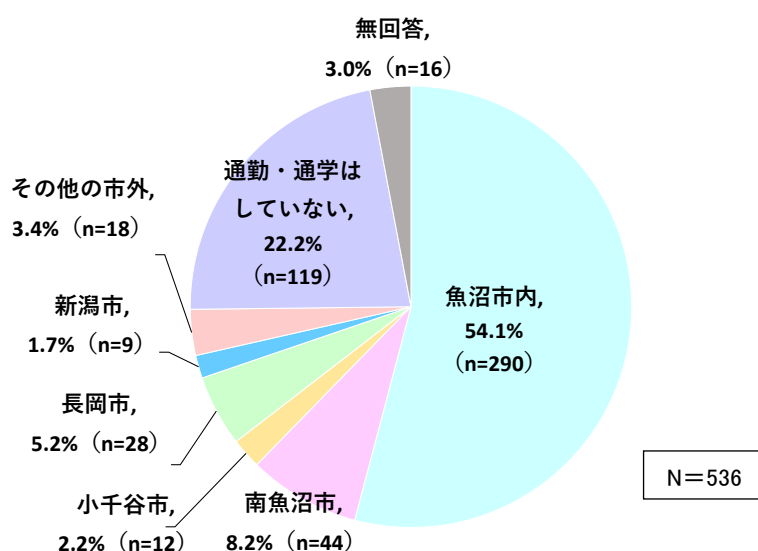
これまでの居住歴は、「進学や就職で一度離れたが、戻ってきた」が40.1%と最も高く、次いで「生まれてからずっと住んでいる」(36.4%)、「魚沼市外から移住してきた(永住)」(20.3%)となっています。

また、「生まれてからずっと住んでいる」と「進学や就職で一度離れたが、戻ってきた」を合わせた「市内出身者」は76.5%、「魚沼市外から移住してきた(永住)」と「魚沼市外から転入してきた(一時的)」を合わせた「市外出身者」は21.8%となっています。



問 10 あなたの職場や通学先はどこですか。（○は1つ）

回答者の通勤・通学先は、「魚沼市内」が 54.1%と過半数を占めており、次いで「通勤・通学はしていない」（22.2%）、「南魚沼市」（8.2%）となっています。



問 10 × 職業別

- 職業別では、自営業及び勤め人の通勤先は、「魚沼市内」が 60～80%台を占め最も高くなっています。また、“学生”は、「長岡市」と「新潟市」が共に 28.6%と最も高く、次いで「その他の市外」（23.8%）となっています。

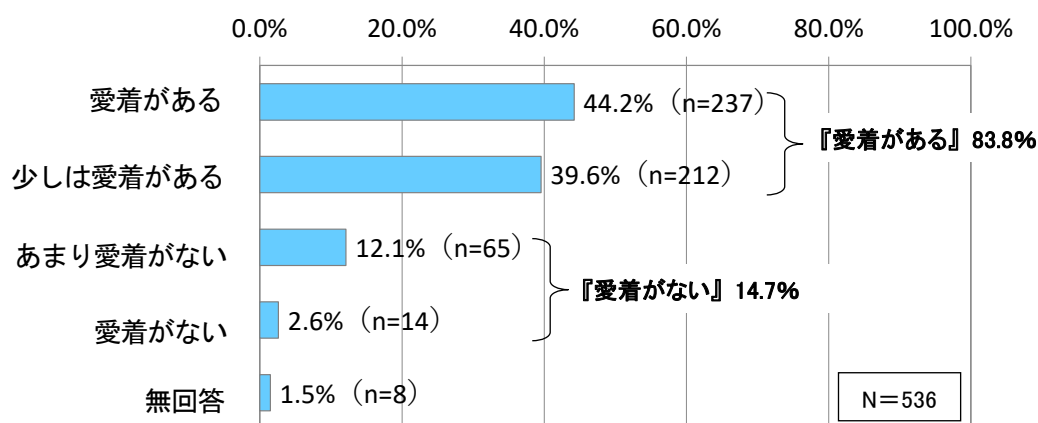
単位: %		回答数	魚沼市内	南魚沼市	小千谷市	長岡市	新潟市	その他の市外	通勤・通学はしていない	無回答
合計		536	54.1	8.2	2.2	5.2	1.7	3.4	22.2	3.0
職業	自営業(農林水産業)	20	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	5.0
	自営業(商工業・サービス業・建設業)	41	82.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	7.3	2.4
	会社員・公務員・団体職員(正規雇用)	194	62.9	17.5	5.2	9.3	1.0	3.6	0.5	0.0
	会社・団体等の役員	19	78.9	5.3	0.0	5.3	0.0	10.5	0.0	0.0
	パート・アルバイト・契約社員等	101	83.2	8.9	2.0	3.0	1.0	0.0	0.0	2.0
	家事従事者	42	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.1	4.8
	学生	21	14.3	0.0	0.0	28.6	28.6	23.8	0.0	4.8
	無職	86	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	83.7	8.1
	その他	8	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

2 魚沼市の印象や住みやすさなどについて

問 11 あなたは、魚沼市に「自分のまち」としての愛着がありますか。（○は1つ）

魚沼市への愛着については、「愛着がある」が44.2%、「少しは愛着がある」が39.6%となっており、2つを合わせた『愛着がある』は83.8%と8割を超えています。

一方、「あまり愛着がない」が12.1%、「愛着がない」が2.6%となっており、2つを合わせた『愛着がない』は14.7%であり、魚沼市への愛着度は高いことがうかがえます。



■問 11 × 性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

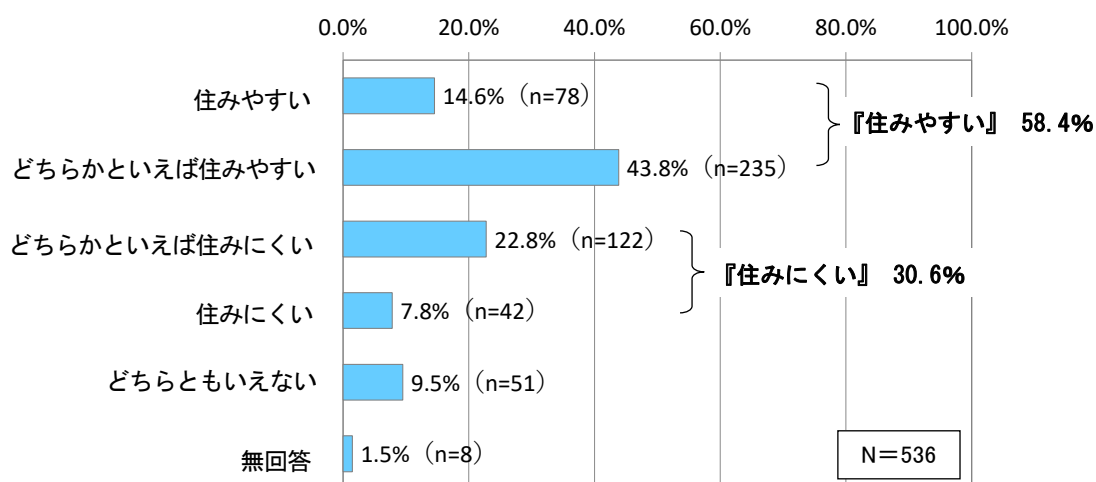
- 性別では、「愛着がある」と「少しは愛着がある」の2つを合わせた『愛着がある』は、男性が83.7%、女性が84.5%で、女性のほうが若干高くなっています。
- 年齢別では、『愛着がある』は、“70歳以上”が89.0%と最も高く、“18～29歳”と“40～49歳”が共に78.9%で最も低くなっており、若年層の愛着度が中高年層に比べて低くなっています。
- 居住地域別では、『愛着がある』は、“広神地域”が88.7%と最も高く、“入広瀬地域”が77.8%で最も低く、約10ポイントの差がみられます。
- 居住年数別では、『愛着がある』は、“30年以上”が87.5%と最も高く、居住年数が20年以上は、『愛着がある』が8割を超えています。『愛着がある』の割合が最も高い“30年以上”と最も低い“5年未満”（52.9%）では、約35ポイントの差がみられ、居住年数が高くなるほど愛着度も高くなっています。

単位：%		回答数	愛着がある	少しは愛着がある	あまり愛着がない	愛着がない	無回答	愛着がある 愛着がある 少しは	愛着がない 愛着がない あまり
合計		536	44.2	39.6	12.1	2.6	1.5	83.8	14.7
性別	男性	251	48.2	35.5	11.6	3.6	1.2	83.7	15.1
	女性	278	41.0	43.5	12.6	1.8	1.1	84.5	14.4
年齢	18～29歳	57	36.8	42.1	14.0	7.0	0.0	78.9	21.1
	30～39歳	66	31.8	50.0	15.2	3.0	0.0	81.8	18.2
	40～49歳	90	42.2	36.7	16.7	4.4	0.0	78.9	21.1
	50～59歳	89	39.3	47.2	11.2	2.2	0.0	86.5	13.5
	60～69歳	123	51.2	34.1	13.0	0.8	0.8	85.4	13.8
	70歳以上	109	54.1	34.9	5.5	0.9	4.6	89.0	6.4
居住地域	堀之内地域	126	35.7	49.2	14.3	0.8	0.0	84.9	15.1
	小出地域	156	44.9	38.5	10.9	4.5	1.3	83.3	15.4
	湯之谷地域	79	55.7	29.1	13.9	1.3	0.0	84.8	15.2
	広神地域	106	47.2	41.5	8.5	1.9	0.9	88.7	10.4
	守門地域	43	48.8	34.9	11.6	4.7	0.0	83.7	16.3
	入広瀬地域	18	33.3	44.4	11.1	0.0	11.1	77.8	11.1
居住年数	5年未満	17	23.5	29.4	23.5	23.5	0.0	52.9	47.1
	5年以上 10年未満	18	22.2	50.0	27.8	0.0	0.0	72.2	27.8
	10年以上 20年未満	42	31.0	47.6	16.7	4.8	0.0	78.6	21.4
	20年以上 30年未満	76	36.8	46.1	13.2	3.9	0.0	82.9	17.1
	30年以上	377	49.6	37.9	9.8	1.3	1.3	87.5	11.1

問 12 あなたは、魚沼市を住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）

魚沼市の住みやすさについては、「住みやすい」が14.6%、「どちらかといえば住みやすい」が43.8%となっており、2つを合わせた『住みやすい』は58.4%と約6割を占めています。

一方、「どちらかといえば住みにくい」が22.8%、「住みにくい」が7.8%となっており、2つを合わせた『住みにくい』は30.6%となっており、魚沼市は概ね住みやすいと評価されています。



■問 12 × 性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、居住年数別、市への愛着度別

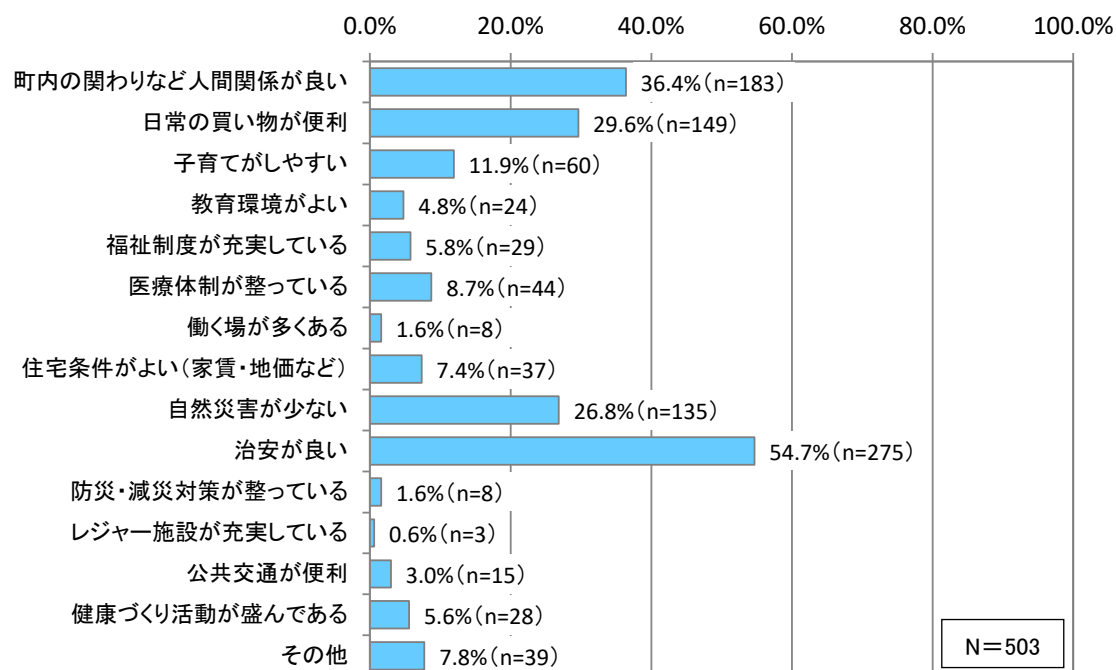
- 性別では、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の2つを合わせた『住みやすい』は、「男性」が59.4%、女性が58.3%で、男性のほうが若干上回っています。
- 年齢別では、『住みやすい』は、「70歳以上」が66.1%と最も高く、「40～49歳」が47.8%で最も低く、約18ポイントの差がみられます。
なお、「住みにくい」のみに限ってみると、「18～29歳」を除く年代は10%以下であるのに対し、「18～29歳」は17.5%と最も高く、住みにくいと感じている若者が2割弱みられます。
- 家族構成別では、いずれの家族構成も『住みやすい』が50～60%台を占めており、そのうち、「夫婦」が64.0%と最も高くなっています。
- 居住地域別では、いずれの居住地域も『住みやすい』が『住みにくい』を上回っており、『住みやすい』は、「小出地域」が64.1%と最も高く、「入広瀬地域」が50.0%で最も低く、約14ポイントの差がみられます。
なお、「住みにくい」のみに限ってみると、「守門地域」を除く居住地域は10%以下であるのに対し、「守門地域」は11.6%と最も高く、居住地域によって住みやすさに差異がみられます。
- 居住年数別では、『住みやすい』は、「5年以上10年未満」が66.7%と最も高いのに対し、「5年未満」と「10年以上20年未満」は40%台にとどまり、居住年数によって住みやすさに差異がみられます。

●市への愛着度別では、『住みやすい』との回答割合は、市への“愛着がある”人は83.5%、
“少しは愛着がある”人は50.9%、“あまり愛着がない”人は10.8%、“愛着がない”
人は0.0%となっており、市への愛着度が高いほど住みやすいと実感している割合が
高くなっています。

単位：%		回 答 数	住 み や す い	ど ち ら か と い え ば 住 み や す い	ど ち ら か と い え ば 住 み に く い	住 み に く い	ど ち ら と も い え な い	無 回 答	住 み に く い + ど ち ら か と い え ば 住 み に く い	住 み に く い + ど ち ら か と い え ば 住 み や す い
合計		536	14.6	43.8	22.8	7.8	9.5	0	58.4	30.6
性別	男性	251	18.3	41.0	19.5	9.6	10.0	1.6	59.4	29.1
	女性	278	11.5	46.8	25.5	6.1	9.0	1.1	58.3	31.7
年齢	18～29 歳	57	14.0	40.4	24.6	17.5	3.5	0.0	54.4	42.1
	30～39 歳	66	10.6	50.0	25.8	9.1	4.5	0.0	60.6	34.8
	40～49 歳	90	7.8	40.0	35.6	7.8	8.9	0.0	47.8	43.3
	50～59 歳	89	12.4	42.7	23.6	9.0	11.2	1.1	55.1	32.6
	60～69 歳	123	13.0	50.4	17.1	4.9	13.0	1.6	63.4	22.0
	70 歳以上	109	26.6	39.4	14.7	4.6	11.0	3.7	66.1	19.3
家族の構成	自分のみ	38	10.5	50.0	7.9	7.9	15.8	7.9	60.5	15.8
	夫婦	136	18.4	45.6	20.6	4.4	11.0	0.0	64.0	25.0
	二世帯	204	9.8	44.1	25.5	9.3	9.8	1.5	53.9	34.8
	三世帯	108	19.4	42.6	23.1	9.3	5.6	0.0	62.0	32.4
	その他	38	15.8	36.8	28.9	7.9	10.5	0.0	52.6	36.8
居住地域	堀之内地域	126	8.7	45.2	29.4	8.7	7.9	0.0	54.0	38.1
	小出地域	156	20.5	43.6	17.9	8.3	8.3	1.3	64.1	26.3
	湯之谷地域	79	13.9	48.1	20.3	5.1	12.7	0.0	62.0	25.3
	広神地域	106	15.1	42.5	23.6	6.6	10.4	1.9	57.5	30.2
	守門地域	43	9.3	44.2	25.6	11.6	7.0	2.3	53.5	37.2
	入広瀬地域	18	16.7	33.3	16.7	5.6	22.2	5.6	50.0	22.2
居住年数	5年未満	17	11.8	35.3	29.4	11.8	11.8	0.0	47.1	41.2
	5年以上 10 年未満	18	16.7	50.0	22.2	5.6	5.6	0.0	66.7	27.8
	10 年以上 20 年未満	42	9.5	31.0	31.0	11.9	16.7	0.0	40.5	42.9
	20 年以上 30 年未満	76	13.2	44.7	22.4	15.8	3.9	0.0	57.9	38.2
	30 年以上	377	15.4	45.4	21.8	5.8	10.1	1.6	60.7	27.6
市への愛着	愛着がある	237	27.8	55.7	9.3	1.3	5.5	0.4	83.5	10.5
	少しは愛着がある	212	5.7	45.3	27.8	8.5	11.8	0.9	50.9	36.3
	あまり愛着がない	65	0.0	10.8	55.4	16.9	15.4	1.5	10.8	72.3
	愛着がない	14	0.0	0.0	21.4	71.4	7.1	0.0	0.0	92.9

問 13 あなたは、魚沼市のどのようなところを住みやすいと感じますか。（〇は3つまで）

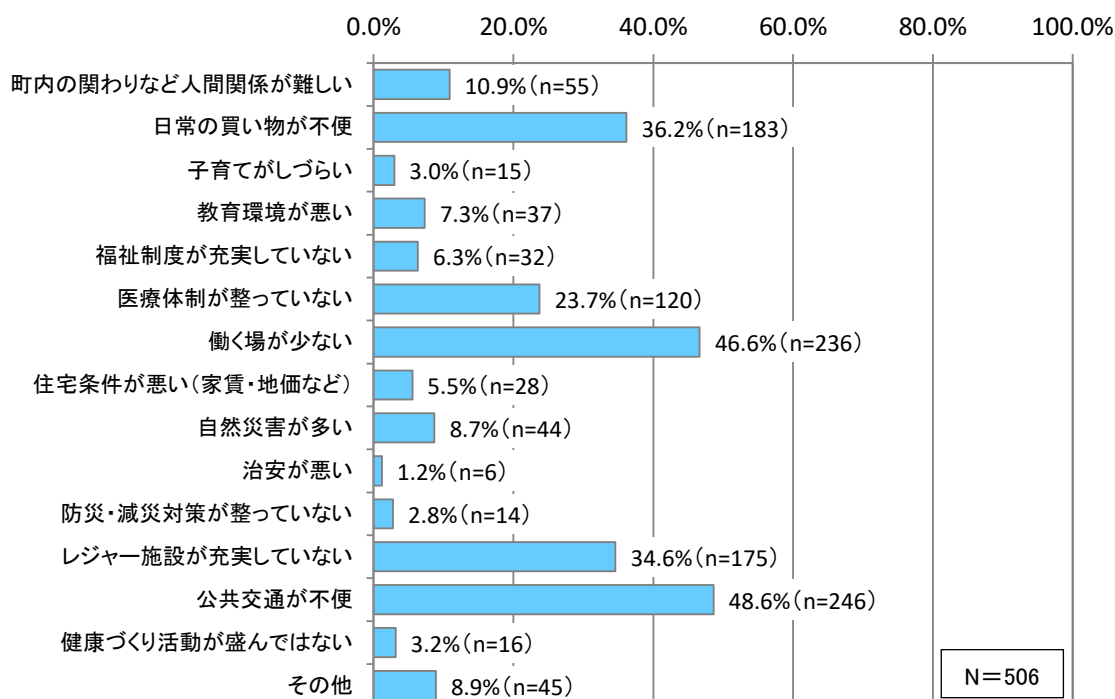
魚沼市の住みやすいところは、「治安が良い」が54.7%を占め最も高く、その他「町内の関わりなど人間関係が良い」（36.4%）、「日常の買い物が便利」（29.6%）、「自然災害が少ない」（26.8%）が回答の上位を占めています。



●問 13 その他の回答内容	
山が近い。	自然に囲まれている。
雪がたくさん降るところ、景色がきれい。	自然に恵まれている。
良くも悪くも田舎な所。	高速インターと新幹線の駅が近くて良い。
自然が綺麗。	自然に囲まれているところ。
自然がある。	自然が豊か。温泉がある。
支援金の制度が充実している。	自然豊か。
良いところは特別ありません。	生家だから。
住みやすいと思っていない。	空気がきれい。
コンパクトな生活圏。	長く住んでいて、初めての所よりよくわかっている。
自然環境が良い。	自然が多い。
雰囲気が落ち着いている。	自然が有る、の項目が無い。
小出町のシャッター街はすごく不便。なにかお店をやった方が良い。すごく流行ると思う。	自然。
雪が好き。ブナ林などの自然が好き。	住みやすいと感じない。
人が少ない。自然が多い。	自然が豊か。
自然がたくさんある。	自然豊かである。
毎年開催のイベントがある(まつり、農業祭など)。	

問 14 あなたは、魚沼市のどのようなところを住みにくいと感じますか。（〇は3つまで）

魚沼市の住みにくいところは、「公共交通が不便」(48.6%)と「働く場が少ない」(46.6%)が共に5割弱を占め高く、その他「日常の買い物が不便」(36.2%)、「レジャー施設が充実していない」(34.6%)が回答の上位を占めています。

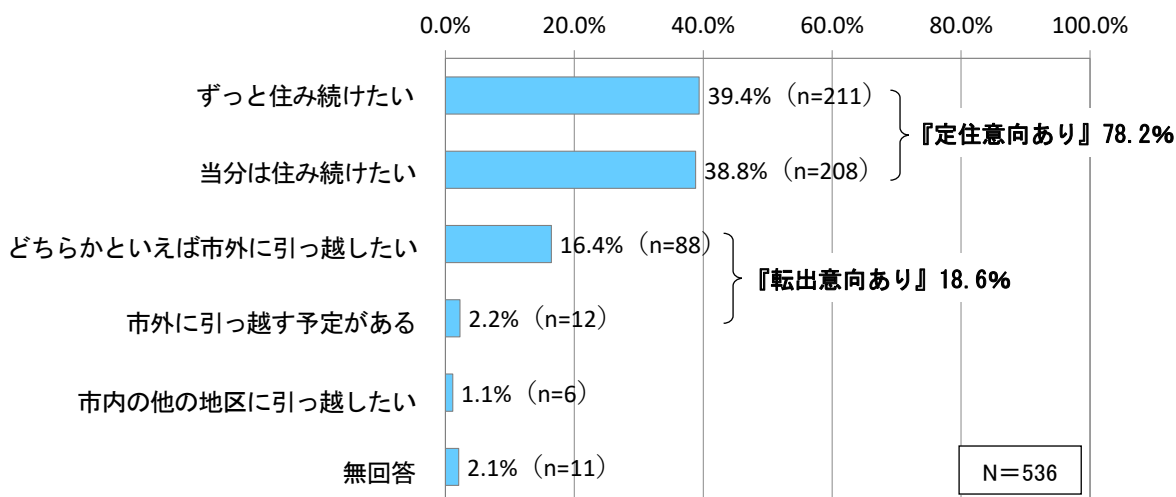


●問 14 その他の回答内容	
自然に囲まれている。	金融機関の駐車場が足りない。
自然に恵まれている。	プールがない。
高速インターと新幹線の駅が近くて良い。	家畜の悪臭対策をしていない。
自然に囲まれているところ。	子どもの衣類店、大型店舗、ファストフードがなくて不便。
自然が豊か。温泉がある。	町内行事、仕事が多い。
自然豊か。	ファストフード店、ショッピングモールがない。
生家だから。	教育施設不足（大学・高校）。
空気がきれい。	温泉があつたり良い場所もあるのにアピールできていないのもったいない。
長く住んでいて、初めての所よりよくわかっている。	除雪体制が悪い。朝の除雪が遅い。
自然が多い。	特に感じていないが、医療福祉の充実は常に必要。
自然が有る、の項目が無い。	雪が多い。
自然。	給付金の申請をしてから、振り込みまでの期間が長すぎる。
住みやすいと感じない。	熊が時々、里におりてくる。
自然が豊か。	観光資源が少ない。
自然豊かである。	降雪期の女性1人住まい。
冬が大変、2回の除雪だけでは夜帰ってこれない。	魚沼市と言っても、住んでる地域によると思う。
雪が多く融雪にお金がかかる。	

問 15 これからも魚沼市に住み続けたいと思いますか。（〇は1つ）

魚沼市での定住意向については、「ずっと住み続けたい」が 39.4%、「当分は住み続けたい」が 38.8%となっており、2つを合わせた『定住意向あり』は 78.2%と約 8 割を占めています。

一方、「どちらかといえば市外に引っ越したい」が 16.4%、「市外に引っ越す予定がある」が 2.2%となっており、2つを合わせた『転出意向あり』は 18.6%となっており、定住意向は高いことがうかがえます。



■問 15 × 性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、居住年数別、市への愛着度別、住みやすさ別

- 性別では、『定住意向あり』は、男性が 82.5%、女性が 75.2%で、男性の方が上回っています。
- 年齢別では、『定住意向あり』は、“70 歳以上”が 86.2%と最も高く、“18～29 歳”が 54.4%で最も低く、約 32 ポイントの差がみられ、若年層の定住意向が低くなっています。
- 家族構成別では、『定住意向あり』は、“自分のみ”が 84.2%と最も高く、次いで“夫婦”の 82.4%となっており、二世帯、三世帯に比べて定住意向が高くなっています。
- 居住地域別では、『定住意向あり』は、“守門地域”が 83.7%と最も高く、“入広瀬地域”が 72.2%で最も低くなっており、約 12 ポイントの差がみられます。
また、『転出意向あり』は、“広神地域”と“入広瀬地域”が 20%台を占め、他の居住地域は 10%台であるなど、居住地域によって定住意向に差異がみられます。
- 居住年数別では、『定住意向あり』は、“30 年以上”が 82.2%と最も高く、“5 年未満”が 58.8%で最も低くなっており、約 23 ポイントの差がみられます。
- 市への愛着度別では、市への“愛着がある”人は、『定住意向あり』が 94.1%を占めているのに対し、“愛着がない”人は 21.4%にとどまり、愛着度が高いほど定住意向も高くなっています。
- 市の住みやすさ別では、“住みやすい”と実感している人は、『定住意向あり』が

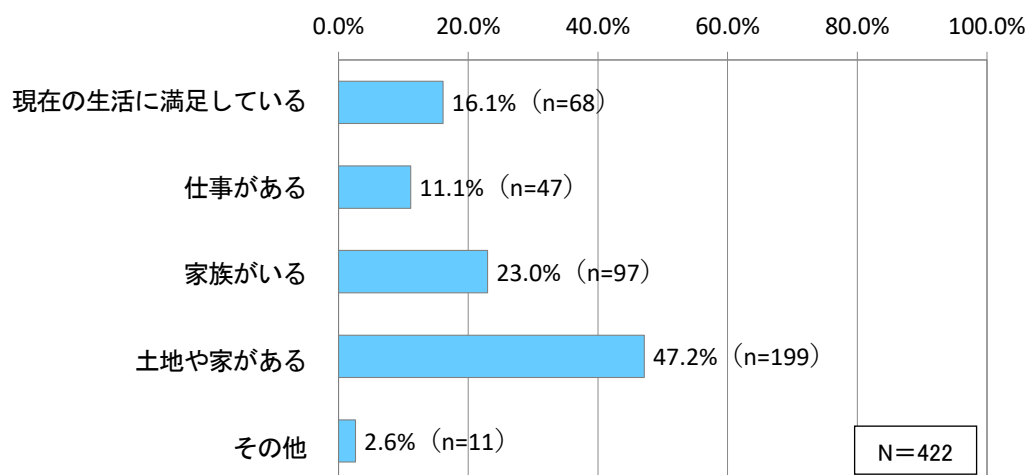
94.9%を占めているのに対し、“住みにくい”と実感している人は31.0%にとどまり、住みやすさの実感度が高いほど、定住意向も高くなっています。

単位：%		回答数	ずっと住み続けたい	当分は住み続けたい	どちらかといえば市外に引っ越したい	どちらかといえば市外に引っ越す予定がある	市内の他の地区に引っ越したい	無回答	定住意向あり	転出意向あり
合計		536	39.4	38.8	16.4	2.2	1.1	2.1	78.2	18.7
性別	男性	251	42.6	39.8	13.1	1.2	0.0	3.2	82.5	14.3
	女性	278	36.7	38.5	19.1	3.2	2.2	0.4	75.2	22.3
年齢	18～29 歳	57	17.5	36.8	29.8	14.0	0.0	1.8	54.4	43.9
	30～39 歳	66	28.8	51.5	16.7	1.5	1.5	0.0	80.3	18.2
	40～49 歳	90	30.0	45.6	23.3	0.0	0.0	1.1	75.6	23.3
	50～59 歳	89	36.0	43.8	16.9	0.0	1.1	2.2	79.8	16.9
	60～69 歳	123	49.6	33.3	11.4	2.4	1.6	1.6	82.9	13.8
	70 歳以上	109	56.9	29.4	9.2	0.0	1.8	2.8	86.2	9.2
家族の構成	自分のみ	38	36.8	47.4	10.5	0.0	0.0	5.3	84.2	10.5
	夫婦	136	43.4	39.0	12.5	2.9	1.5	0.7	82.4	15.4
	二世帯	204	35.8	41.7	19.6	1.0	1.5	0.5	77.5	20.6
	三世帯	108	45.4	33.3	14.8	3.7	0.0	2.8	78.7	18.5
	その他	38	34.2	34.2	26.3	2.6	2.6	0.0	68.4	28.9
居住地域	堀之内地域	126	35.7	43.7	15.9	2.4	0.8	1.6	79.4	18.3
	小出地域	156	42.9	36.5	16.7	1.9	1.3	0.6	79.5	18.6
	湯之谷地域	79	45.6	34.2	17.7	0.0	2.5	0.0	79.7	17.7
	広神地域	106	36.8	39.6	18.9	3.8	0.0	0.9	76.4	22.6
	守門地域	43	39.5	44.2	11.6	0.0	0.0	4.7	83.7	11.6
	入広瀬地域	18	38.9	33.3	16.7	5.6	5.6	0.0	72.2	22.2
居住年数	5年未満	17	17.6	41.2	29.4	11.8	0.0	0.0	58.8	41.2
	5年以上 10 年未満	18	38.9	38.9	22.2	0.0	0.0	0.0	77.8	22.2
	10 年以上 20 年未満	42	28.6	40.5	23.8	4.8	0.0	2.4	69.0	28.6
	20 年以上 30 年未満	76	23.7	47.4	22.4	6.6	0.0	0.0	71.1	28.9
	30 年以上	377	45.4	36.9	13.8	0.8	1.6	1.6	82.2	14.6
市への愛着度	愛着がある	237	66.2	27.8	2.5	0.8	0.8	1.7	94.1	3.4
	少しは愛着がある	212	22.6	52.4	21.2	2.8	0.9	0.0	75.0	24.1
	あまり愛着がない	65	3.1	41.5	43.1	4.6	1.5	6.2	44.6	47.7
	愛着がない	14	0.0	21.4	64.3	7.1	0.0	7.1	21.4	71.4
住みやすさ	住みやすい	78	75.6	19.2	2.6	0.0	0.0	2.6	94.9	2.6
	どちらかといえば住みやすい	235	48.5	43.0	5.1	2.1	0.4	0.9	91.5	7.2
	どちらかといえば住みにくい	122	13.9	42.6	34.4	3.3	3.3	2.5	56.6	37.7
	住みにくい	42	7.1	23.8	59.5	4.8	2.4	2.4	31.0	64.3
	どちらともいえない	51	27.5	54.9	13.7	2.0	0.0	2.0	82.4	15.7

問 16 問 15 で「1」または「2」を選んだ人におたずねします。

住み続けたい理由は何ですか。（○は1つ）

問 15 で、「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分は住み続けたい」と回答した人に、住み続けたい理由を尋ねたところ、「土地や家がある」が 47.2%と最も高く、次いで「家族がいる」（23.0%）、「現在の生活に満足している」（16.1%）となっており、土地との結びつきや家族とのつながりが主な理由となっています。



●問 16 その他の回答内容	
他に行く気もない。	子どもが成人するまで。
ここしかないから。	親が生きているうちはそばにいてあげたいから。
お金を貯めるため。	親がいるから。
現状維持が可能であれば。	住み慣れている。
今更引越すのも面倒。	新しい環境になれるのは難しい。
十五夜祭。	現在の生活に充分満足とまではいかないが、他のところに住むということの想像ができない。
子どもが成人するまで。	

問 17 問 16 で「1」を選んだ人におたずねします。

現在の生活のどのようなところに満足していますか。（自由記載）

問 16 で、「1. 現在の生活に満足している」と回答した人に、どのようなところに満足しているかを自由記載方式で尋ねたところ、様々な回答が寄せられました。

ここでは、頂いた回答について、主なテーマごとに分類して掲載しています。なお、一つの回答欄に、複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。

これをみると、満足な理由として、“自然が豊かなところ”、“土地や家（家族）、仕事があるから”、“不便さや不自由さを感じないところ”といった回答が上位を占めています。

〔現在の生活に満足しているところ（自由記載）回答件数〕

分類項目	回答数（件）
自然が豊かなところ	17
土地や家（家族）、仕事があるから	13
不便さや不自由さを感じないところ	11
住環境がよいから	7
人情味や地域の連帯感があるから	6
生まれ育ったところだから	4
特に不満がない	6
その他	3
合計	67

●自然が豊かなところ
自然豊かな生活が好きだから。
自然山川、草木等が多く心がなごみます。
自然環境と共存しているところ。
自然や環境が満足してます。
自然の景色が綺麗。春夏秋冬で全く変わって、登下校時にとても楽しかった。
自然が豊かだから。（2名）
自然が豊かで、おだやかに生活ができる事。
自然が多い。
自然がある。（2名）
自然があり、のんびり生活できる。健康なうちは住みたい。
山や川がある所。
常に自然を感じられる所。
自然がキレイ。
只見線が近くを通って自然に恵まれています。
問 16 の 1、2、3、4 全てが当てはまる。自然が美しい、米がおいしい。

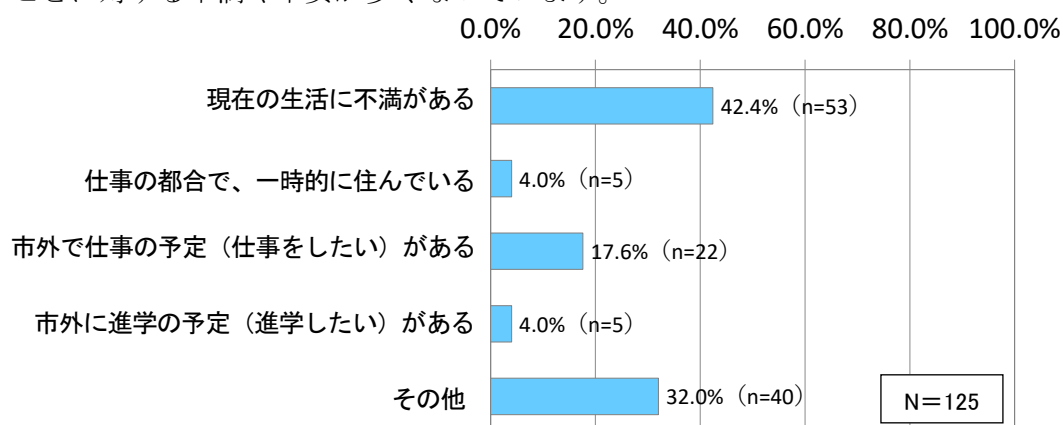
●土地や家（家族）、仕事があるから
家や土地があるから。
持ち家がある。
家があり仕事もある。
生家がある。
冬の仕事で、須原スキー場で仕事ができている。（スキー学校）
家族がいて世帯がある普通の暮らしができているから。
家族いて、友達いて、いまの所は車での買物も出来る事。
家族6人で気をつかわないで仲良く生活している。
まだ健康で働けて、家族が皆仲良く生活が出来ている。
コミュニケーションがとれていて、仕事での収入面も安定しているから。
自分の子供2人が、魚沼市に住んでいて、いつでも会える地域に居るから。
幼なじみや昔からの友人、そして家族がいる。
持家1戸建でアクセス良好。
●不便さや不自由さを感じないところ
不便なことが少ないため。
特に不便な所がないため。
生活上の不便を感じない。しかし年齢を重ね、家族構成などに変化が生じた場合はわからない。
一通りのものは揃うし、用事も足せる。（車生活ができれば）
衣食住に今のところ不自由がない。
2人暮らしですが、食生活と運動に重点をおき、今のところ買い物も自家用車を利用、年金も2人で十分頂いており、長男家族も同敷地内に暮らしていますので満足です。
1人暮らしなので思うままに生活ができること。
家から近いところにコンビニやお店があるため。
問13の答えのように、生活に不便をそれほど感じないし、環境・地理的（位置）にもとてもよい所だと思っている。
地理的、地域的にも住みやすい場所にある。スーパーも近い町内関係もよいと思う。
生活していく上で住みやすい。
●住環境がよいから
環境がいい。
空気がおいしくてリラックスできる。都市部に比べストレスが減っているような気がする。また周りの人の目を気にせず生活できる。
良くも悪くも田舎な所。
治安が良い。
のんびりしている。
病院が近い所にある。
学校が近くにある。

●人情味や地域の連帯感があるから
近所と離れず、近すぎず（気づかい等）。
近所との人付き合い、人の温かさ。
地域の人々の人間性が良い。
人々もゆったりされた方が多く、やさしい方が多いです。
知り合いが多く、町内の助け合い、コミュニティがそこそこ充実していて満足できる。
住んでいる地域には農家直売所があり、ユリの花がメインですが、野菜等も販売している為、地域のお年寄りが一生懸命野菜を作っています。この直売所が地域の交流の中心となり、四季折々のイベントや行事、お年寄りの見守り隊の役割を果たし、住民の活力となっていてとっても誇れる集落です。
●生まれ育ったところだから
生まれ育った所なので生活するのに楽。
生まれ育った所だから、家族を大切にしたいから。
住み慣れているから。
どこに住んでも、何年も住んでいれば住めば都ということで、他にはあまり移動はしたくない。
●特に不満がない
不満がない。
特に悪いところがないところ。
冬の豪雪と昨今の猛暑はどうしようもないが、他に全く不満は無いから。
5、60年住んで特に困った事がなかった。
特に不満がない
満たされている。
●その他
このままでいいから。
買い物は車で、働く場ももっとほしい。子供も少なく、塾も車の送迎、住みにくいと思えばそう思える。でも良い所を考えながら、ここで生まれ楽しんで学校に通う子供（孫）に良い思い出を作してほしい。
温泉がある。

問 18 問 15 で「3」または「4」を選んだ人におたずねします。

引っ越したい理由は何ですか。（〇は1つ）

問 15 で、「3. どちらかといえば市外に引っ越したい」または「4. 市外に引っ越す予定がある」と回答した人に、引っ越したい理由を尋ねたところ、「現在の生活に不満がある」が 42.4%と最も高く、次いで「その他」が 32.0%、「市外で仕事の予定（仕事をしたい）がある」が 17.6%となっています。また、「その他」の回答内容としては、特に雪が多いことに対する不満や不安が多くなっています。



問 18 その他の回答内容
高齢になった時一人では不便。雪問題。
雪が大変。
老後は分からないから。
給料の単価が低い。
雪がたくさん降るから。
雪の無い所に行きたい。
屋根の雪掘りが大変。
一戸建てを売る事はいい。
高齢者に対する公共施設、交流の場所が少ない。
商業施設が少ない。雪が多い。
住み続けたいと思う魅力がない。
今まで、社会で仕事をたのんでいた。
実家が南魚沼市のため、家族の状況によっては家へ帰る予定（必要がある）。
公共事業関係者のみが優遇されている。
仕事と除雪か今は大変、年と共に不安。
老後、相続、後継者、雪処理。
雪。公通の便や先のことを考えると心配がたくさん。
老後の雪への心配。
子供の所へ行きたい。
夫婦で元気なうちはいいが、どちらかが動けなくなったらむずかしい。
子供の近くへ転居。
生活環境が悪い。雪の多さ。
地域の行事が大変。
雪が多い、消雪パイプがない所がある。
除雪が悪く、仕事に行けない時がある。
とりあえず引っ越しは考えていない。
公共交通が不便。特に冬。

問 18 その他の回答内容 つづき
老後の心配。
車を使わないと買い物に行けない。
結婚したため。
引っ越しをしたいという訳ではないがこのままずっと…というところから。
老後の生活に不安。
車を手放した時や、今後の足に不安、冬が大変すぎる。
現在は、70代で車の運転ができるので、買物等も大丈夫だが、青島は公共の交通バス等がなく、だんだん年をとって運転できなくなった時困るであろう。
老後のこと考えると憂鬱になる。
冬の除雪。
高齢になったら雪国の生活は大変、雪の少ない所へ。
冬場の降雪量が多いため。

問 19 問 18 で「1」を選んだ人におたずねします。

現在の生活のどのようなところに不満がありますか。（自由記載）

問 18 で「1. 現在の生活に不満がある」と回答した人に、どのようなところに不満があるかを自由記載方式で尋ねたところ、様々な回答が寄せられました。

ここでは、頂いた回答について、主なテーマごとに分類して掲載しています。なお、一つの回答欄に、複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。

これをみると、不満な理由として、“地域の除雪、雪対策”、“交通・買い物が不便”、“若者向けの商店舗や娯楽施設が少ない”といった回答が上位を占めています。

〔現在の生活に不満なところ（自由記載）・回答件数〕

分類項目	回答数（件）
地域の除雪・雪対策	18
交通・買い物が不便	9
若者向けの商店舗や娯楽施設が少ない	8
就労の場が少ない	5
医療・福祉が不十分	4
生活が不便、住みにくい	4
地域活動が煩わしい	3
その他	9
合計	60

●地域の除雪、雪対策
雪が降った時に、消雪パイプがない場所のため除雪車がこないといけけないので。
雪が降り光熱費、融雪等の労力と費用がかかる。
雪が降ると道路状況最悪。
雪の多さ。（2名）
雪下ろしが面倒。
冬の時期、雪の除雪が間に合っておらず通勤が困難。
冬の雪がいらぬ。
冬時の雪、除雪。
雪下ろしをしなければならない家に住んでいる。冬が大変である。市外に住む実の両親の近くで住みたい思いが強くなっている。
豪雪地帯。
冬の交通の道路他。
降雪期、自宅～車庫 除雪範囲がぼう大、高齢化、世帯数減少でやらざるをえない状況。
雪が多く、高齢になると不安。
雪が多い。（屋根の雪下ろし等をいずれできなくなるから）

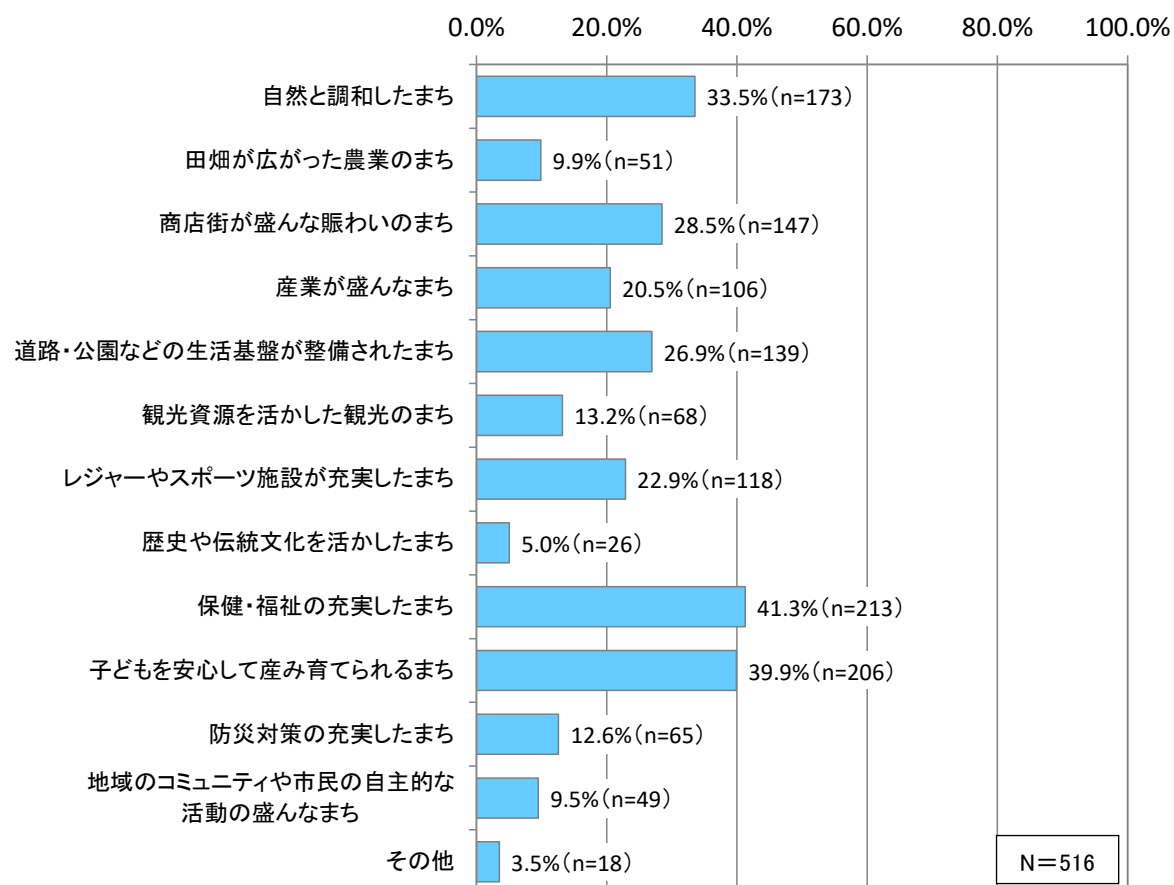
雪の生活が今後不安。
冬場住みにくい。
除雪が悪い。
●交通・買い物が不便
交通、買い物が不便である。
交通の便が悪過ぎる。
公共交通、買い物。
何処に行くにも車が必要。高齢時が不安。
車がないとどこへも行けない。歩いて買い物できる場所がない。
車が運転できないと不便。
買い物が不便。
食品など普段の生活での買い物は便利ですが、子ども用品や学校に必要なもの、家具や何か必要なものは市外に行かないと買えない。急に必要になった時に、小さい子どもがいるので気軽に買い求められなくて本当に困っている。
大型ショッピングセンターがなく不便。
●若者向けの商店舗や娯楽施設が少ない
いつまでも町が発展しなくて、遊べるレジャー施設等がないから。最低限南魚沼市を見習って欲しい。
ショッピングモールが少ない。
マック、モスバーガー、MINISTOP がないところ。
近場にファストフード店や若者向けのショッピングモールなどがないから。
娯楽を楽しめるファストフード店や施設がない。
娯楽施設が少ない。
子どもが遊ぶ場所がない。市外に出ないとない。
スポーツ施設の充実希望。
●就労の場が少ない
仕事がない。
仕事が少ない。
働く場が多くない。
働く場が少なく限られている。
賃金が安い。
●医療・福祉が不十分
医療など、福祉に力を入れていない。
医療体制、福祉制度の充実希望。
小児科が少なく不便。
小児科が少ない。
●生活が不便、住みにくい
魚沼市は住みにくい。交通、教育、市政に不満がある。
魚沼市外の方が活気があって生活するのに便利だから

魚沼市民の人間性や生活の不便さが嫌になった。
魅力を感じない。
●地域活動が煩わしい
新しい人を受け入れようとしていない。集まりが多すぎる。
地元の行事などが多く、家族の時間を取られる。
区の行事。
●その他
街灯も少なく夜暗い。市外から来たのですごく気になります。
学校の教育環境が悪い。
市民に対してサポート体制があるのかないのかのアピールがないから利点が分からない。
同じアパートに外国人が住んでいて、日本のマナーを守らないことやうるさいところ です。
市は、街中しか力を入れていない。限界集落の事、民政を平等にしてもらいたい。
ブランド力のある地方都市で、そこの市民としてぬくぬくした生活を送ってみたいため。 魚沼市は豪雪地のイメージが強く、知られすぎているため、きついと思う事がよくある （自分だけがよければいいと考えている訳ではなく、ここに居るからには市全体のイメー ジがよくなるように協力していきたいと思っているが、精神的にぬくぬく感から遠いのが 悲しい）。
●その他（特になし）
なし。（２名）
あまりない。

問 20 将来の魚沼市がどのようなまちであってほしいと思いますか。（〇は3つまで）

魚沼市の目指す姿については、「保健・福祉の充実したまち」（41.3%）と「子どもを安心して産み育てられるまち」（39.9%）が40%程度を占めており、特に福祉施策の充実したまちが望まれていることがうかがえます。

その他、「自然と調和したまち」、「商店街が盛んな賑わいのまち」が30%前後を占めています。



●問 20 その他の回答内容
わかりません。
動物や植物に優しいまち。
車がなくても生活して行ける。
ゴースト商店街をなんとかしてほしい。
生活できる水準の職場があれば。
若者が住みやすい町をつくってほしい。
障害者もちょうと働く場所、住める場所がある優しいまち。
熊がでない街。
社会福祉の充実、観光での発展はムリ。
医療体制が整っている地域。
明るい夜道であってほしい。
魚沼市職員の非違行為の無い町。この様な町は何をやっても信頼されない。
若者雇用の場が多いまち。
買い物や、出かける時不便じゃない町（村によって除雪の回数を増やせる町）。
東京都の1市。

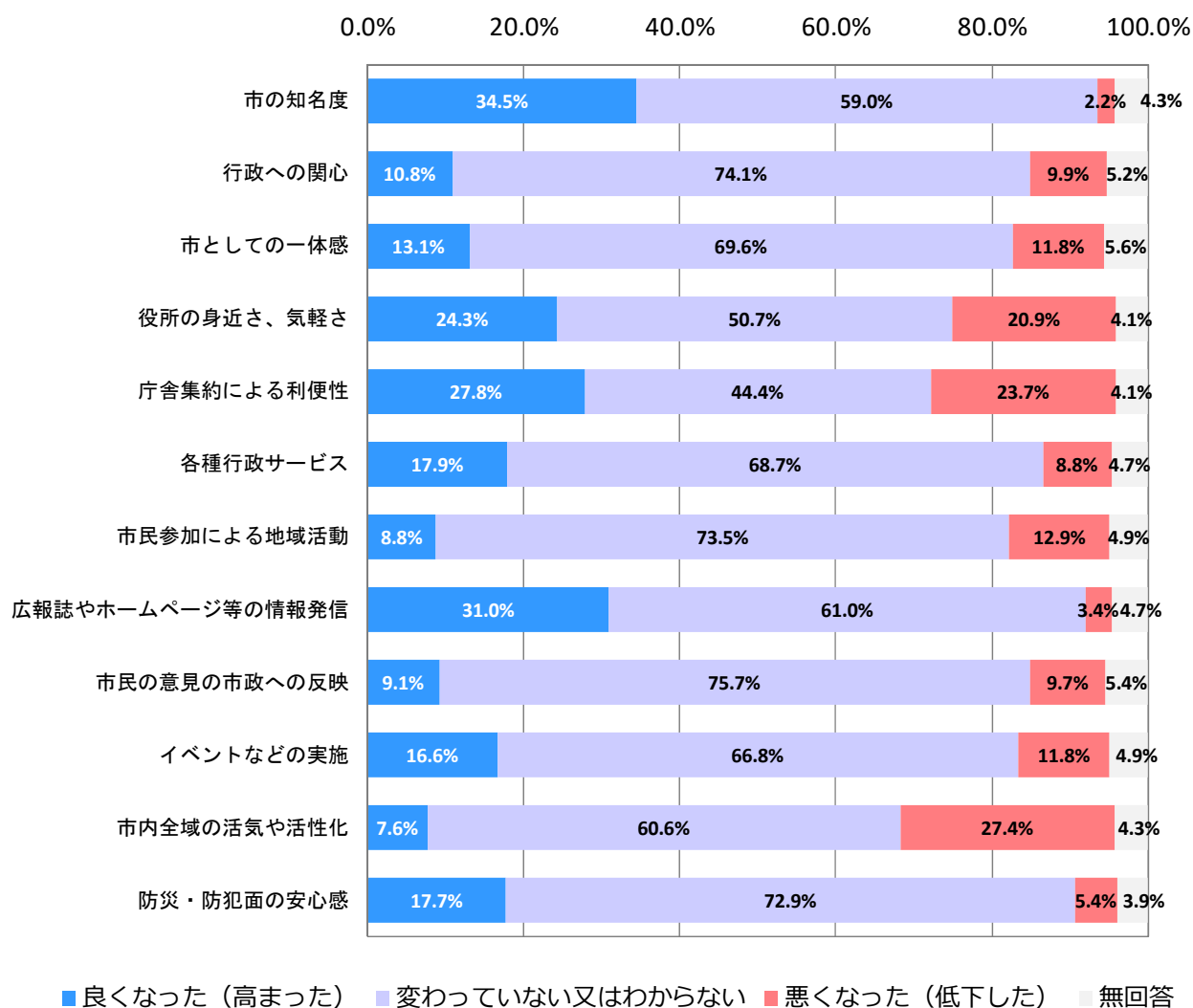
問 21 魚沼市が誕生してから 20 年が経過しようとしています。次の項目について、この 20 年間でどのように変わったと感じていますか。（○は 1 つずつ）

魚沼市誕生後 20 年間の合併効果や市のまちづくり等の評価をみると、12 項目のいずれも「変わっていない又はわからない」との回答が最も高くなっています。

その中で、「良くなった（高まった）」との回答割合が最も高い項目は、「市の知名度」の 34.5%で、次いで「広報誌やホームページ等の情報発信」（31.0%）、「庁舎集約による利便性」（27.8%）となっています。

また、「悪くなった（低下した）」との回答割合が最も高い項目は、「市内全域の活気や活性化」の 27.4%で、次いで「庁舎集約による利便性」（23.7%）、「役所の身近さ、気軽さ」（20.9%）となっています。

以上から、「庁舎の集約による利便性」や「役所の身近さ、気軽さ」については、良くなったと感じている市民がいる一方で、同程度の割合で悪くなったと感じている市民がいることがうかがえます。



また、自由記載方式で、その他の良くなった又は悪くなったことや感じたことを尋ねたところ、次のような様々な意見・感想が寄せられました。ここでは、頂いた意見や感想等について、主なテーマごとに分類して掲載しています。

なお、一つの自由記述欄に、複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。

これをみると、「良くなった」と感じたことでは、“市職員の対応”との回答が主となっています。一方、「悪くなった」と感じたことでは、“行政サービス”、“市政運営”に係る回答が多くみられます。

〔良くなった又は悪くなったところ（自由記載）回答件数〕

分 類		回答数（件）
良くなったところ	市職員の対応	7
	その他	3
	小計	10
悪くなったところ	生活の利便性	6
	人口減少・少子高齢化の進行	6
	地域の活力低下	5
	行政サービス	10
	市政運営	15
	地域医療環境	5
	地域の格差、独自性	5
	雇用環境	3
	その他	2
	小計	57

【良くなったところ】

●市職員の対応
市役所の方は、昔より親切で丁寧になったと感じます（特に若い方）。
市役所職員の対応は良くなっている。
行政との距離感が強く感じられるようになった。
市役所の職員の対応は丁寧でありがたいです。
役所の対応やスピードが他の市とは違い速くて丁寧で好印象でした。親切で助かりました。
市職の窓口対応が良い。
役所の方々の対応が良くなった。
●その他
町より市の方が住所を書くときにうれしい。
広報誌を読んでますと、以前の市長さんより存在を感じます。
高校生までの医療費無償化はとても良いと思う。

【悪くなったところ】

●生活の利便性

市役所が各地域に有った時は身近に行けたが、自家用車の無い人はタクシー等を利用しないと行けないので、利便性を検討しながら市内循環バスの充実をはかってもらいたい。

交通機関（バス）などの利便性がなくなった。

役所が遠くなって、車がない人は時間がかかり大変。

役所が遠くなったので不便。

市役所が遠くなったと感じる。

全てにおいて不便。

●人口減少・少子高齢化の進行

小さい子供が本当に少なくなった。そもそもいても外で遊ぶことが少ないのか？保育所、小学校が地区からなくなったのもあるかも。

人口減、少子化の進行による地域の衰退。限界集落だけになるのか。10年先の地域と農業の姿が見えない。都会一極集中（中央集権）の緩和などが昔は議論されていたと思うが、メディアも取り上げない現状。

ウィルスのため、各行事等がなくなったので少しさみしいが、やはり何といたっても少子高齢化が一番大きい理由だと思う。

子どもが余りにも少ない。老人会、もう限界か。

今のままでは、魚沼市に残る若者はいなくなってしまうと感じています。

魚沼市だけでなく、日本全体が人口減、経済、治安の悪化が顕著。

●地域の活力低下

シャッター通りが多くなった。

大型店周辺は活気があるが、街中はシャッター街になってしまっている。

郊外店ができ、活気が良くなったと思うが、旧小出本町は、シャッター街となり、さみしい。

子どもの数も減り、活気がなくなった。

道路脇が草ぼうぼうで、貧しいイメージ。住んでいる人が、幸せを感じられる町になって欲しい。

●行政サービス

会社勤務していた頃、よく役所に出向いていました。たらいまわしがありましたが、そのつど対応して下さった職員の方々は、親切に対応していただきましたが、最近、市役所に行きましたら、「ホームページを見て下さい」「用紙はそこから出せます」等々、年若い者にとっては少し冷たいと思いました。

吸収合併ではなく、対等合併による弊害として、市職員数が同等の県内他市と比べて無駄に多すぎるとともに、一人ひとりの危機感が足りないと思います。身分が保証される時代はもう終わっていることを自覚し、より危機感を持って仕事に努めていただきますようお願いいたします。職員の質の向上に、今後、期待しております。

市の職員が仕事をしなくなった。

市職員への不信感・信頼感が増加。特に合併前からの職員は試験採用で無い者が多く、順法精神が欠除しているもの多い。特定の地域。

ネットでの申請や手続きが難しい。

村の時より市になったので、遠くの守門とか入広瀬など、行き届かないように思う。

例えば役所に申請しに行くと、この課に行って、次にこの課に行っては老人には面倒だと思います。

他の地域にくらべて、市民への気配りが全然ない。プレミアム券等がなくなった。他は、色々やっている。
冬場の除雪状況が悪くなった。
水泳施設がなくなり、気軽な市民の運動の機会がなくなってしまっていて残念に感じる。
●市政運営
コシヒカリの全国への広告はとても下手だと思う。
どう変わったか、伝わって来ない
となりの南魚沼市と比較すると、医療・教育施設も経済規模、産業（工場進出＝働く場所）はかなり劣るようになった。働く場所があるところに子育てや家庭を持つ点で、行政の注力するポイントを見直したらどうか。そのためには、参考となる市を真似るということが大事。また、行政的に劣る市も悪い点を学ぶ参考とする、サンプルとする態度が必要です。企業ではそのような経営手段を分析する部署があります。魚沼市もかかる部署を創り、行政運営の教科書としたらどうですか。
現市長（内田市長）は、前市長（佐藤市長）に比べ、市民の声を聞かないと感じる。
高速インターの名前は誰でもいい。そんな予算があるならもう少し市民の暮らしに役立てるようにしたらいいのでは。
せっかくの自然や観光施設などをうまく利用できていない。
市役所内の人数が多すぎる。
市民と行政の一体感がうすれている。
住人の意見が市に伝わらない。区長に言っても、何も変わらない。
地域の行事などが多く、共働きでただでさえ子供との時間が取れないのに、地域の行事や班長の仕事などが多すぎる。
市全体で楽しめるイベント等が無い、有ったとしても情報発信が不十分。
必要のないインター変更（小出インターが魚沼インターになる）は、本当に意味のない事でムダだと思う。金のムダづかい。
興味のある議会を何回か傍聴したが、定例会議の様で熱がない。
一部の業態よりの市政と市長について不平有り。
市会議員の質が更に悪化。
●地域医療環境
医療機関の衰退。
医療再編によって不便になった。
小児科の受診のしにくさ。
入院する所がない。
堀之内医療センターで用事が足りず、小出病院迄行くのが大変。
●地域の格差、独自性
入広瀬のためか、学校、J Aが次々に合併されとり残された感じがある。
防災無線ですが、FMラジオで市の中心部以外では聞こえにくい事はわかっていたことと思う。守門では全然聞こえず、電源を切っている人が多いです。有線にするか廃止するか検討をお願いしたい。

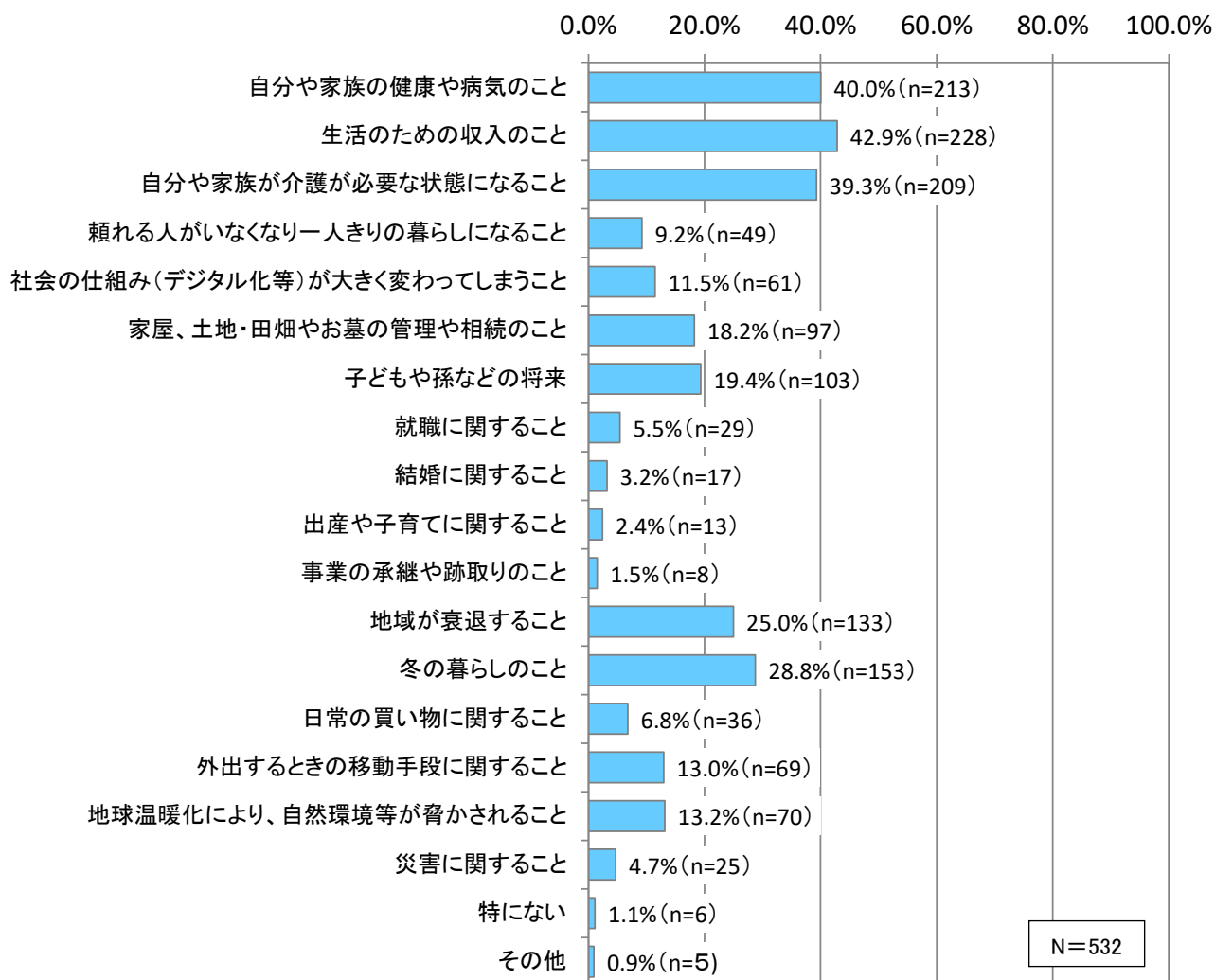
問 10、11 はコロナの影響が大きいと思います。市が広くなって、特に雪の時、平場と山間部が同じようにテレビなどで放映されて、小出地区に住む者として外部の人にイメージ悪くなってしまった。
町村合併によって、各町村の独自性が失われているように思う。上記のことから、問 11 は 2 に○をつけた。
合併したからといって、一括りにせず、地域性を大切にしてほしい。「小出郷」と名のつくものは名称変更しましょう。市民としてはずかしいし、一体感を感じない。インター名よりこの問題の方が先だと思うのだが。おまけ→警察署の名称もなぜ「小出」なのでしょう。小出→魚沼市と与板→長岡市だけかな。
●雇用環境
県内で一番給料が安い。
働く場がますます限られている。
賃金が安すぎる。
●その他
5 の設問は、小出から他町村に住んだ事がなく利便性は同じです。
私だけでしょうか、デジタル化が進み、それに対応していけるのかとそれだけが心配、人とのコミュニケーションがとりづらくなっていると感じます。

3 普段の生活について

3-1 不安に感じていることについて

問 22 現在又は将来の暮らしについて、あなたが悩んでいることや不安に感じていることは何ですか。（〇は3つまで）

悩んでいることや不安に感じていることは、「生活のための収入のこと」（42.9%）、「自分や家族の健康や病気のこと」（40.0%）、「自分や家族が寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること」（39.3%）が上位3位を占めています。「特にない」は1.1%であり、ほとんどの回答者が現在又は将来の暮らしについて、何らかの悩みや不安を感じていることがうかがえます。



●問 22 その他の回答内容

介護の悩み。

魚沼市に人が住みたいと思えるのか。

〇が3つでは足りない。

子供達は遠くで生活しているので老後のことは心配。

家の裏はすぐ山で有るが、小出町に売却するが管理が行き届いていない。災害が不安。

問 23 問 22 について、よろしければ具体的な内容について教えてください。

現在又は将来の暮らしについて、具体的な悩みや不安の内容について尋ねたところ、様々な回答が寄せられました。頂いた回答を項目別及び現在・将来別に整理し、集計した結果を次に示します。

なお、一つの回答に複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。

〔項目別、現在・将来別の具体的な悩みや不安の回答件数〕

項 目	回答数（件）		
	現在の暮らし	将来の暮らし	計
自分や家族の健康や病気のこと	9	4	13
生活のための収入のこと	14	9	23
自分や家族が寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること	3	14	17
頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること	－	11	11
社会の仕組み（法律、デジタル化など）が大きく変わってしまうこと	8	－	8
家屋、土地・田畑やお墓の管理や相続のこと	－	11	11
子どもや孫などの将来	－	3	3
就職に関すること	7	5	12
結婚に関すること	－	2	2
出産や子育てに関すること	2	－	2
事業の承継や跡取りのこと	3	－	3
地域が衰退すること	10	18	28
冬の暮らしのこと	19	5	24
日常の買い物に関すること	1	4	5
外出するときの移動手段に関すること	11	8	19
地球温暖化により、自然環境や地球環境が脅かされること	3	－	3
災害に関すること	1	－	1
その他	4	3	7
合計	95	97	192

【現在の暮らしにおける悩みや不安】

●自分や家族の健康や病気のこと
休日や夜間の子どもの急病に対応してくれる小児科が少ない。
小児科が、小出病院（週 1）とこどもクリニック（1 日 30 組限定）となっており、子供の医療体制に不安を持つ。
医療用ウィッグの助成金制度。
病院の医師不足・待ち時間の長さ。
自分は、難病指定を受けているため、健康面が不安。
年をとると腰、膝、足の自由がきかない病気がでてくる。
高齢になってくると、健康に不安を感じてくるのは必然である。
40 代～50 代～60 代と少しずつ体力なくなる感じがしたので心配。
コロナ感染後は急激に生活パターンが変わりすぎて、対応について行けなくなっていることが多い。
●生活のための収入のこと
収入面。
年金での生活は出来ないし、仕事もない。
4 人の子供の教育費について不安です。夫と私の収入により、高校の授業料の免除が受けられません（高校生 2 人）。長女は大学に進学していますが、奨学金も借りられません。4 月から次女が大学へ進学しますが、同様です。4 人の教育費の分、収入が他の家庭の 4 倍あればよいですが、そんな収入がある訳はなく、併せて夫は単身赴任です。収入ベースのみの教育費の補助、無償化の見直しをしてほしいです。保育園時代は月 8 万円以上の保育料を払い、今は学費に困って教育ローンをくんでいます。この先、4 月からの目途がなく、切ないです。
物価高や増税で暮らしの中で使えるお金が減っているため、もう少し自由に使えるお金や貯金にまわせる分が増えれば、子供とかも考えられるのかなって思う。
年金収入が少ないため働かないと生活に困る。
物価が上り、年金生活で生活が困難。
年金の支給年齢が上がり続け、いつまでも生活する為に働かなくてはならない。
県内の他地域と比べても収入が低く、生活したいと思う地域ではない。県外と比べると、雲泥の差だと思う。
魚沼市は賃貸マンションなど家賃が高く、今の収入では実家を出る事が難しい。また子育て中なので出費も多く貯蓄もない。
賃金が低い。
物価、税金が上がり賃金増額が追いついていない。
最低賃金が低すぎる。
税金ばかり上がって給料が増えません。
最定賃金が低くて結婚できないです。
●自分や家族が寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること
介護をしている人と交流して、悩み事やどう接しているかなど意見交換をしたい。
介護施設のキャパシティに対して、対象者数が多く、絶対的に足りていない。
同居している高齢者が体力的にも認知的にも落ちてきており、小さい子どもや市外から来てくれた嫁に迷惑をかける事が増えてきたため、受け入れてくれる施設などがあると助かる。生活スペースを分ける為のリフォームの補助など。

●社会の仕組み（法律、デジタル化など）が大きく変わってしまうこと
カード、デジタルなど、苦手意識があるため不安。
スマートホンで何でも手続きもできて便利な時代だけれど、高齢者にとってはついていけない所もある。
全てがデジタル化することはおそろしい。電磁波の身体への影響などを考えてほしい。
デジタル化は、年寄りにはついて行けない。
デジタル化になっても高齢者はスマホを使いこなせない。
何でもデジタル化を進めてしまうと、情報弱者である高齢者の暮らしをさらに追い詰める。
デジタル化の進歩で人と人との交わりが少なくなり、人間関係においても年齢が増すごとに常々感じるようになった。
高齢者はデジタル操作も苦手なので、それらをフォローする仕組みが充実するとありがたい。
●就職に関すること
働くところが少ない。
収入が少なく、又体調が良くないことが多く、転職も考えている中なので就職先やこれからについて不安が沢山ある。
現在子育てしながら仕事をしているが、収入面の不安もあり、転職等も考えてはいるが、自分の子育てへのメンタルで難しいと思い、中々前にすすめない。市内でのいい条件の職場が少なく、通勤時間なども考えたりとすると見つけるのが難しい。
若い人が働く職場の減少。
子どもが同居したいと言ったが、働く場所も限られるし、自分の住む土地なのに「帰って来なさい」と言える決定打がない。
働く場がない。アルバイトにしても、市外の方に行くしかない。職業安定所に紹介してもらったが面接で落とされる。人が欲しくなく、ただ募集するのはやめてほしい。
障害者雇用。もっと増えてほしいし、理解してほしい。弱い人、生活弱者の立場になって生活環境を考えてほしい。
●出産や子育てに関すること
お産をするため基幹病院まで行かなければならないのが大変。病院まで間に合わず、車内で生まれてしまった例もあった。小出病院でお産ができるようにしてほしい。
子供達（小・中・高学生）が自由に集い遊べる場所（運動場、公園、グラウンド）が無い。
●事業の継承や跡取りのこと
身近な商店が廃業・閉店した。
農業なので設備投資にかかる資金。
デジタル化が推進されていくなかで、個人の高齢の事業主が商売を継続していくのに難しい時代の流れになっていっている。
●地域が衰退すること
若者が居ないこと。
少子高齢化がかなり進んでいる。
人口減に歯止めを掛けるために動くことが遅すぎと感じる。
高齢者世帯の増加、管理されていない空き家の増加、活気の喪失と危険の増加に繋がっている。
空き家を空き家のまま放置していることに不安を感じる。
近所に同世代の方が少なく、地域行事等やることが増えるのが不安。

隣近所に空家・更地が目立つ。
身近にきちんと管理されていないお墓などがある。
コミュニティのまとめ役等を押しつけられがちで、後継が出てこない。
一番の課題は、いかに雪を克服するかだと思う。冬はどうしても気分が暗くなりがちなので、冬、雪をうまく活用できたら、人も増えるし、離れていかなくなると考える。
●冬の暮らしのこと
冬の除雪。今の所はできるし子供もいるが、もう少し負担を減らす事ができないか。
雪が多い。
ゲリラ豪雨またドカ雪。
積雪量が多すぎる。
自宅周辺や屋根の除雪作業。
冬における家の前の除雪。
積雪に対する家の対応、維持費がかかり過ぎる。
除雪が辛い。消雪パイプの水が出にくい。
大雪対策。
雪が多いのに消雪パイプがない。
雪が多いが、除雪が悪く、仕事に行けない時がある、田中は特に悪い。
除雪車の除雪回数が減ったと思う。
冬場の車の運転。
冬期の道路、家屋の屋根除雪をする人の高齢化と人手不足。
とにかく、交通の便が悪い。冬は特に同じ部落でも、消雪パイプが。家が離れているからということでない。2回だけの除雪では、仕事に行き、帰り、買い物にも不便で大変。
家屋や家の回りの除雪。
冬期間、除雪にかなりの費用が毎年かかっている。少しでも補助金が出れば…と毎年思う。
高齢になり、豪雪地帯のため、冬季間の雪降ろしが不安。
●日常の買い物に関すること
魚沼市に住んでいるのに店舗が少ないせいで、他所の地域に買い物に行って、他所の地域にお金を使う事。
●外出するときの移動手段に関すること
タクシーが早い時間にもう無くなること。
バスなどが少なく、車での移動となること。
公共交通(バス)の激減により通院が困難。
どこに行くにも、遠い、電車の本数が少ない。
1人暮らしの高齢者もそうだが、車がないと、生活できない環境。なのに、交通（公共）の便が悪くて困る。
魚沼基幹病院に行く時、大変だ。今は夫についてきてもらっているが、今後、もし一人になった時、体調が悪いなか、交通手段の乗りかえなどが辛い。かえって具合が悪くなりそう。ちなみに居住地は堀之内の根小屋だ。不安だ。なるべく費用もかからず、移動時間も短い交通手段がほしい。お願い致します。
車がなければ生活できない。車購入に補助を出して欲しい。
高齢者の交通の便をもっときめ細かく決めてほしい（病院買い物など）。

朝、一番のバスに乗るのに、タクシーを使わなければならないこと。帰りも14:00 迄に着かないと、又タクシーを使わなければならないことです。
交通機関。
●地球温暖化により、自然環境や地球環境が脅かされること
温暖化は便利生活の代償か。
夏は猛暑が続き、これからは、夏と冬だけになりそうで不安です。
今以上に夏が暑くなったり豪雪になったりしないか。
●災害に関すること
災害時の避難場所。
●その他（市政運営に関すること）
とにかく次世代の人が住むような施策を望む。そのためには教育にもっとお金を使うべき。
市が「ボス」ではなく、「リーダー」となって住民を引っばっていかなければ、住民主導では限界がある。
南魚沼市や十日町市は中央と積極的な関与があるが、魚沼市は全く相手にされていない。
これから人口がどんどん減っていくのに、市政の規模が変わらないのはなぜなのか。本当にこれからの事を考えているのだろうか、上が変わらなければ市民の生活は良くなるはずはありません。
市役所がらみのことが以前は電話や f a x 一本で片付いた事が、何でもかんでも「ホームページを見て」とか「w e b で」「ネットで」とか、言われて、面倒くさい。むしろ不便になったと感じる。
各地域の特色を生かした取組にもっと力を入れて欲しい。
●その他
夜の明かりが少なく危ないこと。
年齢に関係なく地域に居住している人達が集って、食事会を開いたり多くの住民がふれあう場所。
もっと気軽に出入りできる憩いの場をつくってほしい（遠くにあっても交通手段がなく行けない）。お医者さんは忙しすぎて真に話を聞いてもらえないことが多いので、話しだけでも聞いてくれる人がいればいいなあと感じます。
自分が高齢者である。

【将来の暮らしにおける悩みや不安】

●自分や家族の健康や病気のこと
病気がちの親なので、病院通いや手術、入院など不安。
家に引きこもりがちになって若年性アルツハイマー病になること。
今の所、家族は健康ですが、もしもにそなえて、今から家族で話し合いをしなければ…と思っていますが、なんとなくタブーに感じています。
この近年、夏の温度（気温）が高く、外出をためらってしまい、今後どうなるのか心配です。もし夫婦で倒れた時にどうなるのか心配。
●生活のための収入のこと
老後の収入（年金はちゃんと貰えるのか？）。
将来必要な生活基盤に対してどうして行くか等。

年金支給開始年齢は現在 65 歳ですが、おそらくこのままでは制度が維持できないので、私が支給される頃には支給開始が最低でも 70 歳からになると思っています。私は自分が 70 歳まで健康で働く姿を想像できません。
老後の資金が十分に貯まるかが心配。
年金暮らしになった時、少ない年金で生活していけるのか不安。
収入が年金だけになって行くことが心配だ（収入より出費がかさみそう）。
年金だけでは生活できそうにない。
収入はなかなか増えないのに子供達が大きくなるにつれ学費等が増え、生活が圧迫される。
将来、父が仕事をリタイアしてからの生活が不安。収入が足りない。
●自分や家族が寝たきりや身体が不自由になり介護が必要な状態になること
老々介護。
周りの人から、要介護状態となって病院から退院すると、今の魚沼市では市内の介護施設に入ることができなくて群馬県や市外へ送られると聞いたので、将来、自分が大切な魚沼市で最期まで過ごすことができるかととても不安であり、とにかく魚沼市の介護施設を増やして、在宅での医療を受けることができなくても市内で生活していきたいです。
人手不足により介護が受けられなかったり、介護施設がなくなったりするのではないかな。介護してくださる人の働く条件、給料等を良くしてやってもいいのではないかな。人間としての最後の生活を安心していられたら。
高齢化が進み介護施設、介護士が不足するのではないかな。
介護が必要でも受け入れ先や人がいるのかどうか、金額面。
夫婦で生活している為、この先身体が不自由になり、介護が必要になった時に老人ホーム等の施設に入れるか不安。この先高齢者が増える中、施設数が足りるのか心配。
医療（病気）や介護が必要になった時の体制とお金の問題。
今後、どちらか 1 人になったときや介護が必要になったとき入れる施設はあるだろうか、死ぬまで自宅に居たい。
自分たちが共働きのため、親が要介護状態になっても在宅介護が出来ない。市内の施設は空きがなく、介護のために仕事を休んだり辞めたりしなければならなくなるかも知れない。
親の介護。
80 才過ぎた両親がいます。今後が不安です。
親も高齢になってきて、3 や 6 のことをよく考えるようになってきました。もし、そういった相談口があれば活用したいと思います。20～30 代向けの「親の終活講座」みたいなのがあれば。
自分に介護ができるのか不安。
就労しながら親の介護や手助けが出きるのか不安。
●頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること
将来一人暮らしになった時の緊急時の連絡。
ひとりになった時の状態が不安。
子供が家に来てくれるか、自分が行くか。
子供ができなかったので老後 1 人になったらどうしようと。運転もできない。
どこをどのように頼ればいいのか分からない。
一人になった時の雪問題。
夫婦 2 人の為、老々介護や各種手続き、日常の買い物等、老いることへの不安。

老後の生活。
高齢になるからです。
昔と違って、子供も自分の暮らしを自立したら、親世代も自分達で自立して迷惑をかけないようにしていかないといけないが、高齢になった時に色々な事が思っていた事と違ってくずれていく。
子供、孫が遠方に居るため、緊急時に不安がある。近所の親せきは年齢が高くなっている。
●家屋・土地・田畑やお墓の管理や相続のこと
相続に関して、相続人が地元にいないので、必要としない不動産の処分に頭が痛い。
子も孫もないので、「家・土地」は、自分がいなくなったらどうなるのか、心配はしています。
実家の母は一人暮らしだ。私には、兄弟はいない。母が亡くなったあとのことが不安だ（相続等）。
一人暮らしのため、家屋、土地・田畑やお墓の管理や相続のことが不安である。
子供がいないため、家屋、土地、田畑、墓の管理や相続のこと。
古い考え方の義父が“相続”“あとつぎ”など、将来の選択がある息子にふき込んでいる。
1人になり、施設に入った場合の家の事や財産の事は気になります。
もう少し年を取って考える事は、家壊す、お墓、お骨を別のところに入れる時、年金暮らしには大変なお金です。
終活をどのように準備するか。
資産管理・相続。
市内の墓地状況。
●子どもや孫などの将来
自分には持病があり、子供が一人残った場合、家の維持にお金がかかり、大丈夫か心配。
息子や娘が結婚して孫が出来ても産後の世話や子育ての協力をしてやることに難しさを感じる。せめて産後の女性が安心して子育てに専念して、安心して生活が出来るような期間を長く取れるシステムを構築してほしい。
子供達はいずれ帰るよと言ってはいるけれど、孫が大きくなってこの地に帰って来てまわりの環境、人々はどう変わっているだろうかと思うと、本当に帰ってこられるのだろうか不安に思います。
●就職に関すること
市内に就職したいのですが、自分の興味のある職種につけるのか不安です。
ブラックな就職先ではないか、就職先の給料でやりくりしていけるか不安。
奨学金を現在借りて進学しているが、将来、魚沼での就職を希望しているが、希望する職と見合う収入となる受け皿が魚沼市にあるか。
就職先が少ないので、子供が上京しても戻ってこられない。
子どもが大きくなる頃に政治がどうなっているか不安（就職や学業がきちんとできるか）。
●結婚に関すること
まだ将来のことについては決まっていないのですが、一人暮らしかりモートワークかで悩んでおり、一人暮らしするとなると健康面がしっかり自己管理できるかどうか不安である。リモートワークをするとなると、出会いが少なくなり結婚もできるかどうか心配である。
家庭を持つ際、どこに住むか。今の仕事をずっと続けられるか。

●地域が衰退すること
人口減少。
大好きなこの町が衰退してしまわないか不安です。
若者が県外に出て行く人が多いのに、年寄りに優しくしていると更に若者は出て行かないかと思ってしまう。
高齢化や一人暮らし等、部落の世帯件数も少なくなる。
1人住まいの高齢者が多い。あと5年、10年たったときに、住む人もいなくなり家だけが残される。自治会が成り立たなくなる。買い物に出られない方や、用事を変わりにやってくれるボランティアなど必要。
老人世帯ばかりとなり10年後の町内は、存続できるのか不安。
人口減少、高齢化、地域の活性化の低下について不安がある。市政として箱物を作ることが優先となり、少子化、高齢化についての対応が不十分。
かつての商店が櫛比していた小出の各町内を知っている身としては、昨年9月の南本町の火災による被害なども考える。町の衰退が恐ろしく思える。
若者が定着しない事への心配。
一人暮らしの方が増し、家を離れる人が解体して家がなくなり、地域として成り立っていくのか不安です。
人口減少による影響。
現在もそうだけど、魚沼市に魅力を感じられない若者が他所の地域に行って人口が減って魚沼市が衰退すること。
子供がどんどん産まれなくなっている事への危機感。
高齢者ばかりになること。
過疎化が進んでいると思う。もっと若者世代や子育て世代が来てくれるような政策があると良い。
地域の人口減少。高齢者を支える資源の減少と家族負担。
地主が土地を適価で売りたいがらないのも地域衰退の原因でもある。
一人暮らしの方が増え、いずれ家がなくなってしまう、コミュニティの崩壊につながります。
●冬の暮らしに関すること
夫婦共働きで子供4人を育てながら、祖父母が田畑や冬の除雪ができなくなったときに、誰がやるのだろう…（もちろん自分たちだけけど）できるのだろうか、という心配がある。
除雪が出来なくなったり、共同作業が出来なくなったりする。
冬場を考えると高齢化した際に家屋の維持が難しいだろうこと。
年老いてからの雪片づけや日常の買い物。
高齢になってからの除雪。
●日常の買い物に関すること
年齢を重ねることにより、車に乗れなくなった時の買い物、デジタル化に適応できるか。
今76才です。買物は車でを行っています。運転が出来なくなれば買物にどうして行くか悩みます。
自動車の運転免許証を返納した場合、日々の買い物に不便しそうだ。
年々年をとり、いずれ車を手放す時期が来ます。故に買物難民になります。

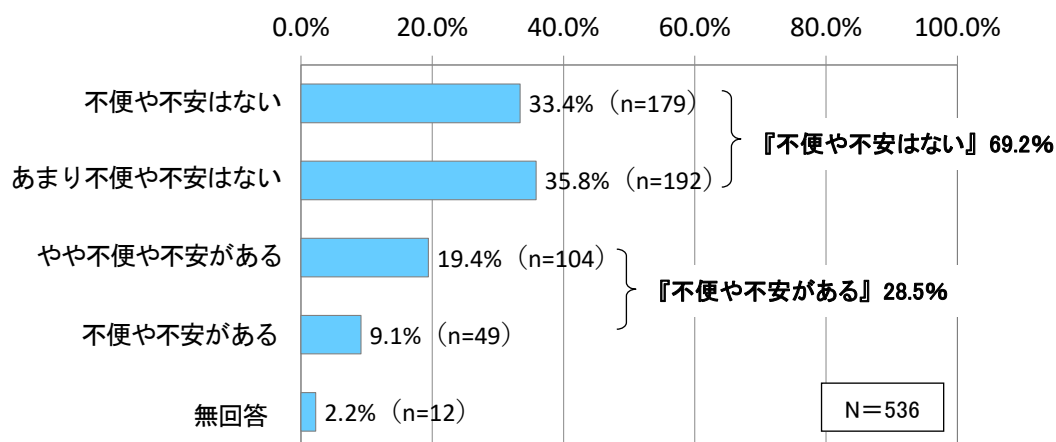
●外出するときの移動手段に関すること
車の免許証の返納後の交通手段など、不安に思う事が多い。
免許返納後には外出がむずかしくなる。
将来、免許の返納により買物や移動が制限される不自由になること。
将来、車の運転免許を返納したら、移動手段がない。医療機関や店、金融機関が歩ける距離にあれば不便さは減るが、各種機関も合併等により身近でなくなる一方だ。
現在は、車の運転ができるので問題ないが、将来車に乗れなくなった時の交通手段が不安。
車の運転が出来なくなった時。
今は車で出かけているが、年齢とともに運転も不安になる。買物など出かけることも少なくなる。
運転できなくなってからの外出、外出できなくなったら何の楽しみもなくなるんじゃないか心配。
●その他
〇は3つまでですが項目ほとんど心配。
殆どに〇を付けたいほどの不安材料です。
町村合併の評価をいつかやるべきと思う（地方の立場で）。

3-2 外出するときの困りごと等について

問 24 あなたは、外出するとき不便や不安なく外出できますか。（〇は1つ）

外出時の不便さ・不安感については、「あまり不便や不安はない」が35.8%、「不便や不安はない」が33.4%となっており、2つを合わせた『不便や不安はない』は69.2%と約7割を占めています。

一方、「やや不便や不安がある」が19.4%、「不便や不安がある」が9.1%となっており、2つを合わせた『不便や不安がある』は28.5%となっています。



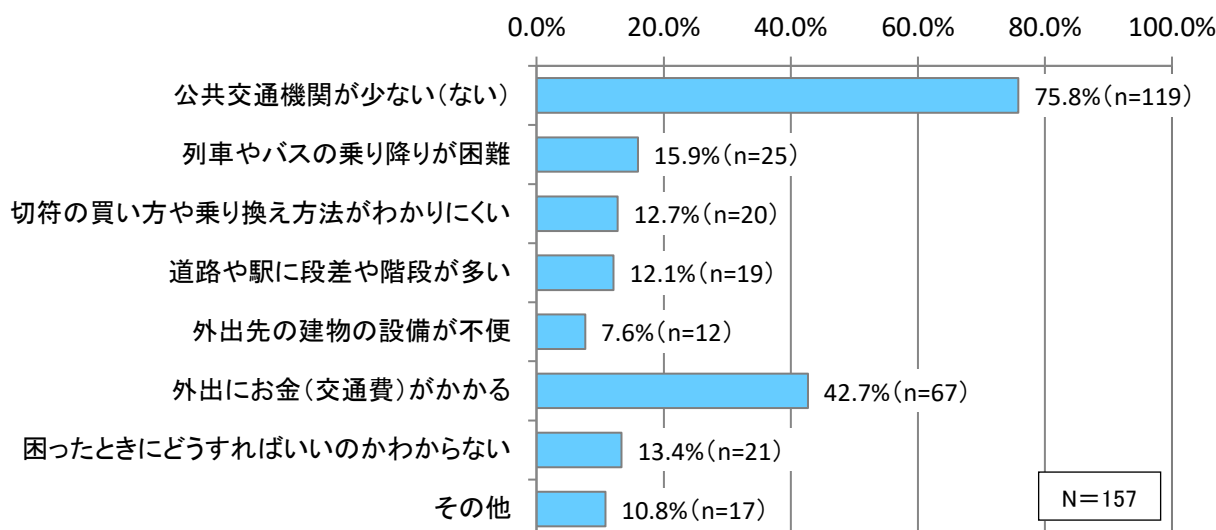
■問 24 × 性別、年齢別、居住地域別、住みやすさ別

- 性別では、『不便や不安がある』は、男性が 26.3%、女性が 30.2%で、女性の方がやや上回っています。
- 年齢別では、『不便や不安がある』は、“18～29 歳”が 45.6%と最も高く、“50～59 歳”が 21.3%で最も低くなっており、中高年層より若年層の方が外出時における不便さや不安感を抱いていることがうかがえます。
- 居住地域別では、『不便や不安がある』は、“入広瀬地域”が 50.0%と最も高く、“小出地域”が 23.1%で最も低く、約 27 ポイントの差があり、居住地域によって外出時における不便さや不安感に差異がみられます。
- 市の住みやすさ別では、“住みやすい”と実感している人は『不便や不安がある』が 12.8%であるのに対し、“住みにくい”と実感している人は 52.4%と過半数を占めており、“住みにくい”と実感している人においては、外出時における不便さや不安感も住みにくい要因の一つであると推察されます。

単位：%		回答数	不便や不安はない	あまり不便や不安はない	やや不便や不安がある	不便や不安がある	無回答	不便や不安はない +あまり不便や不安はない	不便や不安がある +やや不便や不安がある
合計		98	33.4	35.8	19.4	9.1	2.2	69.2	28.5
性別	男性	251	35.9	35.1	17.1	9.2	2.8	70.9	26.3
	女性	278	32.0	36.7	21.2	9.0	1.1	68.7	30.2
年齢	18～29 歳	57	8.8	45.6	19.3	26.3	0.0	54.4	45.6
	30～39 歳	66	33.3	36.4	22.7	6.1	1.5	69.7	28.8
	40～49 歳	90	40.0	34.4	15.6	8.9	1.1	74.4	24.4
	50～59 歳	89	41.6	34.8	15.7	5.6	2.2	76.4	21.3
	60～69 歳	123	38.2	30.1	20.3	8.1	3.3	68.3	28.5
	70 歳以上	109	29.4	38.5	22.9	6.4	2.8	67.9	29.4
居住地域	堀之内地域	126	28.6	37.3	24.6	7.1	2.4	65.9	31.7
	小出地域	156	45.5	29.5	17.3	5.8	1.9	75.0	23.1
	湯之谷地域	79	31.6	41.8	11.4	12.7	2.5	73.4	24.1
	広神地域	106	32.1	37.7	18.9	11.3	0.0	69.8	30.2
	守門地域	43	20.9	39.5	23.3	14.0	2.3	60.5	37.2
	入広瀬地域	18	11.1	38.9	38.9	11.1	0.0	50.0	50.0
住みやすさ	住みやすい	78	56.4	29.5	7.7	5.1	1.3	85.9	12.8
	どちらかといえば住みやすい	235	36.6	41.7	13.6	6.4	1.7	78.3	20.0
	どちらかといえば住みにくい	122	21.3	29.5	36.9	10.7	1.6	50.8	47.5
	住みにくい	42	21.4	26.2	23.8	28.6	0.0	47.6	52.4
	どちらともいえない	51	23.5	41.2	19.6	7.8	7.8	64.7	27.5

問 25 問 24 で「3」または「4」を選んだ人におたずねします。不便や不安はどんなことですか。（〇はいくつでも）

問 24 で、「3. やや不便や不安がある」または「4. 不便や不安がある」と回答した人に、具体的に不便なところや不安要素を尋ねたところ、「公共交通機関が少ない（ない）」が 75.8%と最も高く、次いで「外出にお金（交通費）がかかる」の 42.7%となっています。



●問 25 その他の回答内容
歩道がないところがあること。
歩きたくても歩道がない。雪の日は怖くて出かけられない。
冬場、広い道路の除雪が優先されて、家の前の道路の除雪が出勤に間に合わない。
冬場は歩道やスロープの除雪がされていない。
豪雪時の道路の除雪。
交通事故にあつてから車の運転が怖い。
運行本数が少ない。
町まで遠い。
あまり不安はない。
免許証を返納した時。
冬雪が降った時運転を控える。
S u i c a が使えない。
冬の道路状況の悪さ。
ごく近い将来の車の運転。
今は自分で車を運転して出かけられていますが、出来なくなった時の事を考えると、日常の買い物にも事欠く日々となりそうです。
冬道。

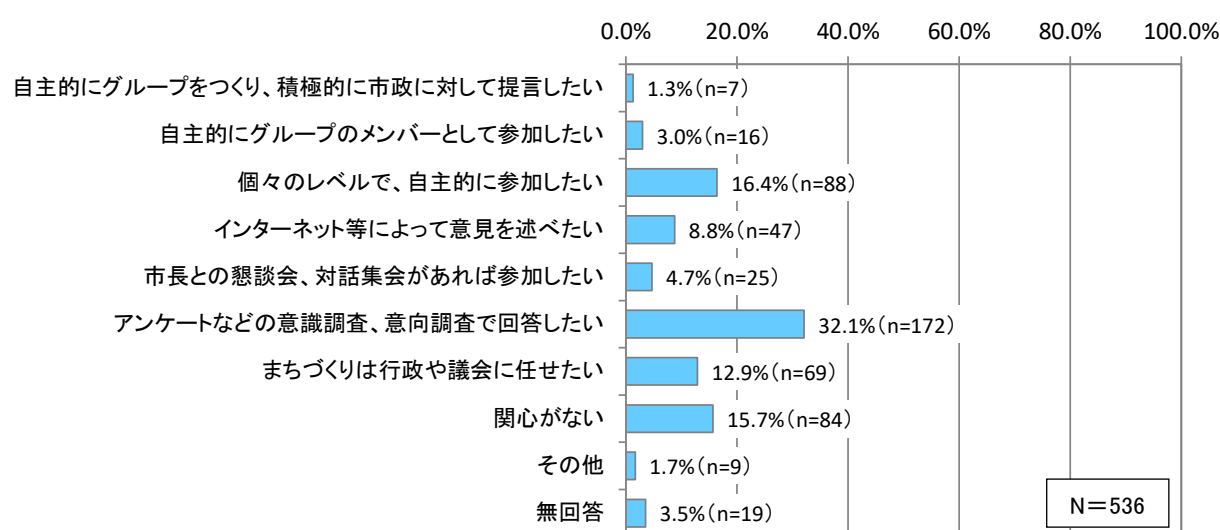
3-3 市政への参加・参画について

問 26 あなたは、市政やまちづくりについて、どのように参加参画したいですか。

(〇は1つ)

市政やまちづくりへの参加・参画意向については、「アンケートなどの意識調査、意向調査で回答したい」が32.1%と最も高く、次いで「個々のレベルで、自主的に参加したい」(16.4%)、「関心がない」(15.7%)となっています。

「まちづくりは行政や議会に任せたい」と「関心がない」の両者を合わせた割合は28.6%にとどまっており、回答者の7割弱は、何らかのかたちで市政やまちづくりへの参加・参画意向を持っていることがうかがえます。



●問 26 その他の回答内容
出来る範囲で参加してみたい興味はある。
市に対して言いたい事はたくさんあるが、変わらないことを実感している為、懇談会や対話集会があっても参加したくない。
市政で示された中長期計画にあう活動内容などに、各団体や個人的な活動、チームでの活動に対し、補助、活動などをSNSで共有してもらう他、アンバサダーなどを期間を決めて募集し、活動してもらうなどの仕組みがあると活発な情報発信や活動ができそうな気がする。
機会があれば参加したい。
現在の市議会議員の活動が全然つかめない。
20年後、30年後の事を考えられる方におまかせします。
老人なので若い者にまかせたい
参加したいけれど病気の者がいるのであまりでられない
市にやる気がないから思わない。
市政やまちづくりは遠い存在。うちの集落は子供がいないので、行事とか全部なくなる。
関心がないわけではありませんが…。

■問 26 × 性別、年齢別、居住地域別

- 性別では、男女共に「アンケートなどの意識調査、意向調査で回答したい」が最も高くなっています。また、“男性”においては、「関心がない」が“女性”を3.5ポイント上回っています。
- 年齢別では、いずれの年代も「アンケートなどの意識調査、意向調査で回答したい」が最も高いほか、“18～29 歳”、“30～39 歳”は、「インターネット等によって意見を述べたい」が他の年代よりも高くなっています。また、「個々のレベルで、自主的に参加したい」は、“50 歳代”が唯一 20%台を占め、他の年代よりも高くなっています。
- 居住地域別では、いずれの地域も「アンケートなどの意識調査、意向調査で回答したい」が最も高いほか、“入広瀬地域”は、同率で“まちづくりは行政や議会に任せたい”が首位を占めています。また、「個々のレベルで、自主的に参加したい」は、“堀之内地域”が唯一 20%台を占め、他の居住地域よりも高くなっています。

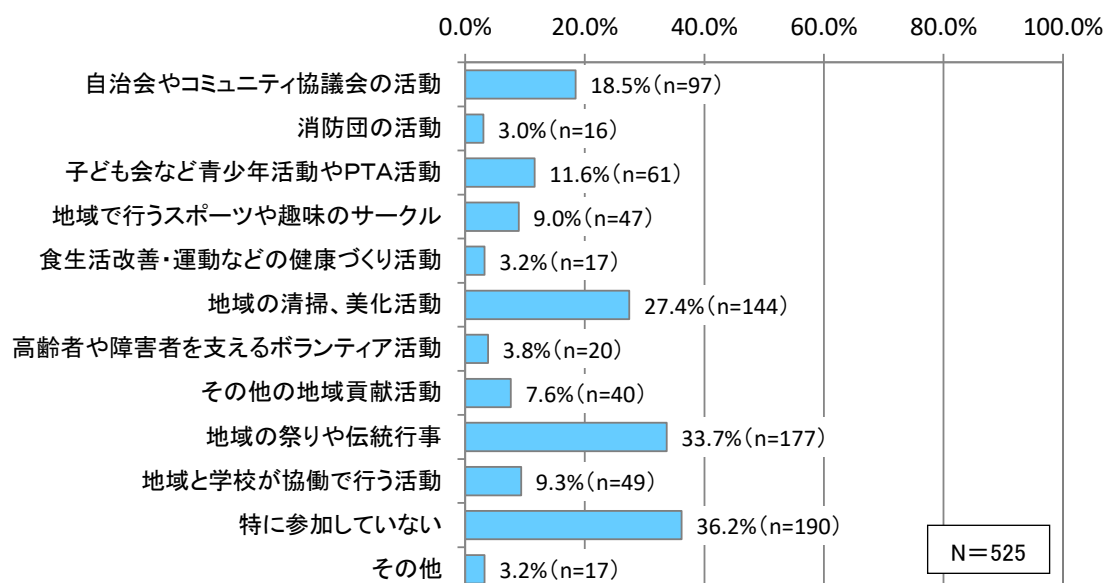
単位：%		回答数	自主的にグループをつくり、積極的に市政に対して提言したい	自主的にグループのメンバーとして参加したい	個々のレベルで、自主的に参加したい	インターネット等によって意見を述べたい	市長との懇談会、対話集会があれば参加したい	アンケートなどの意識調査、意向調査で回答したい	まちづくりは行政や議会に任せたい	関心がない	その他	無回答
合 計		536	1.3	3.0	16.4	8.8	4.7	32.1	12.9	15.7	1.7	3.5
性別	男性	251	2.4	3.2	15.5	10.4	6.0	25.5	13.5	17.5	1.6	4.4
	女性	278	0.4	2.9	17.3	7.2	3.6	38.5	12.2	14.0	1.8	2.2
年齢	18～29 歳	57	1.8	1.8	3.5	19.3	1.8	33.3	19.3	17.5	0.0	1.8
	30～39 歳	66	0.0	1.5	19.7	16.7	1.5	36.4	6.1	18.2	0.0	0.0
	40～49 歳	90	1.1	5.6	14.4	12.2	5.6	35.6	11.1	12.2	1.1	1.1
	50～59 歳	89	1.1	2.2	23.6	5.6	3.4	34.8	12.4	15.7	0.0	1.1
	60～69 歳	123	2.4	3.3	16.3	4.9	7.3	30.1	13.8	14.6	2.4	4.9
	70 歳以上	109	0.9	2.8	16.5	2.8	5.5	26.6	14.7	17.4	4.6	8.3
居住地域	堀之内地域	126	0.8	4.0	23.0	9.5	5.6	27.0	11.9	14.3	0.8	3.2
	小出地域	156	1.3	4.5	11.5	10.3	3.8	35.9	12.8	14.7	1.9	3.2
	湯之谷地域	79	3.8	0.0	17.7	12.7	3.8	35.4	10.1	13.9	0.0	2.5
	広神地域	106	0.9	3.8	14.2	5.7	4.7	32.1	16.0	19.8	0.9	1.9
	守門地域	43	0.0	0.0	16.3	7.0	4.7	34.9	9.3	11.6	7.0	9.3
	入広瀬地域	18	0.0	0.0	16.7	0.0	11.1	22.2	22.2	16.7	5.6	5.6

3-4 地域での活動やボランティアについて

問 27 あなたは、地域での活動に参加していますか。（〇はいくつでも）

地域活動については、「特に参加していない」が 36.2%と最も高くなっています。

参加している具体的な地域活動では、「地域の祭りや伝統行事」（33.7%）と「地域の清掃、美化活動」（27.4%）が高く、地域活動以外のテーマ別の社会活動への参加は低い傾向にあります。



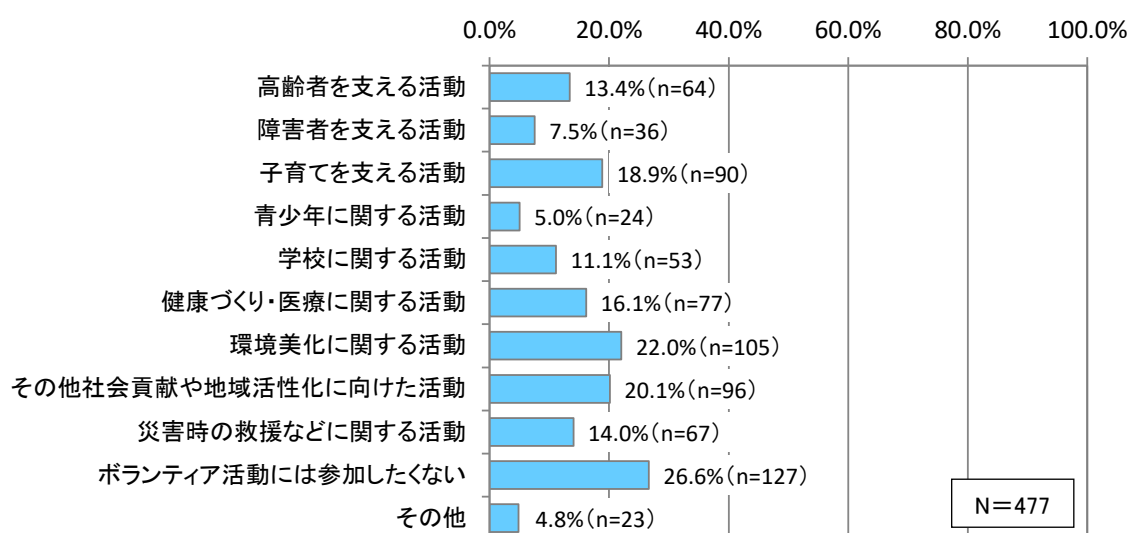
●問 27 その他の回答内容
仕事柄高齢者のお宅へいくので、話相手や見守り。
個人的に高齢者の送迎など。
聴覚障害があるため（4級）、他人の役にたつようなことができない。
家族の関係で参加出来ません。（子守や介護など）
今は、参加していない。
車いす生活。
魚沼市の‘あい奉仕活動’に参加（社協）。
農業への取組みが、地域の維持、活動につながっている。
嫁にきてからは、地域の関わりがわからない、不明確が多い。
給食ボランティアをしていたけれど、病人がいるので参加はやめました。
老人会に参加している。
回覧板読む。次の家に届ける。何年（12～14年）に、1度組合長の家になる。市報読む。
民生、児童委員。
いろいろ。
地域の民芸保存会に参加。
舞踊を通して、各地でで開催される行事の参加や社会福祉施設等への舞踊慰問等。
93才と高齢で、身体障害、認知症の母の介護が必要で参加出来ません。

問 28 あなたは、今後どのようなボランティア活動に参加してみたいですか。

(○はいくつでも)

今後、参加してみたいボランティア活動については、「ボランティア活動には参加したくない」が 26.6%と最も高く、参加意向は低い傾向にあります。

参加したい活動では、「環境美化に関する活動」(22.0%)、「その他社会貢献や地域活性化に向けた活動」(20.1%)、「子育てを支える活動」(18.9%)が上位を占めています。

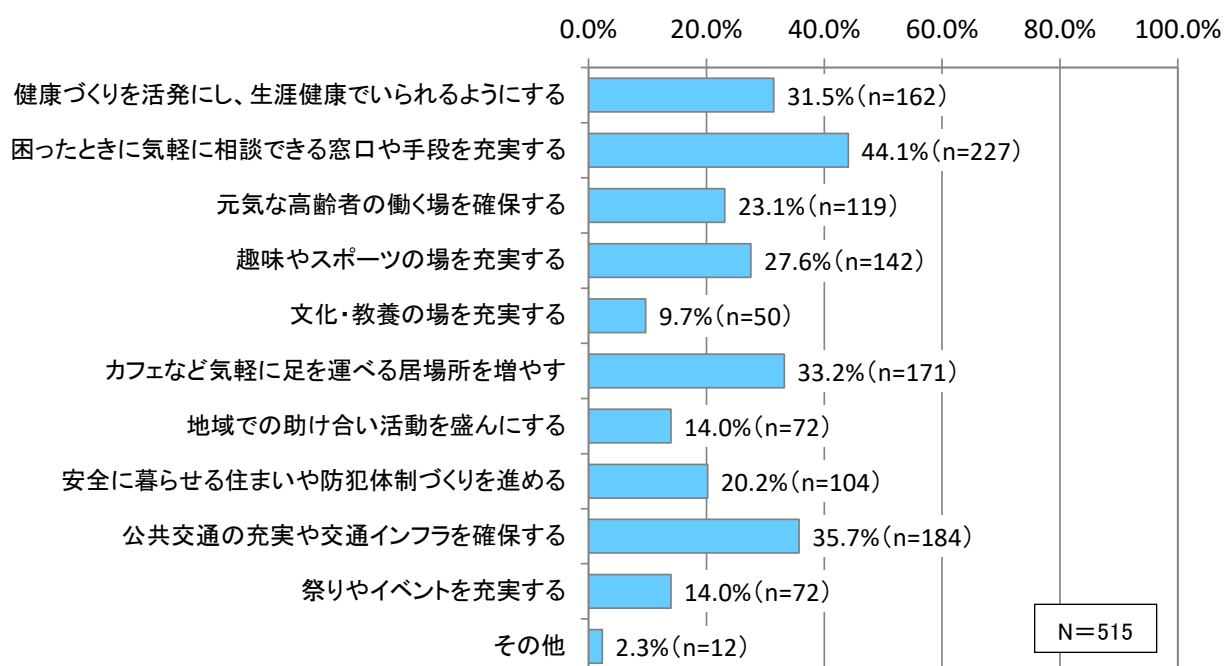


●問 28 その他の回答内容
保護猫ボランティア。
ボランティア内容による。
ボランティア活動に参加する時間と余裕がない。
子育て中のため、あまり考えたことがない。
参加したい気持ちはあるが、生活に余裕がなく考えられない。
活性化したらやってみたい。
している。
自分が出来る事をその時その時で。
ボランティアに参加出来る生活ではありません。家族の面倒見なくてはなりません。
生涯学習センターの図書館ボランティア。
高齢になったので、自分の生活が手いっぱいです。
今のところ時間的に余裕がないので参加する気持ちはない。
思いつかない。
年齢的に参加は無理になって来る。自助が精いっぱいです。
病人がいるのでできません。
年齢的にやりたくても、やれなくなった。
仕事で1. ～9. までの活動する人がいるから、その人に頑張ってもらいたい。
高齢で無理。
自分でできるボランティアは参加したい。
母の介護があり、参加出来ない。

問 29 市民がいきいきと過ごすために、どのようなことが大切だと思いますか。

(〇は3つまで)

市民がいきいきと過ごすために大切だと思うことは、「困ったときに気軽に相談できる窓口や手段を充実する」が44.1%と最も高く、次いで「公共交通の充実や交通インフラを確保する」(35.7%)、「カフェなど気軽に足を運べる居場所を増やす」(33.2%)、「健康づくりを活発にし、生涯健康でいられるようにする」(31.5%)となっています。



●問 29 その他の回答内容

地域のコミュニティに参加していない高齢者や障害者の情報を市が把握しているなら、その人たちがいる自治体やボランティア団体と情報を共有し、取り残されないような取り組みをして欲しい。(既にされているのかも知れませんが)

健康寿命を伸ばす働きかけ。高齢者の役割を考える。

わかりません。

イベントや取り組みを宣伝する。

経済的な余裕が必要。

年金で生活出来る市である。

産業誘致。

期待していない。

災害(水害)の無い町づくり。

子どもと高齢者、道路美化にもっともっと予算を使って下さい。

人口が増え、にぎやかな雰囲気。

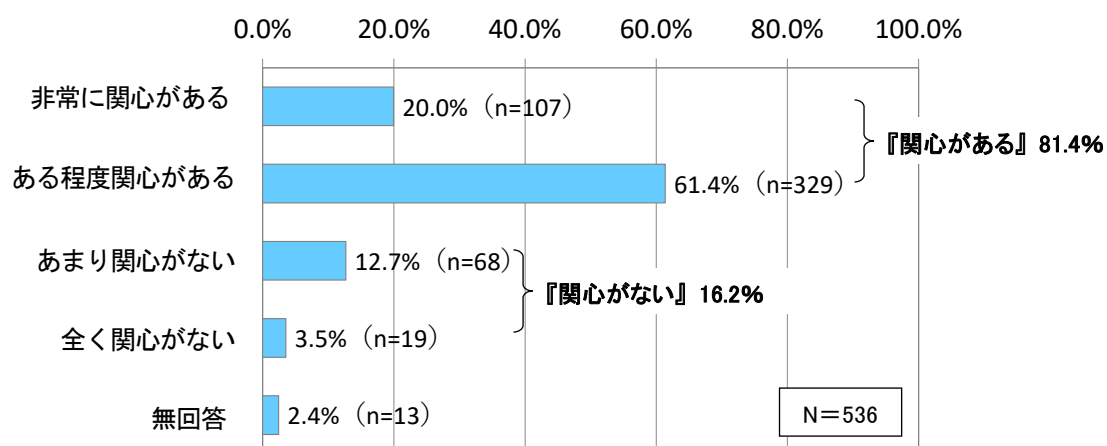
病気やケガなどスムーズに医者からみてもらえる。治してもらえる。

3-5 地球温暖化について

問 30 あなたは現在、地球温暖化問題に関心がありますか。（○は1つ）

地球温暖化問題への関心については、「非常に関心がある」が20.0%、「ある程度関心がある」が61.4%で、2つを合わせた『関心がある』は81.4%となり、地球温暖化問題への関心の高さがうかがえます。

一方、「あまり関心がない」は12.7%、「全く関心がない」は3.5%で、2つを合わせた『関心がない』は16.2%となっています。



■問 30 × 性別、年齢別

●性別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の2つを合わせた『関心がある』は、男性が80.9%、女性が82.4%で、女性のほうが若干関心度が高くなっています。

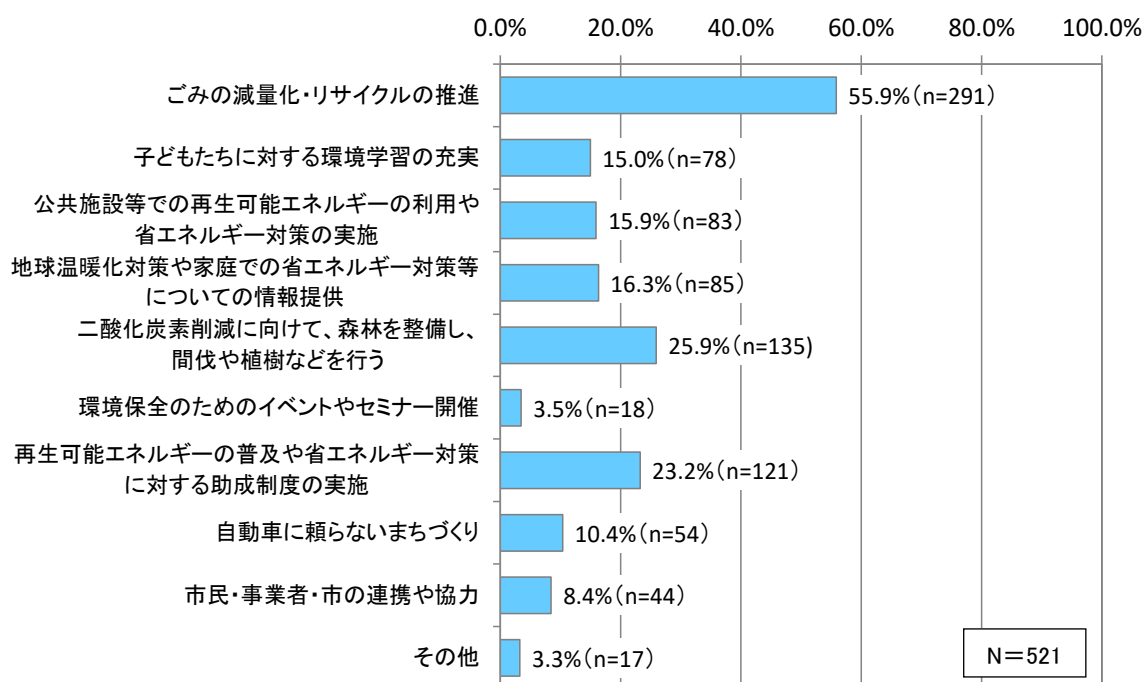
●年齢別では、『関心がある』は、“60～69歳”が89.4%と最も高く、“30～39歳”が66.7%で最も低く、約23ポイントの差がみられます。

なお、「非常に関心がある」に限ってみると、“70歳以上”が30.3%と、唯一30%台を占め、他の年代よりも関心度が高くなっています。

単位：%		回答数	非常に関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	無回答	非常に関心がある＋ある程度関心がある	あまり関心がない＋全く関心がない
合計		98	20.0	61.4	12.7	3.5	2.4	81.3	16.2
性別	男性	251	17.9	62.9	10.8	6.0	2.4	80.9	16.7
	女性	278	22.3	60.1	14.4	1.4	1.8	82.4	15.8
年齢	18～29歳	57	19.3	57.9	15.8	7.0	0.0	77.2	22.8
	30～39歳	66	12.1	54.5	25.8	7.6	0.0	66.7	33.3
	40～49歳	90	21.1	57.8	12.2	5.6	3.3	78.9	17.8
	50～59歳	89	16.9	66.3	13.5	3.4	0.0	83.1	16.9
	60～69歳	123	17.1	72.4	8.9	0.8	0.8	89.4	9.8
	70歳以上	109	30.3	54.1	7.3	0.9	7.3	84.4	8.3

問 31 地球温暖化防止のため、どのような取組が有効だと思いますか。（〇は2つまで）

地球温暖化防止のための有効だと思う取組は、「ごみの減量化・リサイクルの推進」が55.9%と最も高く、次いで「二酸化炭素削減に向けて、森林を整備し、間伐や植樹などを行う」（25.9%）、「再生可能エネルギーの普及や省エネルギー対策に対する助成制度の実施」（23.2%）となっています。



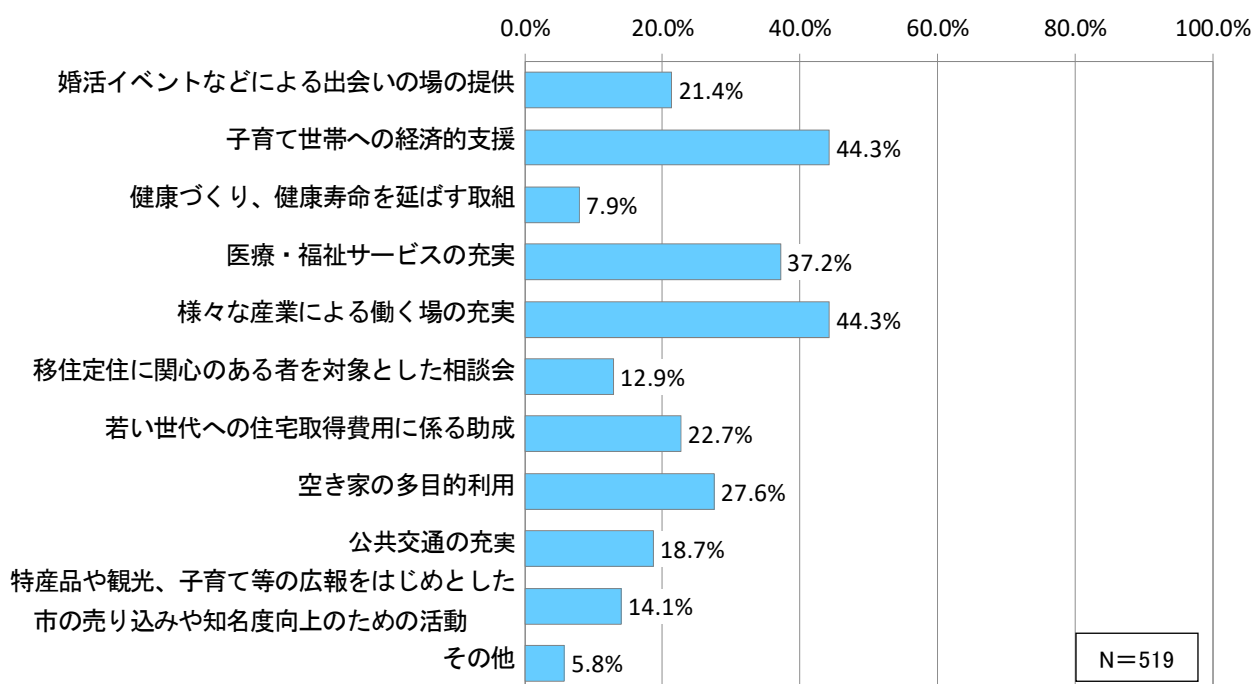
●問 31 その他の回答内容
地球規模の温暖化は、人間そのものが消滅しても変わらない。長期期間の地球環境の変化なので尽くす手段は無いと思う。
温泉があるのだから、何かに利用すれば良いと思います。
必要ない。
原子力発電所の再稼動。
他のエネルギーを考える。
電気自動車の普及。
原発。
スーパーでパック詰めされた商品に張ってある、値札のノリが強すぎ、資源ごみに出そうと思ってもはがすことが出来ず、燃えるゴミとして出さざるを得ない。エコプラントでも、資源ごみとして出しても多分燃えるゴミに振り分けてしまうと思う。条例を作り、もっと資源ごみとして出しやすい環境を作ったらいかがでしょうか。
隣の大国の環境対策。
全部。
世界平和。
太陽パネルを低価格で設定。
車の電力化。
代替エネルギーの開発。

4 人口減少について

問 32 人口減少対策について、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(〇は3つまで)

力を入れるべき人口減少対策は、「子育て世帯への経済的支援」と「様々な産業による働く場の充実」が共に 44.3%と最も高く、次いで「医療・福祉サービスの充実」(37.2%)となっており、“子育て支援”、“雇用の場の確保”、“医療・福祉の充実”の3つの対策が特に重要と認識していることがうかがえます。



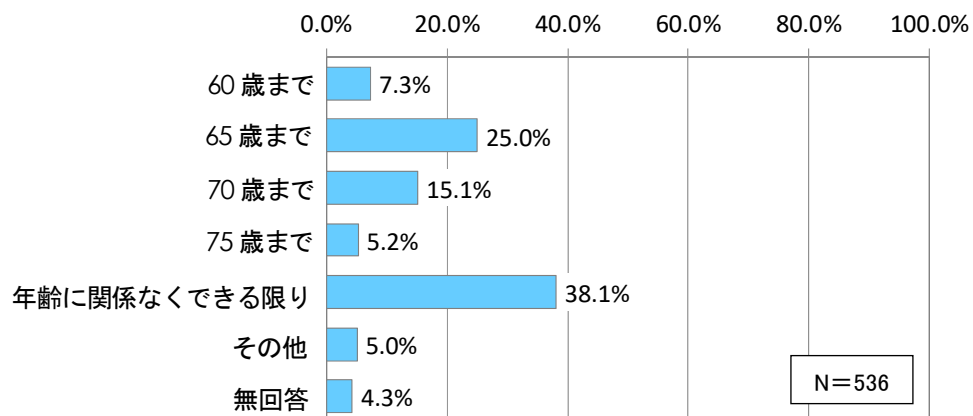
●問 32 その他の回答内容

不妊治療や子育て支援の見直し。(子どもに直接反映される経済的支援でなければ意味がない。)
子育てをしながら働きやすい環境がつかれるように、企業側への支援など。
グローバル化という名の欧米の真似をして、日本古来の家族構成を壊した事が原因だと思うので、日本人の考えが変わらなければ無理でしょう。
高いレベルの教育やスポーツの指導を受けたり活動する場を増やす。子供が選べる選択肢を増やして欲しい
若者の意見を聞く場を設け、意見を取り入れる。
空家の解体と土地販売を行政が手伝う。
若い世代の手取り上昇。
子育て世帯(高校から大学)への経済援助。
自殺しそうな人の支援や事故死に対するより一層の安全対策をする。
若い人達がある程度高収入で働ける条件が整えば、人口は増えていくと思います。
地元の職場も人手不足なので、ハローワーク以外での地元職場のPR。
生命維持装置も大事ですが、尊厳死も配慮してほしい。
行政に頼らなくても、生活できる収入を得られる企業を呼んで欲しい。
どんな対策をとっても一定数減るので、純魚沼市民を増やすより他から移住したいと思える、住んでいる人が満足できる市にしたい。市に頼るだけでなく、自発的に取り組める市にしていきたい。
進学などで転居した子ども達が安心して働ける職場。
子育てしやすい補助金、住む得点など。

●問 32 その他の回答内容 つづき
教育環境の充実。
魚沼市への転入者に住宅取得費用に係る助成。
大規模商業施設を造れば働ける場が出来、他の地域からの流入が見込める。
コンパクトシティを長期的、段階的に実現するための取り組み。
不妊治療、子育て等の助成金制度。
元市役所の有効活用。
時代の流れに合わせた施設建設。
所得の向上につながる施策。
教育の無料化とレベルアップ。雪対策。
一自治体だけでなく、国全体の課題。もう手遅れ。
農業などの後継者を市外から呼ぶ等の活動。
ロボットや便利な機械による労働力の増強。
魚沼市は特に給料が安く、市外で働く若者が多くなり、そのまま市外で結婚し住むようになることも多い。
将来的に魅力ある町づくり、行政に市民が参加する町づくり。

問 33 人口減少・少子高齢化が進行することにより、人手不足が深刻になってきています。パートも含め、あなたはいくつまで働こうと考えていますか。（〇は1つ）

働きたいと思う年齢は、「年齢に関係なくできる限り」が38.1%と最も高く、次いで「65歳まで」（25.0%）、「70歳まで」（15.1%）となっており、高い就業意欲がうかがえます。

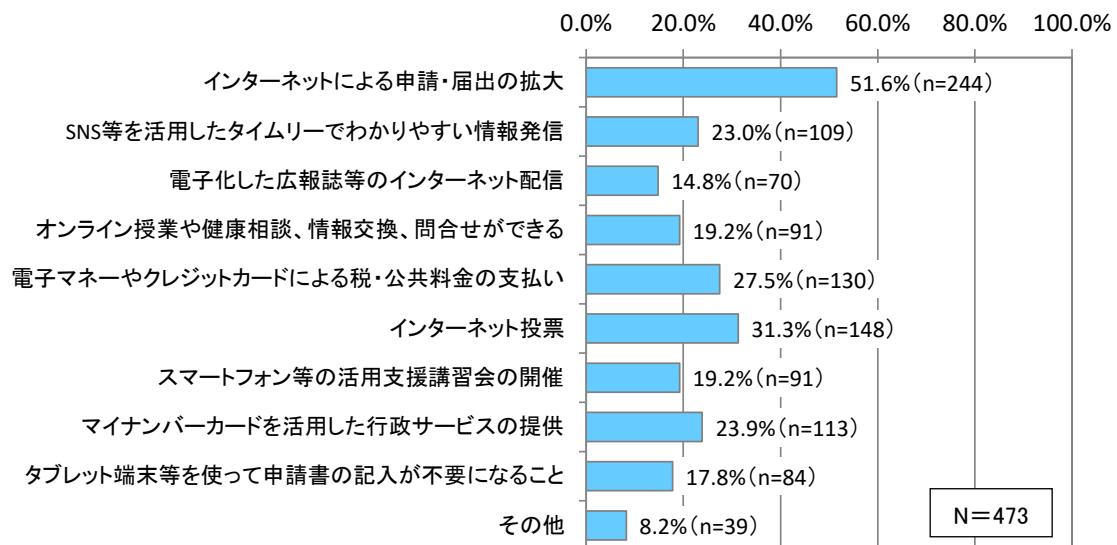


●問 33 その他の回答内容
病気が治ったら働けるだけ働きたい。
今は無職。何歳までとかは考えていない。
すぐにでも仕事辞めたいが、現実死ぬまで働くことになるでしょう。
年金がもらえるまで。
年令に関係なく官民が一体となったの施策の構築。
働き方だと思う。介護をしているので、すき間時間で短時間でできる仕事があれば、健康な限り長く。
体力があったり、病気でなければ。
働く気は無い、高齢のため。
64歳退職。
年金生活者なので。

●問 33 その他の回答内容 つづき
すでに無職。
働く意思はない。
68 才まで働きました。良かったです。
70 才まで働いていましたが、働く人の希望で年令に関係なく。
現在、私は 74 才、働く意欲もなくなっています。
定年で仕事をやめ、現在無職の状態。
年令的に働く事は出来ない。
職場による。
働いていない。
人体との相談で。
もう働けないのでボランティアに向ける。
母の介護があり、働ける職場がない。

問 34 人口減少により人手不足が深刻になる中、デジタル技術の活用によりそれを補う取組が進められています。今後、あなたがデジタル化を期待する手続きやサービスはありますか。（〇はいくつでも）

デジタル化を期待する手続き・サービスは、「インターネットによる申請・届出の拡大」が 51.6%と最も高く、次いで、「インターネット投票」（31.3%）、「電子マネーやクレジットカードによる税・公共料金の支払い」（27.5%）となっています。

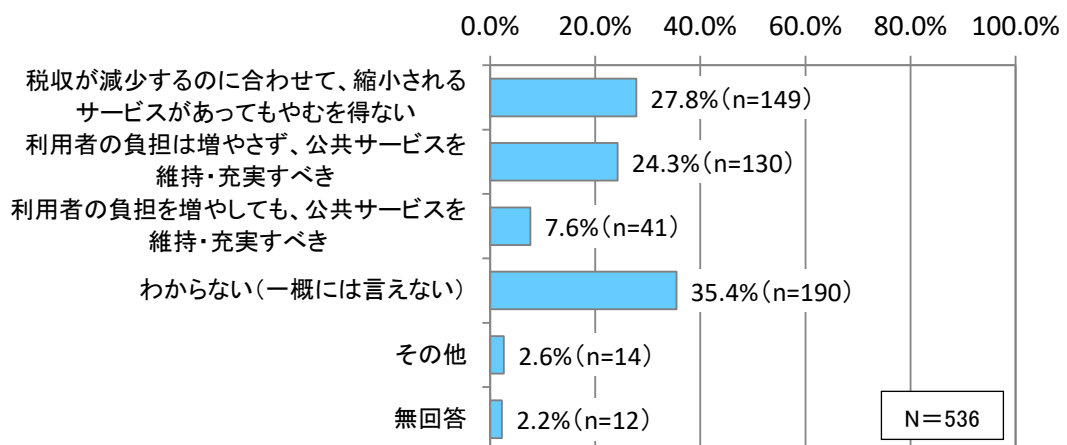


●問 34 その他の回答内容
人手不足を理由に、全てをデジタル化する必要はない。
よくわかりません。
あまりデジタルにシフトしたくない。
デジタル化、若い世代で私どもは期待しない。
デジタル技術を活用したくても、理解する能力がありません。
年を取ったら、デジタル化にはついていけない。
便利と勘違いした不便とストレスだけ。
みんなができるわけではないので、便利と思うが迷う。
デジタル化はコミュニケーションがなくなりそう。
各種手続きの簡素化、高齢者の再雇用など。

●問 34 その他の回答内容 つづき
あまりデジタル化されると高齢者は対応に大変です！！
人としての付き合いを大切に。
デジタル化についていけないので、そういう人にも対応してもらいたい。
まずは、人と人とのコミュニケーションが成立したうえでデジタル化を考えるべき。
デジタル化でなく、昔のようにアナログでOKになって欲しい。
現在インターネットに接続しておらず、何もかもインターネットと言うが、インターネット、SNS、その他タブレット等ほとんどわからない。
よくわからない。使用できない。
期待していない。
何もかもインターネットに頼ることに反対派です。
デジタルに興味なし。
魚沼市の老人のどれ程が、スマホ・パソコンを使用できるのでしょうか？そういう老人はどうしたらいいの？
年齢がいつからのデジタル化は、難しい感じがします。
パソコン等が苦手なので不安がある。
自分を含め、高齢になると時代の変化でいたしかたないと思いますが、インターネット、デジタル化オンライン等々、わからないことだらけでついていけません。教えていただける場があると嬉しいですが！！若い方々に頼らざるを得ないです。学んでは使いこなせるようになりたいですが！！市役所に行ったら教えてくださいませんか？！
デジタル化にはついていけません。

問 35 今後、人口減少・少子高齢化が進行することにより、市の税収が減少し、現在のサービス水準を維持できなくなる恐れがあります。もし、そのようになった場合の公共サービスのあり方について、どのようにお考えになりますか。（〇は1つ）

人口減少・少子高齢社会における公共サービスのあり方については、「わからない（一概には言えない）」が35.4%と最も高く、次いで「税収が減少するのに合わせて、縮小されるサービスがあってもやむを得ない」（27.8%）、「利用者の負担は増やさず、公共サービスを維持・充実すべき」（24.3%）となっており、利用者の負担が増すことは望まれていないことがうかがえます。



●問 35 その他の回答内容
魚沼市どころか、日本の国全体に言えることです。市の方で収入と支出のデータを早め早めに対応していけないと大変なことになります。
産業の誘致、方法の見直し、多くの人が働ける場所を現在以上に市が中心となっていく。
何も縮小せず無駄な経費や人件費を見なおす。
利用者の負担を増やしても縮小されるサービスがあってもやむを得ない。
市街への引越を検討する。
1 をやってからの 3。
・市役所職員が多すぎる。・事務事業を行なうにあたっての工夫がなさすぎる。・親切さが無い。仕事から逃げる。・これ迄の 2 年間に 2 回電話し、担当が答えられず調べておくと言ったにもかかわらず、指定の時間に電話をかけたら、休暇、現場に行き、連絡とれずの返事→その時間にいない。
市の職員を減らす。
当然市政も比例して縮小すべき。
役所が、ガンバル。
そうさせないのが市政、市長、市議の仕事。
コンパクトシティを目指す等、時に大胆な政策で公共サービスの維持・充実を図る。

■問 35 × 年齢別

●年齢別では、“30～39 歳”と“50～59 歳”は、「税収が減少するのに合わせて、縮小されるサービスがあってもやむを得ない」が 30%台を占め最も高いのに対し、他の年代は、「わからない（一概には言えない）」が 30～40%台を占め、最も高くなっています。

また、「利用者の負担は増やさず、公共サービスを維持・充実すべき」は、“70 歳以上”が 29.4%と最も高くなっています。

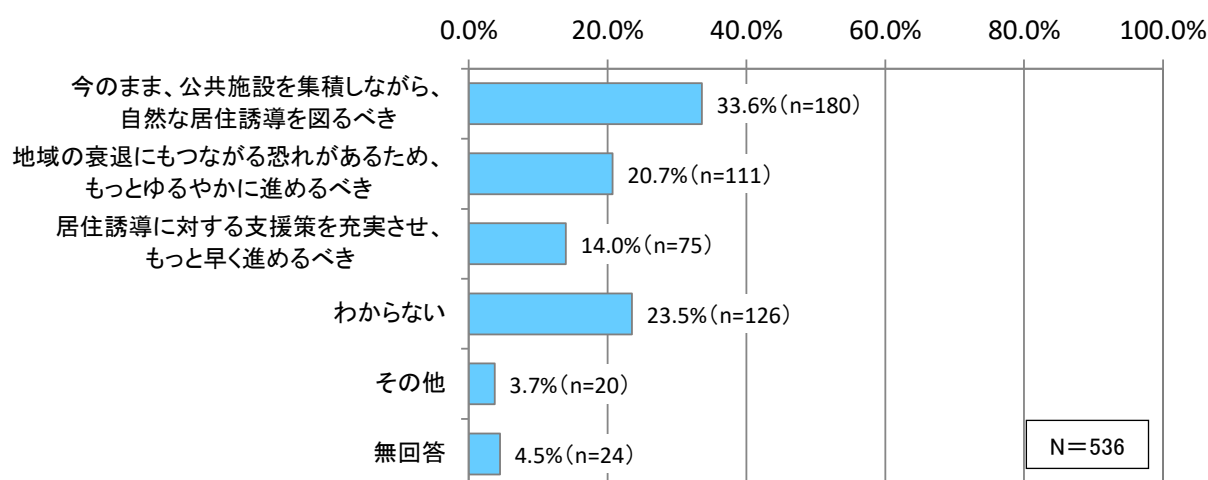
一方、「利用者の負担を増やしても、公共サービスを維持・充実すべき」は、“18～29 歳”が 14.0%と、唯一 10%台を占め最も高くなっています。

単位：%		回答数	税収が減少するのに合わせて、縮小されるサービスがあってもやむを得ない	利用者の負担は増やさず、公共サービスを意地・充実すべき	利用者の負担を増やしても、公共サービスを維持・充実すべき	わからない（一概には言えない）	その他	無回答
合計		98	27.8	24.3	7.6	35.4	2.6	2.2
年齢	18～29 歳	57	28.1	24.6	14.0	33.3	0.0	0.0
	30～39 歳	66	36.4	25.8	6.1	28.8	3.0	0.0
	40～49 歳	90	33.3	23.3	4.4	36.7	1.1	1.1
	50～59 歳	89	38.2	16.9	5.6	34.8	3.4	1.1
	60～69 歳	123	19.5	25.2	8.9	41.5	2.4	2.4
	70 歳以上	109	19.3	29.4	8.3	33.0	4.6	5.5

問 36 人口減少、少子高齢化に対応した誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくりを進めるため、都市拠点（小出、堀之内）に市役所庁舎、病院、図書館、集会施設などの公共施設を集約しています。進め方についてどのようにお考えになりますか。

（○は1つ）

都市拠点（小出、堀之内）での公共施設を集約化については、「今のまま、公共施設を集積しながら、自然な居住誘導を図るべき」が 33.6%と最も高く、次いで「わからない」（23.5%）、「地域の衰退にもつながる恐れがあるため、もっとゆるやかに進めるべき」（20.7%）となっており、性急な整備はあまり求められていないことがうかがえます。



●問 36 その他の回答内容
公共施設までの交通のしやすさが大切だと思う。
推進はよいが、取り残されている住民へのフォローがなされていけば問題ない。
高齢者には施設を集約されると不便に感じられる方もいると思います。
誰もがという定義が良く分からない。
都市拠点以外の地域が住みにくくなるのではないかな？進め方に不安がある。
コンパクトなまちにすると、都市外の地域の魅力が減ると思う。
集約賛成ですが、他地域からの利便性も考えてほしい。
誰もが、現在住んでいる所が大切。とても難しい。最終的には居住誘導になるのかな。
集積はある程度必要ですが、それに合わせて交通手段や使い易さも充実させるべき。
小出周辺に住んでいるので1カ所で済めばありがたい。
空き家、土地の活用、各地区の住宅情報（空き家など）。
住みやすい市をつくる。
集約されていない地区の人口減少が進むため良くないと思う。
土地（田・畑）があります。コンパクト化？どうなるのかなと思います。
人口減少しても住んでいる人達は引越して集約するわけではないので、そこまでコンパクトにする必要はないと思う。
コンパクトな町づくりは不便な方が多くなる。
周辺地域が衰退する。“コンパクトなまちづくり”とは都市拠点を作ることか？
今住んでいる地域（広神～入広瀬）の人たちの気持ちをきちんと考えていくべき、おいてけぼりにされている感じがします。
小、中学校を1校に。
図書館や集会施設などは現在ある施設などを使うべき。学校などは空いてくるのでは。
拠点から離れた地域へのケアも同時進行で。

■問 36 × 年齢別

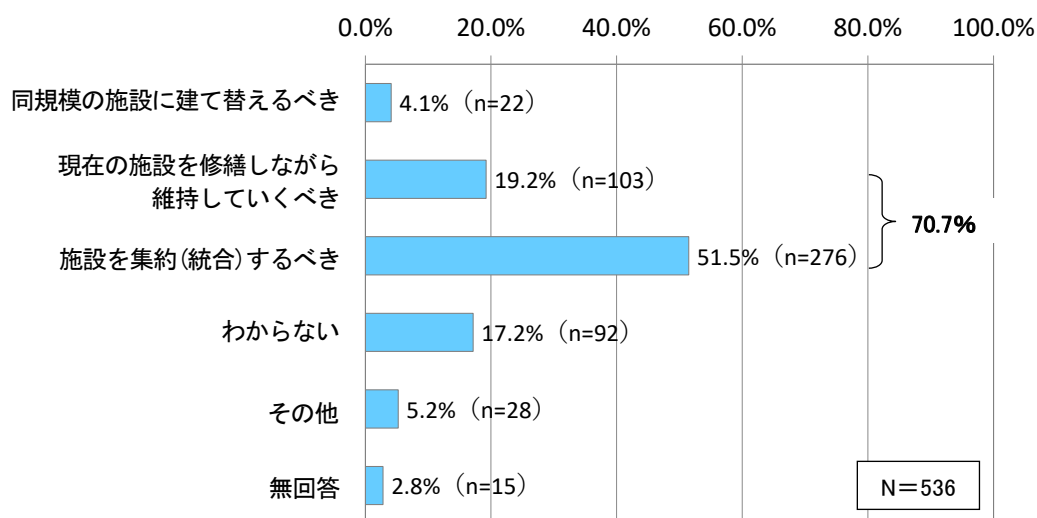
●年齢別では、いずれの年代も「今のまま、公共施設を集積しながら、自然な居住誘導を図るべき」が30～40%程度を占め、最も高くなっています。

また、「地域の衰退にもつながる恐れがあるため、もっとゆるやかに進めるべき」は、“70歳以上”が27.5%と最も高く、「居住誘導に対する支援策を充実させ、もっと早く進めるべき」は、“40～49歳”が21.1%と、唯一20%台を占め最も高くなっています。

単位：%		回答数	今のまま、公共施設を集積しながら、自然な居住誘導を図るべき	地域の衰退にもつながる恐れがあるため、もっとゆるやかに進めるべき	居住誘導に対する支援策を充実させ、もっと早く進めるべき	わからない	その他	無回答
合計		96	33.6	20.7	14.0	23.5	3.7	4.5
年齢	18～29歳	57	36.8	19.3	8.8	31.6	3.5	0.0
	30～39歳	66	39.4	22.7	16.7	18.2	3.0	0.0
	40～49歳	90	33.3	17.8	21.1	21.1	4.4	2.2
	50～59歳	89	38.2	13.5	13.5	25.8	5.6	3.4
	60～69歳	123	28.5	22.0	14.6	24.4	3.3	7.3
	70歳以上	109	31.2	27.5	9.2	21.1	2.8	8.3

問 37 市内には昭和 50 年前後及び平成 6 年前後に建設された築 30～50 年程度の公共施設が多くあります。今後も同じ規模で公共施設を維持していくとすると、建物や設備の老朽化に伴う大規模改修や建替えに多額の費用が掛かることが想定されます。今後の公共施設のあり方について、どのようにお考えになりますか。（〇は 1 つ）

今後の公共施設の維持・管理のあり方については、「施設を集約（統合）するべき」が 51.5%と過半数を占めており、次いで「現在の施設を修繕しながら維持していくべき」（19.2%）、「わからない」（17.2%）となっており、公共施設について、建替えよりも統合や修繕により維持していくべきとの回答が約 7 割を占めています。



●問 37 その他の回答内容
施設の統合もやむを得ないと思うが、都市部に施設を集約すると交通手段のない市民が利用しづらくなる。そういう人たちが手続きできるよう、出張または訪問サービスなどを検討して欲しい。
施設継続の必要性を検討。
空き施設や空き家を改築して利用すべき。
必要であれば見直しの上建て替えもやむなしと思います。
建物はいらない。建てればいずれは老朽化するから。
施設をひとまとめに考えるのには少し乱暴かもしれない。今は分からない。
立地状況によりきめ細やかに改廃する。
維持できないのであれば施設撤廃。
施設の利用方法を考えるべき。
統合することで浮いた費用で利便性を上げてほしい。
小人数の学校、保育園は早急に統合するべき。
維持出来る施設は残し、老朽化施設は小規模にする。
修繕できるものは修繕し、むりなものは集約（統合）する。
必要に応じた規模の施設への移転も考慮する
P C を自由に使えたり、D V D 鑑賞（ヘッドホン）ができたり、W i f i が使えると若者も利用しやすい。
見直しの意見、集約討議が必要。
2 番がよいと思うが、すべての維持が大変となればなくなる施設があってもしかたないかなと思う。利用具合、皆さんの意見で。
どの程度の使用頻度及び人数で施設が利用しているか出して改修・建替え、もしくは廃止を検討した方がよい。建替えるのであれば、どこにお金をかけるか決めてほしい。（デザイン性は必要ない。）施設内が使いやすいというのが大事だと思う。

●問 37 その他の回答内容 つづき
施設を集合すると利用できない方が増加。
公共施設の役割によるため一概にできない。
目的を失った建物、利用者数が少ない施設の取壊しを進める。
借金の多い市になって誰も住みたがらないのだから建替えは反対です。
集約するとしても誰もが安心するアクセスの確保を第一条件に。
通常から管理不備。もう少し維持管理をこまめにすべき。
地域に必須なものとそうでも無いものを分けて考えるべき。
修繕と建て替えどちらがお金がかかるのでしょうか？
できる建物は、木造平屋。田舎らしくゆったりオシャレに。
集約は必要だと思うが、全て同じ考え方で進められないと思う。

■問 37 × 年齢別

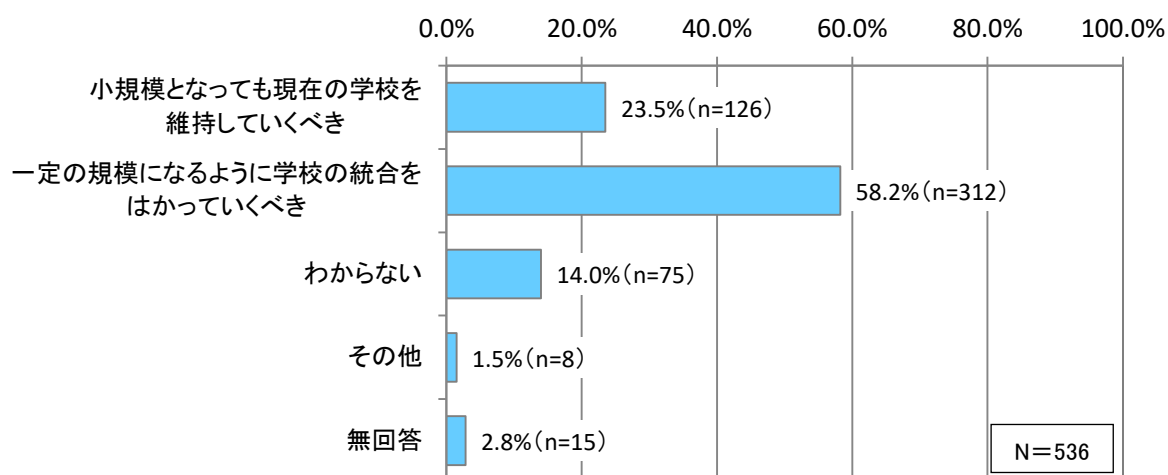
●年齢別では、いずれの年代も「施設を集約（統合）するべき」との回答が最も高く、中でも“50～59 歳”が 67.4%と、唯一 60%台を占めています。

また、「同規模の施設に建て替えるべき」は、“18～29 歳”のみ 10.5%を占め、他の年代はすべて 10%以下となっています。

単位：%		回答数	同規模の施設に建て替えるべき	現在の施設を修繕しながら維持していくべき	施設を集約（統合）するべき	わからない	その他	無回答
合計		97	4.1	19.2	51.5	17.2	5.2	2.8
年齢	18～29 歳	57	10.5	22.8	42.1	21.1	1.8	1.8
	30～39 歳	66	9.1	18.2	51.5	18.2	3.0	0.0
	40～49 歳	90	4.4	23.3	52.2	14.4	5.6	0.0
	50～59 歳	89	2.2	7.9	67.4	13.5	6.7	2.2
	60～69 歳	123	2.4	18.7	45.5	23.6	5.7	4.1
	70 歳以上	109	0.9	24.8	50.5	11.9	6.4	5.5

問 38 人口が減少していくなか、今後の小中学校のあり方について、どのようにお考えになりますか。（〇は1つ）

今後の小中学校のあり方については、「一定の規模になるように学校の統合をはかっていくべき」が58.2%と過半数を占めており、次いで「小規模となっても現在の学校を維持していくべき」（23.5%）、「わからない」（14.0%）となっており、統合が望ましいとの回答が多数を占めています。



●問 38 その他の回答内容
通学区域を柔軟に対応し、現状の学校を維持する。
統合するにしても子供達に通えるように考えるべきではないか。
仲間一緒に過ごす人が多い方が思い出や友達が増えるから。
小規模学校を増やすか、現規模で2～3校にする。
1を希望したいけれど子供の人数がないとなれば難しいところですしネ。
1が理想だが、経費が大変2もやむなし。
市民の意見を聞きながら、地域により、1と2、両方あると思う。

■問 38 × 年齢別

●年齢別では、いずれの年代も「一定の規模になるように学校の統合をはかっていくべき」が最も高く、中でも“50～59 歳”が 75.3%と、唯一 70%台を占め最も高くなっています。

また、小中学生の親の年代である“30～39 歳”及び“40～49 歳”の回答をみると、「一定の規模になるように学校の統合をはかっていくべき」は、“30～39 歳”は 56.1%、“40～49 歳”は 66.7%を占めています。一方、「小規模となっても現在の学校を維持していくべき」は、“30～39 歳”は 30.3%、“40～49 歳”は 21.1%を占めており、統合については“40～49 歳”の意向のほうが高くなっています。

単位：%		回答数	小規模となっても現在の学校を維持していくべき	一定の規模になるように学校の統合をはかっていくべき	わからない	その他	無回答
合計		100	23.5	58.2	14.0	1.5	2.8
年齢	18～29 歳	57	31.6	50.9	17.5	0.0	0.0
	30～39 歳	66	30.3	56.1	12.1	1.5	0.0
	40～49 歳	90	21.1	66.7	11.1	1.1	0.0
	50～59 歳	89	13.5	75.3	7.9	1.1	2.2
	60～69 歳	123	28.5	51.2	14.6	1.6	4.1
	70 歳以上	109	20.2	51.4	19.3	2.8	6.4

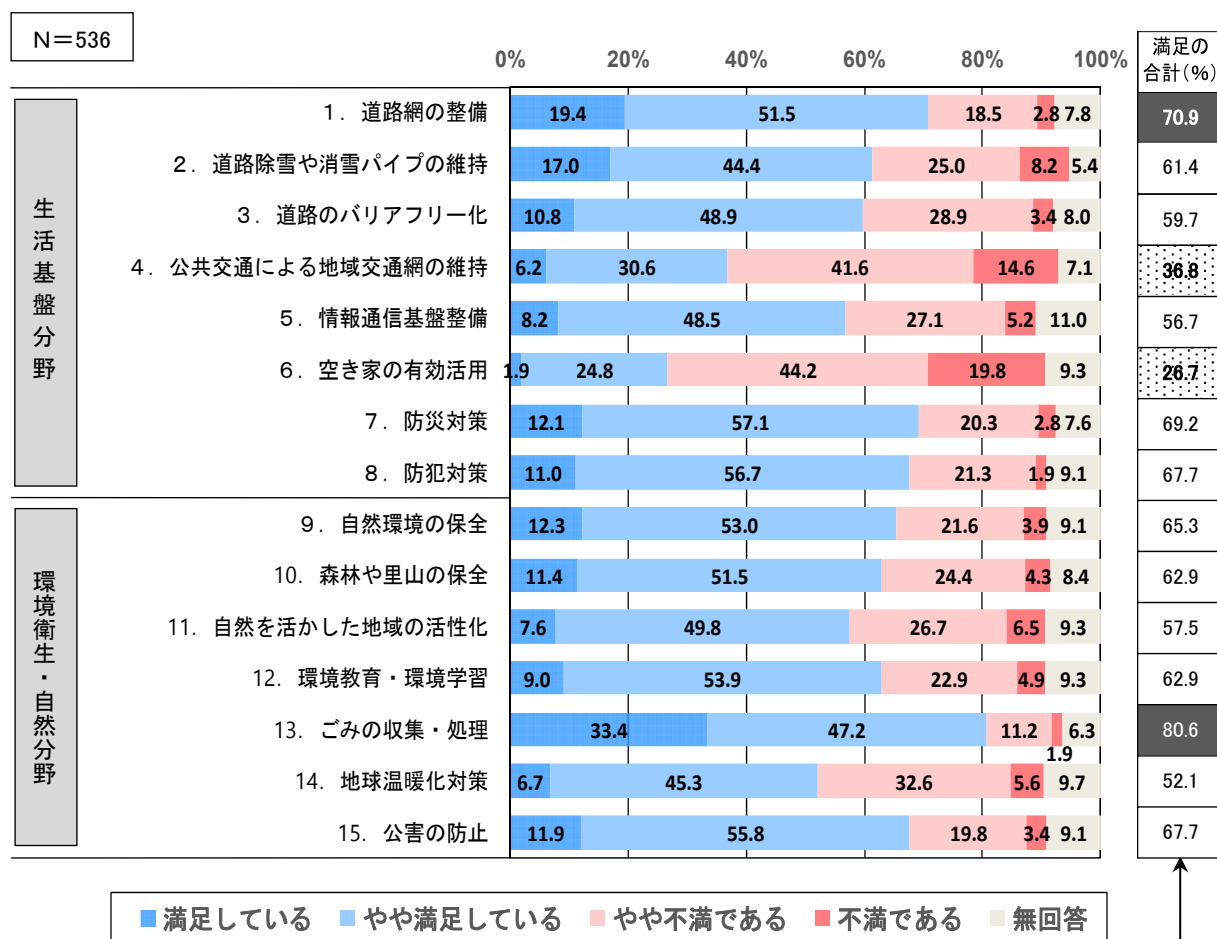
5 市政全般の満足度・重要度について

問 39 今後、ますます魚沼市がかがやき続けるために、市の取組の満足度と重要度についておたずねします。それぞれあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

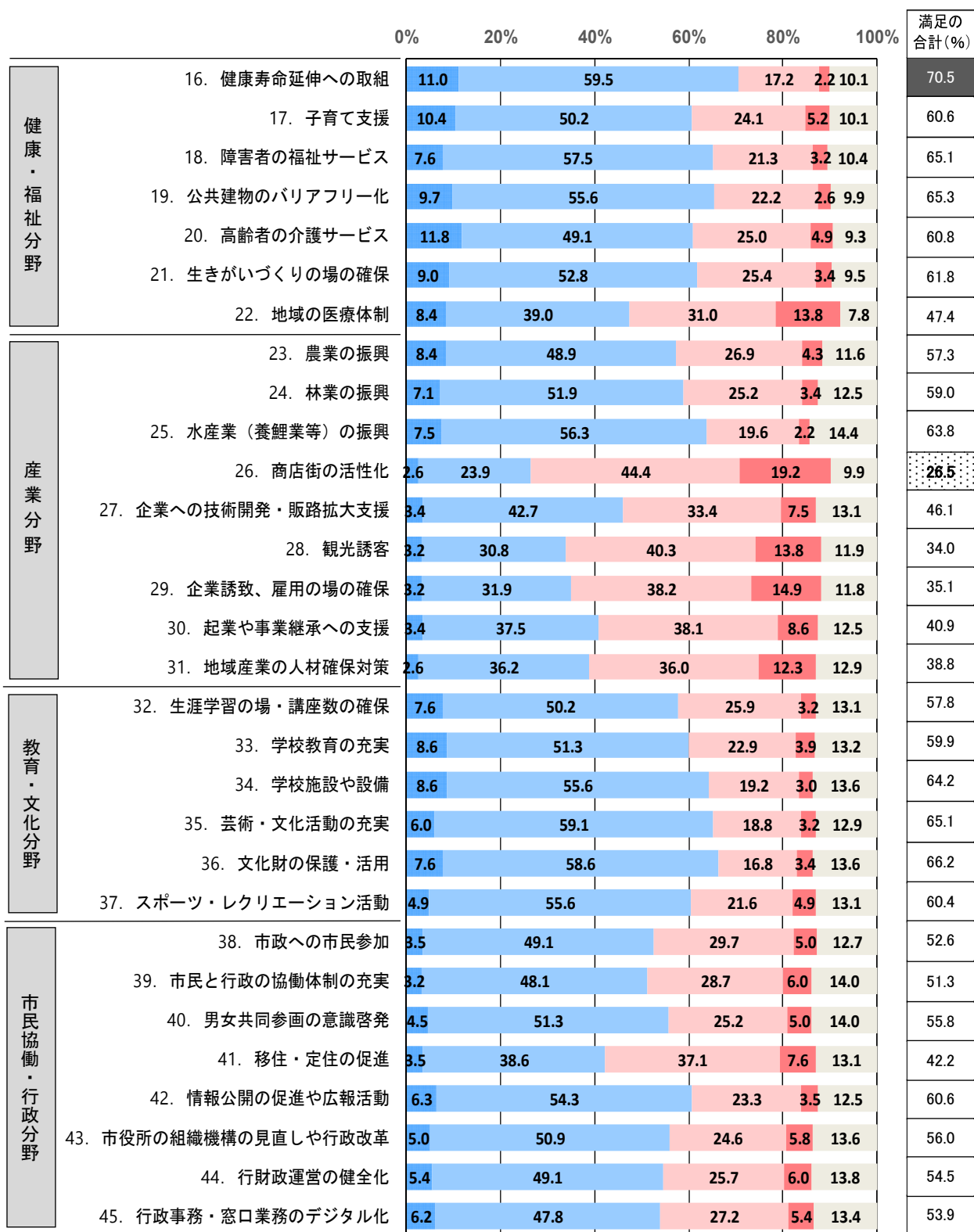
(1) 現在の市政に対する満足度

現在の市政に対する「満足度」として45項目について尋ねたところ、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は、「13. ごみの収集・処理」が80.6%と最も高く、次いで、「1. 道路網の整備」(70.9%)、「16. 健康寿命延伸への取組」(70.5%)となっています。

一方、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた『不満である』は、「6. 空き家の有効活用」が64.0%と最も高く、次いで、「26. 商店街の活性化」(63.6%)、「4. 公共交通による地域交通網の維持」(56.2%)となっています。



※「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』割合が高い項目を■、低い項目を□で示しています。



■ 満足している ■ やや満足している ■ やや不満である ■ 不満である ■ 無回答

※「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』割合が高い項目を■、低い項目を□で示しています。

●現在の市政に対する満足度 × 年齢別

年齢別の現在の市政に対する満足度の評価は、次のとおりです。

① 18～29 歳

最も満足度が高い項目は、「13. ごみの収集・処理」（89.5%）で、次いで「7. 防災対策」と「10. 森林や里山の保全」（共に 82.5%）となっています。

一方、不満度が最も高い項目は、「26. 商店街の活性化」（71.9%）で、次いで「4. 公共交通による地域交通網の維持」、「6. 空き家の有効活用」、「28. 観光誘客」の3項目（共に 61.4%）となっています。

18～29歳(n=57) 単位：%	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	無回答	満足＋やや満足	不満＋やや不満
1. 道路網の整備	24.6	50.9	17.5	5.3	1.8	75.4	22.8
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	33.3	38.6	17.5	10.5	0.0	71.9	28.1
3. 道路のバリアフリー化	19.3	54.4	22.8	1.8	1.8	73.7	24.6
4. 公共交通による地域交通網の維持	12.3	26.3	38.6	22.8	0.0	38.6	61.4
5. 情報通信基盤整備	10.5	52.6	29.8	5.3	1.8	63.2	35.1
6. 空き家の有効活用	1.8	35.1	42.1	19.3	1.8	36.8	61.4
7. 防災対策	17.5	64.9	14.0	1.8	1.8	82.5	15.8
8. 防犯対策	14.0	57.9	22.8	1.8	3.5	71.9	24.6
9. 自然環境の保全	26.3	52.6	14.0	3.5	3.5	78.9	17.5
10. 森林や里山の保全	24.6	57.9	14.0	0.0	3.5	82.5	14.0
11. 自然を活かした地域の活性化	17.5	50.9	24.6	3.5	3.5	68.4	28.1
12. 環境教育・環境学習	12.3	61.4	15.8	7.0	3.5	73.7	22.8
13. ごみの収集・処理	40.4	49.1	8.8	0.0	1.8	89.5	8.8
14. 地球温暖化対策	10.5	49.1	33.3	3.5	3.5	59.6	36.8
15. 公害の防止	19.3	59.6	14.0	3.5	3.5	78.9	17.5
16. 健康寿命延伸への取組	19.3	50.9	21.1	5.3	3.5	70.2	26.3
17. 子育て支援	17.5	45.6	24.6	8.8	3.5	63.2	33.3
18. 障害者の福祉サービス	8.8	61.4	22.8	3.5	3.5	70.2	26.3
19. 公共建物のバリアフリー化	10.5	52.6	31.6	1.8	3.5	63.2	33.3
20. 高齢者の介護サービス	12.3	61.4	21.1	3.5	1.8	73.7	24.6
21. 生きがいつくりの場の確保	14.0	59.6	21.1	1.8	3.5	73.7	22.8
22. 地域の医療体制	17.5	36.8	24.6	17.5	3.5	54.4	42.1
23. 農業の振興	22.8	43.9	26.3	3.5	3.5	66.7	29.8
24. 林業の振興	12.3	61.4	22.8	0.0	3.5	73.7	22.8
25. 水産業(養鯉業等)の振興	8.8	66.7	19.3	1.8	3.5	75.4	21.1
26. 商店街の活性化	3.5	22.8	36.8	35.1	1.8	26.3	71.9
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	5.3	61.4	24.6	7.0	1.8	66.7	31.6
28. 観光誘客	5.3	31.6	42.1	19.3	1.8	36.8	61.4
29. 企業誘致・雇用の場の確保	5.3	40.4	36.8	15.8	1.8	45.6	52.6
30. 起業や事業継承への支援	5.3	45.6	42.1	3.5	3.5	50.9	45.6
31. 地域産業の人材確保対策	5.3	47.4	29.8	14.0	3.5	52.6	43.9
32. 生涯学習の場・講座数の確保	15.8	50.9	24.6	5.3	3.5	66.7	29.8
33. 学校教育の充実	14.0	52.6	22.8	7.0	3.5	66.7	29.8
34. 学校施設や設備	15.8	56.1	14.0	7.0	7.0	71.9	21.1
35. 芸術・文化活動の充実	8.8	59.6	17.5	10.5	3.5	68.4	28.1
36. 文化財の保護・活用	12.3	66.7	7.0	8.8	5.3	78.9	15.8
37. スポーツ・レクリエーション活動	5.3	59.6	21.1	8.8	5.3	64.9	29.8
38. 市政への市民参加	7.0	36.8	43.9	7.0	5.3	43.9	50.9
39. 市民と行政の協働体制の充実	5.3	50.9	29.8	8.8	5.3	56.1	38.6
40. 男女共同参画の意識啓発	7.0	49.1	29.8	7.0	7.0	56.1	36.8
41. 移住・定住の促進	7.0	43.9	29.8	15.8	3.5	50.9	45.6
42. 情報公開の促進や広報活動	8.8	63.2	15.8	7.0	5.3	71.9	22.8
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	5.3	59.6	21.1	5.3	8.8	64.9	26.3
44. 行財政運営の健全化	5.3	59.6	24.6	5.3	5.3	64.9	29.8
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	8.8	50.9	26.3	7.0	7.0	59.6	33.3

※ 満足度上位3位を■（青）、不満度上位3位を■（赤）で示しています。

② 30～39 歳

最も満足度が高い項目は、「16. 健康寿命延伸への取組」（89.4%）で、次いで「7. 防災対策」と「13. ごみの収集・処理」（共に 86.4%）となっています。

一方、不満度が最も高い項目は、「6. 空き家の有効活用」と「26. 商店街の活性化」（共に 54.5%）で、次いで「22. 地域の医療体制」（53.0%）となっています。

30～39歳(n=66) 単位：%	満足 している	やや 満足 している	やや 不満 である	不満 である	無 回 答	満足 ＋ やや 満足	不満 ＋ やや 不満
1. 道路網の整備	27.3	54.5	18.2	0.0	0.0	81.8	18.2
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	24.2	47.0	18.2	10.6	0.0	71.2	28.8
3. 道路のバリアフリー化	18.2	60.6	18.2	3.0	0.0	78.8	21.2
4. 公共交通による地域交通網の維持	6.1	42.4	39.4	12.1	0.0	48.5	51.5
5. 情報通信基盤整備	15.2	54.5	22.7	4.5	3.0	69.7	27.3
6. 空き家の有効活用	4.5	40.9	36.4	18.2	0.0	45.5	54.5
7. 防災対策	10.6	75.8	13.6	0.0	0.0	86.4	13.6
8. 防犯対策	9.1	75.8	12.1	0.0	3.0	84.8	12.1
9. 自然環境の保全	21.2	62.1	13.6	3.0	0.0	83.3	16.7
10. 森林や里山の保全	18.2	59.1	21.2	0.0	1.5	77.3	21.2
11. 自然を活かした地域の活性化	10.6	68.2	16.7	4.5	0.0	78.8	21.2
12. 環境教育・環境学習	15.2	63.6	15.2	6.1	0.0	78.8	21.2
13. ごみの収集・処理	37.9	48.5	12.1	1.5	0.0	86.4	13.6
14. 地球温暖化対策	9.1	57.6	28.8	3.0	1.5	66.7	31.8
15. 公害の防止	19.7	60.6	19.7	0.0	0.0	80.3	19.7
16. 健康寿命延伸への取組	19.7	69.7	10.6	0.0	0.0	89.4	10.6
17. 子育て支援	18.2	47.0	25.8	7.6	1.5	65.2	33.3
18. 障害者の福祉サービス	9.1	75.8	12.1	1.5	1.5	84.8	13.6
19. 公共建物のバリアフリー化	15.2	68.2	15.2	0.0	1.5	83.3	15.2
20. 高齢者の介護サービス	13.6	62.1	21.2	3.0	0.0	75.8	24.2
21. 生きがいづくりの場の確保	18.2	66.7	15.2	0.0	0.0	84.8	15.2
22. 地域の医療体制	10.6	34.8	36.4	16.7	1.5	45.5	53.0
23. 農業の振興	13.6	60.6	22.7	3.0	0.0	74.2	25.8
24. 林業の振興	15.2	62.1	22.7	0.0	0.0	77.3	22.7
25. 水産業（養殖業等）の振興	13.6	63.6	22.7	0.0	0.0	77.3	22.7
26. 商店街の活性化	9.1	36.4	40.9	13.6	0.0	45.5	54.5
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	9.1	54.5	27.3	7.6	1.5	63.6	34.8
28. 観光誘客	7.6	45.5	30.3	16.7	0.0	53.0	47.0
29. 企業誘致、雇用の場の確保	7.6	42.4	36.4	13.6	0.0	50.0	50.0
30. 起業や事業継承への支援	6.1	53.0	30.3	10.6	0.0	59.1	40.9
31. 地域産業の人材確保対策	4.5	57.6	28.8	9.1	0.0	62.1	37.9
32. 生涯学習の場・講座数の確保	12.1	59.1	22.7	4.5	1.5	71.2	27.3
33. 学校教育の充実	13.6	62.1	19.7	3.0	1.5	75.8	22.7
34. 学校施設や設備	12.1	63.6	18.2	4.5	1.5	75.8	22.7
35. 芸術・文化活動の充実	10.6	71.2	10.6	6.1	1.5	81.8	16.7
36. 文化財の保護・活用	13.6	71.2	12.1	1.5	1.5	84.8	13.6
37. スポーツ・レクリエーション活動	7.6	57.6	28.8	4.5	1.5	65.2	33.3
38. 市政への市民参加	6.1	59.1	25.8	7.6	1.5	65.2	33.3
39. 市民と行政の協働体制の充実	4.5	63.6	25.8	4.5	1.5	68.2	30.3
40. 男女共同参画の意識啓発	9.1	65.2	18.2	6.1	1.5	74.2	24.2
41. 移住・定住の促進	7.6	53.0	31.8	6.1	1.5	60.6	37.9
42. 情報公開の促進や広報活動	12.1	63.6	19.7	3.0	1.5	75.8	22.7
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	9.1	63.6	18.2	7.6	1.5	72.7	25.8
44. 行財政運営の健全化	10.6	65.2	15.2	6.1	3.0	75.8	21.2
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	10.6	54.5	27.3	7.6	0.0	65.2	34.8

※ 満足度上位3位を■（青）、不満度上位3位を■（赤）で示しています。

③ 40～49 歳

最も満足度が高い項目は、「10. 森林や里山の保全」（76.7%）で、次いで「13. ごみの収集・処理」（75.6%）、「9. 自然環境の保全」（73.3%）となっています。

一方、不満度が最も高い項目は、「6. 空き家の有効活用」と「26. 商店街の活性化」（共に 74.4%）で、次いで「28. 観光誘客」（63.3%）となっています。

40～49歳(n=90) 単位: %	満足 している	やや 満足 している	やや 不満 である	不満 である	無 回 答	満足 十 やや 満足	不満 十 やや 不満
1. 道路網の整備	17.8	52.2	24.4	3.3	2.2	70.0	27.8
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	16.7	35.6	34.4	12.2	1.1	52.2	46.7
3. 道路のバリアフリー化	14.4	45.6	35.6	2.2	2.2	60.0	37.8
4. 公共交通による地域交通網の維持	10.0	34.4	40.0	14.4	1.1	44.4	54.4
5. 情報通信基盤整備	10.0	47.8	34.4	6.7	1.1	57.8	41.1
6. 空き家の有効活用	3.3	20.0	55.6	18.9	2.2	23.3	74.4
7. 防災対策	12.2	55.6	27.8	3.3	1.1	67.8	31.1
8. 防犯対策	13.3	54.4	26.7	2.2	3.3	67.8	28.9
9. 自然環境の保全	13.3	60.0	20.0	2.2	4.4	73.3	22.2
10. 森林や里山の保全	13.3	63.3	17.8	2.2	3.3	76.7	20.0
11. 自然を活かした地域の活性化	10.0	52.2	25.6	7.8	4.4	62.2	33.3
12. 環境教育・環境学習	10.0	60.0	25.6	2.2	2.2	70.0	27.8
13. ごみの収集・処理	27.8	47.8	18.9	3.3	2.2	75.6	22.2
14. 地球温暖化対策	7.8	50.0	31.1	7.8	3.3	57.8	38.9
15. 公害の防止	13.3	56.7	25.6	2.2	2.2	70.0	27.8
16. 健康寿命延伸への取組	11.1	60.0	22.2	2.2	4.4	71.1	24.4
17. 子育て支援	13.3	41.1	30.0	12.2	3.3	54.4	42.2
18. 障害者の福祉サービス	8.9	56.7	24.4	6.7	3.3	65.6	31.1
19. 公共建物のバリアフリー化	12.2	60.0	24.4	2.2	1.1	72.2	26.7
20. 高齢者の介護サービス	14.4	45.6	31.1	6.7	2.2	60.0	37.8
21. 生きがいづくりの場の確保	10.0	53.3	28.9	3.3	4.4	63.3	32.2
22. 地域の医療体制	10.0	30.0	37.8	22.2	0.0	40.0	60.0
23. 農業の振興	7.8	45.6	32.2	7.8	6.7	53.3	40.0
24. 林業の振興	8.9	52.2	25.6	6.7	6.7	61.1	32.2
25. 水産業(養鯉業等)の振興	10.0	55.6	21.1	6.7	6.7	65.6	27.8
26. 商店街の活性化	2.2	20.0	52.2	22.2	3.3	22.2	74.4
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	4.4	40.0	41.1	10.0	4.4	44.4	51.1
28. 観光誘客	3.3	28.9	47.8	15.6	4.4	32.2	63.3
29. 企業誘致、雇用の場の確保	4.4	31.1	41.1	18.9	4.4	35.6	60.0
30. 起業や事業継承への支援	4.4	32.2	45.6	13.3	4.4	36.7	58.9
31. 地域産業の人材確保対策	3.3	32.2	42.2	17.8	4.4	35.6	60.0
32. 生涯学習の場・講座数の確保	10.0	53.3	31.1	1.1	4.4	63.3	32.2
33. 学校教育の充実	10.0	47.8	31.1	6.7	4.4	57.8	37.8
34. 学校施設や設備	10.0	53.3	28.9	3.3	4.4	63.3	32.2
35. 芸術・文化活動の充実	7.8	56.7	28.9	1.1	5.6	64.4	30.0
36. 文化財の保護・活用	11.1	56.7	22.2	4.4	5.6	67.8	26.7
37. スポーツ・レクリエーション活動	5.6	53.3	27.8	7.8	5.6	58.9	35.6
38. 市政への市民参加	6.7	47.8	35.6	5.6	4.4	54.4	41.1
39. 市民と行政の協働体制の充実	4.4	45.6	36.7	8.9	4.4	50.0	45.6
40. 男女共同参画の意識啓発	7.8	50.0	34.4	2.2	5.6	57.8	36.7
41. 移住・定住の促進	5.6	36.7	47.8	6.7	3.3	42.2	54.4
42. 情報公開の促進や広報活動	8.9	55.6	28.9	3.3	3.3	64.4	32.2
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	5.6	57.8	24.4	7.8	4.4	63.3	32.2
44. 行財政運営の健全化	8.9	45.6	31.1	10.0	4.4	54.4	41.1
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	10.0	50.0	27.8	7.8	4.4	60.0	35.6

※ 満足度上位3位を■（青）、不満度上位3位を■（赤）で示しています。

④ 50～59 歳

最も満足度が高い項目は、「13. ごみの収集・処理」(91.0%)で、次いで「19. 公共建物のバリアフリー化」(86.5%)、「15. 公害の防止」、「16. 健康寿命延伸への取組」、「34. 学校施設や設備」の3項目(共に82.0%)となっています。

一方、不満度が最も高い項目は、「6. 空き家の有効活用」(67.4%)で、次いで「26. 商店街の活性化」(64.0%)、「4. 公共交通による地域交通網の維持」(61.8%)となっています。

50～59歳(n=89) 単位: %	満足 している	やや 満足 している	やや 不満 である	不満 である	無 回 答	満足 ＋ やや 満足	不満 ＋ やや 不満
1. 道路網の整備	21.3	59.6	16.9	0.0	2.2	80.9	16.9
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	15.7	52.8	23.6	6.7	1.1	68.5	30.3
3. 道路のバリアフリー化	10.1	56.2	28.1	3.4	2.2	66.3	31.5
4. 公共交通による地域交通網の維持	4.5	32.6	47.2	14.6	1.1	37.1	61.8
5. 情報通信基盤整備	7.9	57.3	29.2	3.4	2.2	65.2	32.6
6. 空き家の有効活用	0.0	28.1	46.1	21.3	4.5	28.1	67.4
7. 防災対策	13.5	65.2	15.7	3.4	2.2	78.7	19.1
8. 防犯対策	16.9	60.7	16.9	2.2	3.4	77.5	19.1
9. 自然環境の保全	14.6	62.9	19.1	2.2	1.1	77.5	21.3
10. 森林や里山の保全	14.6	60.7	16.9	5.6	2.2	75.3	22.5
11. 自然を活かした地域の活性化	6.7	67.4	18.0	6.7	1.1	74.2	24.7
12. 環境教育・環境学習	11.2	67.4	15.7	4.5	1.1	78.7	20.2
13. ごみの収集・処理	39.3	51.7	5.6	2.2	1.1	91.0	7.9
14. 地球温暖化対策	7.9	55.1	30.3	5.6	1.1	62.9	36.0
15. 公害の防止	13.5	68.5	11.2	5.6	1.1	82.0	16.9
16. 健康寿命延伸への取組	11.2	70.8	12.4	2.2	3.4	82.0	14.6
17. 子育て支援	9.0	67.4	16.9	3.4	3.4	76.4	20.2
18. 障害者の福祉サービス	7.9	73.0	11.2	3.4	4.5	80.9	14.6
19. 公共建物のバリアフリー化	14.6	71.9	7.9	2.2	3.4	86.5	10.1
20. 高齢者の介護サービス	13.5	59.6	19.1	5.6	2.2	73.0	24.7
21. 生きがいづくりの場の確保	5.6	68.5	18.0	4.5	3.4	74.2	22.5
22. 地域の医療体制	7.9	57.3	22.5	9.0	3.4	65.2	31.5
23. 農業の振興	9.0	62.9	21.3	2.2	4.5	71.9	23.6
24. 林業の振興	6.7	66.3	19.1	3.4	4.5	73.0	22.5
25. 水産業(養鯉業等)の振興	6.7	74.2	13.5	1.1	4.5	80.9	14.6
26. 商店街の活性化	1.1	32.6	44.9	19.1	2.2	33.7	64.0
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	1.1	51.7	34.8	9.0	3.4	52.8	43.8
28. 観光誘客	2.2	37.1	40.4	16.9	3.4	39.3	57.3
29. 企業誘致・雇用の場の確保	0.0	40.4	39.3	16.9	3.4	40.4	56.2
30. 起業や事業継承への支援	2.2	51.7	36.0	6.7	3.4	53.9	42.7
31. 地域産業の人材確保対策	1.1	46.1	36.0	13.5	3.4	47.2	49.4
32. 生涯学習の場・講座数の確保	6.7	65.2	21.3	3.4	3.4	71.9	24.7
33. 学校教育の充実	9.0	68.5	14.6	3.4	4.5	77.5	18.0
34. 学校施設や設備	9.0	73.0	12.4	2.2	3.4	82.0	14.6
35. 芸術・文化活動の充実	7.9	69.7	15.7	3.4	3.4	77.5	19.1
36. 文化財の保護・活用	6.7	70.8	15.7	3.4	3.4	77.5	19.1
37. スポーツ・レクリエーション活動	6.7	70.8	12.4	5.6	4.5	77.5	18.0
38. 市政への市民参加	2.2	71.9	18.0	3.4	4.5	74.2	21.3
39. 市民と行政の協働体制の充実	4.5	65.2	22.5	2.2	5.6	69.7	24.7
40. 男女共同参画の意識啓発	4.5	66.3	18.0	6.7	4.5	70.8	24.7
41. 移住・定住の促進	3.4	49.4	30.3	12.4	4.5	52.8	42.7
42. 情報公開の促進や広報活動	7.9	59.6	25.8	3.4	3.4	67.4	29.2
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	7.9	55.1	29.2	3.4	4.5	62.9	32.6
44. 行財政運営の健全化	6.7	59.6	25.8	3.4	4.5	66.3	29.2
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	5.6	64.0	22.5	3.4	4.5	69.7	25.8

※ 満足度上位3位を■(青)、不満度上位3位を■(赤)で示しています。

⑤ 60～69 歳

最も満足度が高い項目は、「13. ごみの収集・処理」（70.7%）で、次いで「1. 道路網の整備」（68.3%）、「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」（61.8%）となっています。

一方、不満度が最も高い項目は、「26. 商店街の活性化」（62.6%）で、次いで「6. 空き家の有効活用」（60.2%）、「28. 観光誘客」（54.5%）となっています。

60～69歳(n=123) 単位:%	満足 している	やや 満足 している	やや 不満 である	不満 である	無 回答	満足 やや 満足	不満 やや 不満
1. 道路網の整備	15.4	52.8	15.4	4.9	11.4	68.3	20.3
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	10.6	51.2	24.4	6.5	7.3	61.8	30.9
3. 道路のバリアフリー化	4.1	48.8	30.9	4.1	12.2	52.8	35.0
4. 公共交通による地域交通網の維持	1.6	34.1	36.6	16.3	11.4	35.8	52.8
5. 情報通信基盤整備	4.9	48.0	24.4	4.9	17.9	52.8	29.3
6. 空き家の有効活用	0.8	23.6	41.5	18.7	15.4	24.4	60.2
7. 防災対策	11.4	48.8	22.8	4.1	13.0	60.2	26.8
8. 防犯対策	8.9	52.0	21.1	4.1	13.8	61.0	25.2
9. 自然環境の保全	6.5	53.7	22.0	4.1	13.8	60.2	26.0
10. 森林や里山の保全	6.5	47.2	27.6	4.9	13.8	53.7	32.5
11. 自然を活かした地域の活性化	5.7	39.8	34.1	5.7	14.6	45.5	39.8
12. 環境教育・環境学習	6.5	43.1	30.1	4.9	15.4	49.6	35.0
13. ごみの収集・処理	27.6	43.1	15.4	3.3	10.6	70.7	18.7
14. 地球温暖化対策	5.7	37.4	35.8	5.7	15.4	43.1	41.5
15. 公害の防止	9.8	50.4	20.3	4.1	15.4	60.2	24.4
16. 健康寿命延伸への取組	8.1	51.2	22.0	2.4	16.3	59.3	24.4
17. 子育て支援	4.9	50.4	27.6	3.3	13.8	55.3	30.9
18. 障害者の福祉サービス	5.7	48.8	28.5	3.3	13.8	54.5	31.7
19. 公共建物のバリアフリー化	4.9	48.8	29.3	2.4	14.6	53.7	31.7
20. 高齢者の介護サービス	8.9	41.5	28.5	6.5	14.6	50.4	35.0
21. 生きがいがづくりの場の確保	5.7	43.9	30.9	4.9	14.6	49.6	35.8
22. 地域の医療体制	3.3	38.2	34.1	11.4	13.0	41.5	45.5
23. 農業の振興	4.9	46.3	26.8	4.1	17.9	51.2	30.9
24. 林業の振興	3.3	45.5	27.6	4.1	19.5	48.8	31.7
25. 水産業(養殖業等)の振興	5.7	47.2	22.8	3.3	21.1	52.8	26.0
26. 商店街の活性化	1.6	17.1	45.5	17.1	18.7	18.7	62.6
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	2.4	32.5	35.8	7.3	22.0	35.0	43.1
28. 観光誘客	2.4	22.8	43.1	11.4	20.3	25.2	54.5
29. 企業誘致・雇用の場の確保	2.4	28.5	36.6	13.0	19.5	30.9	49.6
30. 起業や事業継承への支援	2.4	31.7	35.0	10.6	20.3	34.1	45.5
31. 地域産業の人材確保対策	1.6	28.5	35.0	15.4	19.5	30.1	50.4
32. 生涯学習の場・講座数の確保	5.7	39.8	30.1	4.1	20.3	45.5	34.1
33. 学校教育の充実	4.9	45.5	26.0	3.3	20.3	50.4	29.3
34. 学校施設や設備	4.1	50.4	22.8	1.6	21.1	54.5	24.4
35. 芸術・文化活動の充実	3.3	52.0	22.8	1.6	20.3	55.3	24.4
36. 文化財の保護・活用	4.9	50.4	22.0	2.4	20.3	55.3	24.4
37. スポーツ・レクリエーション活動	2.4	48.8	24.4	4.9	19.5	51.2	29.3
38. 市政への市民参加	1.6	40.7	31.7	6.5	19.5	42.3	38.2
39. 市民と行政の協働体制の充実	1.6	35.8	32.5	8.1	22.0	37.4	40.7
40. 男女共同参画の意識啓発	1.6	40.7	29.3	7.3	21.1	42.3	36.6
41. 移住・定住の促進	0.8	33.3	36.6	7.3	22.0	34.1	43.9
42. 情報公開の促進や広報活動	3.3	46.3	26.8	3.3	20.3	49.6	30.1
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	3.3	38.2	30.1	7.3	21.1	41.5	37.4
44. 行財政運営の健全化	2.4	41.5	27.6	7.3	21.1	43.9	35.0
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	2.4	41.5	29.3	5.7	21.1	43.9	35.0

※ 満足度上位3位を■（青）、不満度上位3位を■（赤）で示しています。

⑥ 70 歳以上

最も満足度が高い項目は、「13. ごみの収集・処理」（79.8%）で、次いで「16. 健康寿命延伸への取組」（63.3%）、「1. 道路網の整備」（58.7%）となっています。

一方、不満度が最も高い項目は、「6. 空き家の有効活用」（65.1%）で、次いで「4. 公共交通による地域交通網の維持」と「26. 商店街の活性化」（共に 57.8%）となっています。

70歳以上(n=109) 単位: %	満足 している	やや 満足 している	やや 不満 である	不満 である	無 回答	満足 ＋ やや 満足	不満 ＋ やや 不満
1. 道路網の整備	16.5	42.2	19.3	2.8	19.3	58.7	22.0
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	12.8	39.4	27.5	5.5	14.7	52.3	33.0
3. 道路のバリアフリー化	7.3	36.7	32.1	4.6	19.3	44.0	36.7
4. 公共交通による地域交通網の維持	6.4	17.4	47.7	10.1	18.3	23.9	57.8
5. 情報通信基盤整備	5.5	37.6	23.9	6.4	26.6	43.1	30.3
6. 空き家の有効活用	1.8	12.8	43.1	22.0	20.2	14.7	65.1
7. 防災対策	10.1	46.8	22.9	2.8	17.4	56.9	25.7
8. 防犯対策	6.4	49.5	25.7	0.0	18.3	56.0	25.7
9. 自然環境の保全	3.7	33.9	33.9	7.3	21.1	37.6	41.3
10. 森林や里山の保全	1.8	32.1	40.4	9.2	16.5	33.9	49.5
11. 自然を活かした地域の活性化	1.8	33.9	33.9	9.2	21.1	35.8	43.1
12. 環境教育・環境学習	3.7	41.3	27.5	5.5	22.0	45.0	33.0
13. ごみの収集・処理	33.9	45.9	5.5	0.0	14.7	79.8	5.5
14. 地球温暖化対策	2.8	33.9	34.9	6.4	22.0	36.7	41.3
15. 公害の防止	3.7	46.8	24.8	3.7	21.1	50.5	28.4
16. 健康寿命延伸への取組	4.6	58.7	13.8	1.8	21.1	63.3	15.6
17. 子育て支援	7.3	48.6	20.2	0.0	23.9	56.0	20.2
18. 障害者の福祉サービス	7.3	43.1	23.9	0.9	24.8	50.5	24.8
19. 公共建物のバリアフリー化	5.5	41.3	23.9	5.5	23.9	46.8	29.4
20. 高齢者の介護サービス	10.1	38.5	25.7	2.8	22.9	48.6	28.4
21. 生きがいづくりの場の確保	6.4	38.5	31.2	3.7	20.2	45.0	34.9
22. 地域の医療体制	7.3	36.7	29.4	10.1	16.5	44.0	39.4
23. 農業の振興	1.8	39.4	30.3	4.6	23.9	41.3	34.9
24. 林業の振興	2.8	36.7	30.3	3.7	26.6	39.4	33.9
25. 水産業(養鯉業等)の振興	3.7	44.0	18.3	0.0	33.9	47.7	18.3
26. 商店街の活性化	0.9	21.1	43.1	14.7	20.2	22.0	57.8
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	0.9	33.0	32.1	4.6	29.4	33.9	36.7
28. 観光誘客	0.9	27.5	36.7	8.3	26.6	28.4	45.0
29. 企業誘致・雇用の場の確保	1.8	19.3	39.4	12.8	26.6	21.1	52.3
30. 起業や事業継承への支援	1.8	23.9	40.4	5.5	28.4	25.7	45.9
31. 地域産業の人材確保対策	1.8	22.0	40.4	4.6	31.2	23.9	45.0
32. 生涯学習の場・講座数の確保	1.8	42.2	23.9	1.8	30.3	44.0	25.7
33. 学校教育の充実	5.5	40.4	22.0	1.8	30.3	45.9	23.9
34. 学校施設や設備	6.4	45.0	16.5	1.8	30.3	51.4	18.3
35. 芸術・文化活動の充実	1.8	54.1	14.7	0.9	28.4	56.0	15.6
36. 文化財の保護・活用	2.8	48.6	15.6	1.8	31.2	51.4	17.4
37. スポーツ・レクリエーション活動	3.7	50.5	17.4	0.0	28.4	54.1	17.4
38. 市政への市民参加	0.9	42.2	27.5	1.8	27.5	43.1	29.4
39. 市民と行政の協働体制の充実	0.9	40.4	24.8	3.7	30.3	41.3	28.4
40. 男女共同参画の意識啓発	0.9	45.9	21.1	1.8	30.3	46.8	22.9
41. 移住・定住の促進	0.9	26.6	42.2	1.8	28.4	27.5	44.0
42. 情報公開の促進や広報活動	1.8	48.6	19.3	2.8	27.5	50.5	22.0
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	1.8	45.0	21.1	3.7	28.4	46.8	24.8
44. 行財政運営の健全化	1.8	37.6	26.6	3.7	30.3	39.4	30.3
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	3.7	34.9	29.4	2.8	29.4	38.5	32.1

※ 満足度上位3位を■（青）、不満度上位3位を■（赤）で示しています。

【年齢別の満足度の上位3位】

(単位：％)

順位 区分	第1位	第2位	第3位
市全体 (N=536)	・ごみの収集・処理 (80.6)	・道路網の整備 (70.9)	・健康寿命延伸への取組 (70.5)
18～29歳 (n=57)	・ごみの収集・処理 (89.5)	・防災対策 ・森林や里山の保全 (82.5)	
30～39歳 (n=66)	・健康寿命延伸への取組 (89.4)	・防災対策 ・ごみの収集・処理 (86.4)	
40～49歳 (n=90)	・森林や里山の保全 (76.7)	・ごみの収集・処理 (75.6)	・自然環境の保全 (73.3)
50～59歳 (n=89)	・ごみの収集・処理 (91.0)	・公共建物のバリアフリー化 (86.5)	・公害の防止 ・健康寿命延伸への取組 ・学校施設や設備 (82.0)
60～69歳 (n=123)	・ごみの収集・処理 (70.7)	・道路網の整備 (68.3)	・道路除雪や消雪パイプの維持 (61.8)
70歳以上 (n=109)	・ごみの収集・処理 (79.8)	・健康寿命延伸への取組 (63.3)	・道路網の整備 (58.7)

※第1位～第3位の（ ）内の数字は、「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合を示します。

【年齢別の不満度の上位3位】

(単位：％)

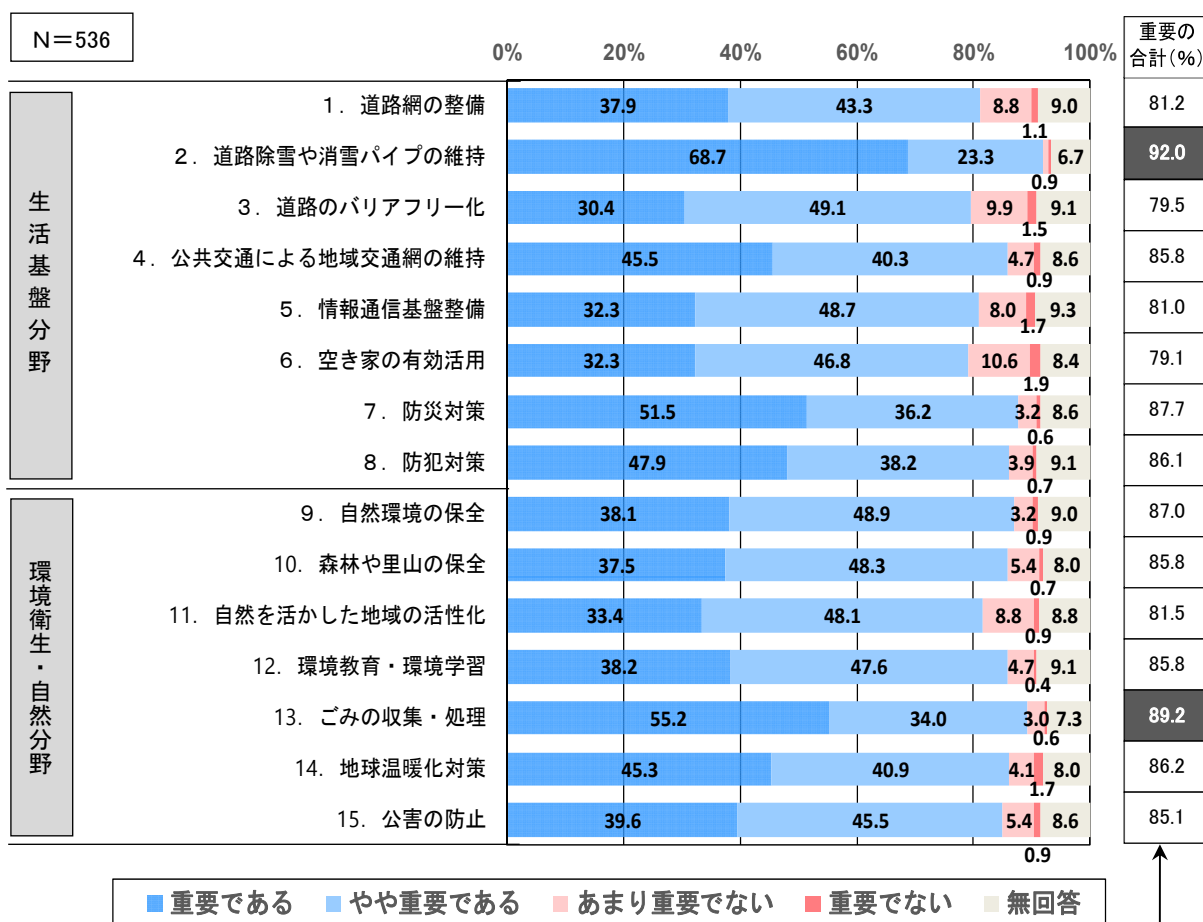
順位 区分	第1位	第2位	第3位
市全体 (N=536)	・空き家の有効活用 (64.0)	・商店街の活性化 (63.6)	・公共交通による地域交通網の維持 (56.2)
18～29歳 (n=57)	・商店街の活性化 (71.9)	・公共交通による地域交通網の維持 ・空き家の有効活用 ・観光誘客 (61.4)	
30～39歳 (n=66)	・空き家の有効活用 ・商店街の活性化 (54.5)	・地域の医療体制 (53.0)	
40～49歳 (n=90)	・空き家の有効活用 ・商店街の活性化 (74.7)	・観光誘客 (63.3)	
50～59歳 (n=89)	・空き家の有効活用 (67.4)	・商店街の活性化 (64.0)	・公共交通による地域交通網の維持 (61.8)
60～69歳 (n=123)	・商店街の活性化 (62.6)	・空き家の有効活用 (60.2)	・観光誘客 (54.5)
70歳以上 (n=109)	・空き家の有効活用 (65.1)	・公共交通による地域交通網の維持 ・商店街の活性化 (57.8)	

※第1位～第3位の（ ）内の数字は、「不満である」と「やや不満である」を合わせた割合を示します。

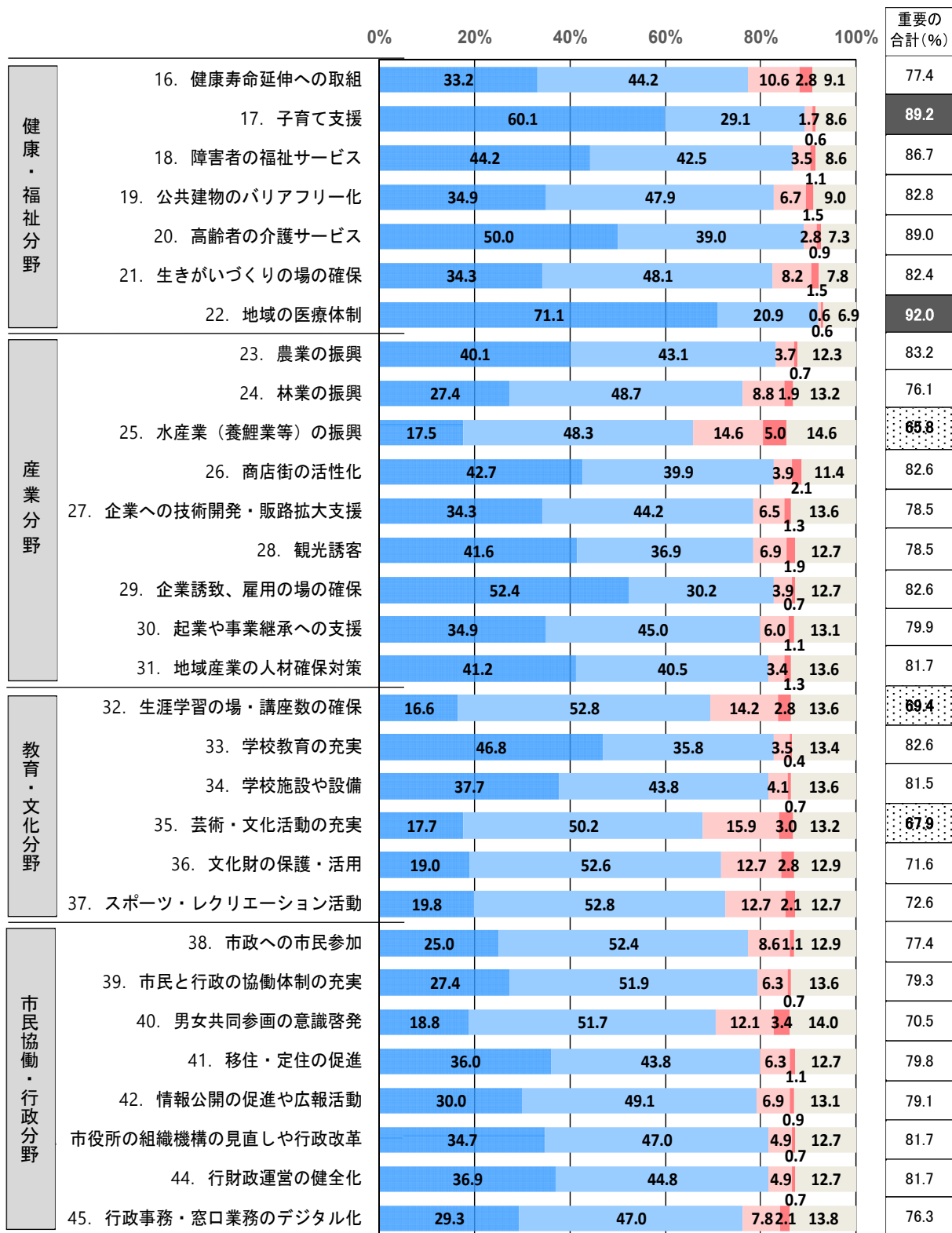
(2) 今後の市政における重要度

今後の市政における「重要度」として 45 項目について尋ねたところ、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』は、「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」と「22. 地域の医療体制」が共に 92.0%で最も高く、次いで、「13. ごみの収集・処理」と「17. 子育て支援」（共に 89.2%）となっています。

一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』は、「25. 水産業（養鯉業等）の振興」が 19.6%と最も高く、次いで、「35. 芸術・文化活動の充実」（18.8%）、「32. 生涯学習の場・講座数の確保」（17.0%）となっています。



※「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』割合が高い項目を■、低い項目を□で示しています。



■ 重要である ■ やや重要である ■ あまり重要でない ■ 重要でない ■ 無回答

※「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』割合が高い項目を■、低い項目を□で示しています。

●今後の市政における重要度 × 年齢別

年齢別の今後の市政における重要度の評価は、次のとおりです。

① 18～29 歳

最も重要度が高い項目は、「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」、「7. 防災対策」、「9. 自然環境の保全」、「33. 学校教育の充実」の4項目（共に94.7%）となっています。

一方、重要でないとの回答が最も高い項目は、「35. 芸術・文化活動の充実」（24.6%）で、次いで「16. 健康寿命延伸への取組」（22.8%）、「37. スポーツ・レクリエーション活動」（21.1%）となっています。

18～29歳(n=57) 単位：%	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要＋やや重要	あまり重要でない＋
1. 道路網の整備	59.6	28.1	8.8	0.0	3.5	87.7	8.8
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	84.2	10.5	1.8	1.8	1.8	94.7	3.5
3. 道路のバリアフリー化	43.9	47.4	5.3	1.8	1.8	91.2	7.0
4. 公共交通による地域交通網の維持	57.9	28.1	10.5	0.0	3.5	86.0	10.5
5. 情報通信基盤整備	50.9	36.8	8.8	0.0	3.5	87.7	8.8
6. 空き家の有効活用	29.8	49.1	17.5	0.0	3.5	78.9	17.5
7. 防災対策	66.7	28.1	1.8	1.8	1.8	94.7	3.5
8. 防犯対策	56.1	29.8	8.8	1.8	3.5	86.0	10.5
9. 自然環境の保全	57.9	36.8	1.8	0.0	3.5	94.7	1.8
10. 森林や里山の保全	47.4	42.1	7.0	0.0	3.5	89.5	7.0
11. 自然を活かした地域の活性化	33.3	49.1	14.0	0.0	3.5	82.5	14.0
12. 環境教育・環境学習	49.1	42.1	5.3	0.0	3.5	91.2	5.3
13. ごみの収集・処理	59.6	31.6	3.5	1.8	3.5	91.2	5.3
14. 地球温暖化対策	56.1	33.3	7.0	0.0	3.5	89.5	7.0
15. 公害の防止	52.6	35.1	7.0	1.8	3.5	87.7	8.8
16. 健康寿命延伸への取組	36.8	36.8	17.5	5.3	3.5	73.7	22.8
17. 子育て支援	78.9	14.0	1.8	0.0	5.3	93.0	1.8
18. 障害者の福祉サービス	56.1	31.6	7.0	1.8	3.5	87.7	8.8
19. 公共建物のバリアフリー化	47.4	40.4	7.0	1.8	3.5	87.7	8.8
20. 高齢者の介護サービス	50.9	38.6	3.5	3.5	3.5	89.5	7.0
21. 生きがいづくりの場の確保	36.8	45.6	10.5	3.5	3.5	82.5	14.0
22. 地域の医療体制	77.2	15.8	0.0	1.8	5.3	93.0	1.8
23. 農業の振興	50.9	36.8	7.0	1.8	3.5	87.7	8.8
24. 林業の振興	38.6	42.1	14.0	1.8	3.5	80.7	15.8
25. 水産業(養殖業等)の振興	26.3	54.4	12.3	3.5	3.5	80.7	15.8
26. 商店街の活性化	45.6	38.6	8.8	3.5	3.5	84.2	12.3
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	33.3	52.6	8.8	1.8	3.5	86.0	10.5
28. 観光誘客	45.6	38.6	10.5	1.8	3.5	84.2	12.3
29. 企業誘致、雇用の場の確保	54.4	35.1	5.3	1.8	3.5	89.5	7.0
30. 起業や事業継承への支援	40.4	49.1	5.3	1.8	3.5	89.5	7.0
31. 地域産業の人材確保対策	45.6	43.9	3.5	3.5	3.5	89.5	7.0
32. 生涯学習の場・講座数の確保	26.3	52.6	17.5	0.0	3.5	78.9	17.5
33. 学校教育の充実	54.4	40.4	0.0	0.0	5.3	94.7	0.0
34. 学校施設や設備	49.1	42.1	1.8	0.0	7.0	91.2	1.8
35. 芸術・文化活動の充実	28.1	43.9	22.8	1.8	3.5	71.9	24.6
36. 文化財の保護・活用	28.1	52.6	12.3	1.8	5.3	80.7	14.0
37. スポーツ・レクリエーション活動	24.6	50.9	21.1	0.0	3.5	75.4	21.1
38. 市政への市民参加	36.8	45.6	14.0	0.0	3.5	82.5	14.0
39. 市民と行政の協働体制の充実	29.8	57.9	7.0	0.0	5.3	87.7	7.0
40. 男女共同参画の意識啓発	31.6	45.6	15.8	0.0	7.0	77.2	15.8
41. 移住・定住の促進	43.9	40.4	10.5	1.8	3.5	84.2	12.3
42. 情報公開の促進や広報活動	33.3	50.9	8.8	0.0	7.0	84.2	8.8
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	36.8	49.1	7.0	1.8	5.3	86.0	8.8
44. 行財政運営の健全化	38.6	40.4	14.0	1.8	5.3	78.9	15.8
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	45.6	36.8	5.3	5.3	7.0	82.5	10.5

※ 重要度上位3位の項目を■（青）、重要でない上位3位の項目を■（赤）で示しています。

② 30～39 歳

最も重要度が高い項目は、「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」(97.0%)で、次いで「4. 公共交通による地域交通網の維持」(95.5%)、「9. 自然環境の保全」、「11. 自然を活かした地域の活性化」、「13. ごみの収集・処理」、「17. 子育て支援」、「20. 高齢者の介護サービス」、「22. 地域の医療体制」の6項目(共に93.9%)となっています。

一方、重要でないとの回答が最も高い項目は、「35. 芸術・文化活動の充実」(25.8%)で、次いで「40. 男女共同参画の意識啓発」(22.7%)、「36. 文化財の保護・活用」(21.2%)となっています。

30～39歳(n=66) 単位: %	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要+やや重要	あまり重要でない+
1. 道路網の整備	40.9	45.5	10.6	0.0	3.0	86.4	10.6
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	74.2	22.7	1.5	0.0	1.5	97.0	1.5
3. 道路のバリアフリー化	30.3	54.5	10.6	3.0	1.5	84.8	13.6
4. 公共交通による地域交通網の維持	36.4	59.1	1.5	1.5	1.5	95.5	3.0
5. 情報通信基盤整備	39.4	47.0	6.1	3.0	4.5	86.4	9.1
6. 空き家の有効活用	31.8	53.0	13.6	0.0	1.5	84.8	13.6
7. 防災対策	40.9	50.0	4.5	1.5	3.0	90.9	6.1
8. 防犯対策	42.4	50.0	4.5	1.5	1.5	92.4	6.1
9. 自然環境の保全	36.4	57.6	1.5	3.0	1.5	93.9	4.5
10. 森林や里山の保全	36.4	54.5	6.1	1.5	1.5	90.9	7.6
11. 自然を活かした地域の活性化	37.9	56.1	3.0	1.5	1.5	93.9	4.5
12. 環境教育・環境学習	42.4	48.5	6.1	1.5	1.5	90.9	7.6
13. ごみの収集・処理	53.0	40.9	3.0	0.0	3.0	93.9	3.0
14. 地球温暖化対策	36.4	53.0	6.1	3.0	1.5	89.4	9.1
15. 公害の防止	33.3	59.1	4.5	1.5	1.5	92.4	6.1
16. 健康寿命延伸への取組	31.8	47.0	12.1	7.6	1.5	78.8	19.7
17. 子育て支援	68.2	25.8	1.5	1.5	3.0	93.9	3.0
18. 障害者の福祉サービス	39.4	53.0	1.5	3.0	3.0	92.4	4.5
19. 公共建物のバリアフリー化	27.3	59.1	9.1	1.5	3.0	86.4	10.6
20. 高齢者の介護サービス	54.5	39.4	3.0	1.5	1.5	93.9	4.5
21. 生きがいづくりの場の確保	34.8	50.0	9.1	4.5	1.5	84.8	13.6
22. 地域の医療体制	66.7	27.3	1.5	1.5	3.0	93.9	3.0
23. 農業の振興	39.4	53.0	3.0	1.5	3.0	92.4	4.5
24. 林業の振興	31.8	54.5	6.1	3.0	4.5	86.4	9.1
25. 水産業(養殖業等)の振興	21.2	56.1	12.1	6.1	4.5	77.3	18.2
26. 商店街の活性化	31.8	60.6	0.0	4.5	3.0	92.4	4.5
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	28.8	57.6	4.5	4.5	4.5	86.4	9.1
28. 観光誘客	45.5	45.5	4.5	1.5	3.0	90.9	6.1
29. 企業誘致・雇用の場の確保	53.0	39.4	4.5	0.0	3.0	92.4	4.5
30. 起業や事業継承への支援	34.8	53.0	7.6	1.5	3.0	87.9	9.1
31. 地域産業の人材確保対策	37.9	53.0	4.5	1.5	3.0	90.9	6.1
32. 生涯学習の場・講座数の確保	15.2	66.7	10.6	4.5	3.0	81.8	15.2
33. 学校教育の充実	48.5	43.9	3.0	0.0	4.5	92.4	3.0
34. 学校施設や設備	48.5	42.4	4.5	0.0	4.5	90.9	4.5
35. 芸術・文化活動の充実	18.2	51.5	22.7	3.0	4.5	69.7	25.8
36. 文化財の保護・活用	16.7	57.6	18.2	3.0	4.5	74.2	21.2
37. スポーツ・レクリエーション活動	15.2	62.1	15.2	3.0	4.5	77.3	18.2
38. 市政への市民参加	24.2	62.1	7.6	1.5	4.5	86.4	9.1
39. 市民と行政の協働体制の充実	22.7	60.6	9.1	3.0	4.5	83.3	12.1
40. 男女共同参画の意識啓発	22.7	51.5	12.1	10.6	3.0	74.2	22.7
41. 移住・定住の促進	36.4	48.5	9.1	1.5	4.5	84.8	10.6
42. 情報公開の促進や広報活動	34.8	54.5	6.1	1.5	3.0	89.4	7.6
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	25.8	63.6	6.1	1.5	3.0	89.4	7.6
44. 行財政運営の健全化	33.3	59.1	4.5	0.0	3.0	92.4	4.5
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	31.8	53.0	10.6	1.5	3.0	84.8	12.1

※ 重要度上位3位の項目を■(青)、重要でない上位3位の項目を■(赤)で示しています。

③ 40～49 歳

最も重要度が高い項目は、「22. 地域の医療体制」(97.8%)で、次いで「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」、「7. 防災対策」、「17. 子育て支援」の3項目(共に96.7%)となっています。

一方、重要でないとの回答が最も高い項目は、「25. 水産業(養鯉業等)の振興」(25.6%)で、次いで「32. 生涯学習の場・講座数の確保」と「35. 芸術・文化活動の充実」(共に23.3%)となっています。

40～49歳(n=90) 単位: %	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要+やや重要	あまり重要でない+重要でない
1. 道路網の整備	34.4	50.0	12.2	2.2	1.1	84.4	14.4
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	73.3	23.3	1.1	1.1	1.1	96.7	2.2
3. 道路のバリアフリー化	31.1	50.0	13.3	3.3	2.2	81.1	16.7
4. 公共交通による地域交通網の維持	45.6	44.4	5.6	2.2	2.2	90.0	7.8
5. 情報通信基盤整備	43.3	47.8	5.6	2.2	1.1	91.1	7.8
6. 空き家の有効活用	37.8	47.8	10.0	2.2	2.2	85.6	12.2
7. 防災対策	54.4	42.2	1.1	0.0	2.2	96.7	1.1
8. 防犯対策	52.2	38.9	3.3	0.0	5.6	91.1	3.3
9. 自然環境の保全	36.7	53.3	4.4	1.1	4.4	90.0	5.6
10. 森林や里山の保全	37.8	52.2	5.6	1.1	3.3	90.0	6.7
11. 自然を活かした地域の活性化	38.9	46.7	10.0	2.2	2.2	85.6	12.2
12. 環境教育・環境学習	48.9	45.6	3.3	0.0	2.2	94.4	3.3
13. ごみの収集・処理	51.1	42.2	4.4	0.0	2.2	93.3	4.4
14. 地球温暖化対策	46.7	43.3	4.4	3.3	2.2	90.0	7.8
15. 公害の防止	43.3	51.1	3.3	0.0	2.2	94.4	3.3
16. 健康寿命延伸への取組	32.2	48.9	11.1	4.4	3.3	81.1	15.6
17. 子育て支援	72.2	24.4	1.1	0.0	2.2	96.7	1.1
18. 障害者の福祉サービス	48.9	45.6	3.3	0.0	2.2	94.4	3.3
19. 公共建物のバリアフリー化	38.9	48.9	10.0	1.1	1.1	87.8	11.1
20. 高齢者の介護サービス	47.8	46.7	4.4	0.0	1.1	94.4	4.4
21. 生きがいづくりの場の確保	35.6	55.6	4.4	1.1	3.3	91.1	5.6
22. 地域の医療体制	77.8	20.0	1.1	0.0	1.1	97.8	1.1
23. 農業の振興	44.4	44.4	4.4	1.1	5.6	88.9	5.6
24. 林業の振興	30.0	48.9	12.2	2.2	6.7	78.9	14.4
25. 水産業(養鯉業等)の振興	23.3	45.6	21.1	4.4	5.6	68.9	25.6
26. 商店街の活性化	50.0	38.9	3.3	3.3	4.4	88.9	6.7
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	47.8	38.9	7.8	1.1	4.4	86.7	8.9
28. 観光誘客	51.1	31.1	10.0	2.2	5.6	82.2	12.2
29. 企業誘致・雇用の場の確保	58.9	28.9	5.6	1.1	5.6	87.8	6.7
30. 起業や事業継承への支援	41.1	46.7	4.4	2.2	5.6	87.8	6.7
31. 地域産業の人材確保対策	51.1	37.8	3.3	2.2	5.6	88.9	5.6
32. 生涯学習の場・講座数の確保	25.6	45.6	17.8	5.6	5.6	71.1	23.3
33. 学校教育の充実	61.1	30.0	2.2	0.0	6.7	91.1	2.2
34. 学校施設や設備	44.4	43.3	5.6	0.0	6.7	87.8	5.6
35. 芸術・文化活動の充実	25.6	44.4	17.8	5.6	6.7	70.0	23.3
36. 文化財の保護・活用	24.4	47.8	17.8	4.4	5.6	72.2	22.2
37. スポーツ・レクリエーション活動	28.9	52.2	12.2	1.1	5.6	81.1	13.3
38. 市政への市民参加	31.1	54.4	8.9	1.1	4.4	85.6	10.0
39. 市民と行政の協働体制の充実	34.4	54.4	5.6	1.1	4.4	88.9	6.7
40. 男女共同参画の意識啓発	22.2	53.3	14.4	4.4	5.6	75.6	18.9
41. 移住・定住の促進	47.8	43.3	4.4	1.1	3.3	91.1	5.6
42. 情報公開の促進や広報活動	35.6	50.0	8.9	1.1	4.4	85.6	10.0
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	46.7	42.2	6.7	0.0	4.4	88.9	6.7
44. 行財政運営の健全化	41.1	45.6	8.9	1.1	3.3	86.7	10.0
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	40.0	45.6	8.9	1.1	4.4	85.6	10.0

※ 重要度上位3位の項目を■(青)、重要でない上位3位の項目を■(赤)で示しています。

④ 50～59 歳

最も重要度が高い項目は、「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」と「22. 地域の医療体制」（共に 98.9%）で、次いで「7. 防災対策」と「20. 高齢者の介護サービス」（共に 95.5%）となっています。

一方、重要でないとの回答が最も高い項目は、「35. 芸術・文化活動の充実」（23.6%）で、次いで「25. 水産業（養鯉業等）の振興」（22.5%）、「32. 生涯学習の場・講座数の確保」（19.1%）となっています。

50～59歳(n=89) 単位：%	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要＋やや重要	重要でない＋あまり重要でない
1. 道路網の整備	34.8	48.3	12.4	2.2	2.2	83.1	14.6
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	70.8	28.1	0.0	0.0	1.1	98.9	0.0
3. 道路のバリアフリー化	34.8	49.4	12.4	1.1	2.2	84.3	13.5
4. 公共交通による地域交通網の維持	44.9	44.9	5.6	2.2	2.2	89.9	7.9
5. 情報通信基盤整備	33.7	55.1	6.7	3.4	1.1	88.8	10.1
6. 空き家の有効活用	34.8	50.6	7.9	4.5	2.2	85.4	12.4
7. 防災対策	58.4	37.1	2.2	1.1	1.1	95.5	3.4
8. 防犯対策	56.2	36.0	4.5	1.1	2.2	92.1	5.6
9. 自然環境の保全	42.7	51.7	4.5	1.1	0.0	94.4	5.6
10. 森林や里山の保全	42.7	47.2	6.7	1.1	2.2	89.9	7.9
11. 自然を活かした地域の活性化	36.0	49.4	11.2	2.2	1.1	85.4	13.5
12. 環境教育・環境学習	38.2	55.1	4.5	1.1	1.1	93.3	5.6
13. ごみの収集・処理	59.6	33.7	4.5	1.1	1.1	93.3	5.6
14. 地球温暖化対策	51.7	40.4	3.4	3.4	1.1	92.1	6.7
15. 公害の防止	42.7	49.4	5.6	1.1	1.1	92.1	6.7
16. 健康寿命延伸への取組	30.3	58.4	7.9	2.2	1.1	88.8	10.1
17. 子育て支援	58.4	33.7	4.5	2.2	1.1	92.1	6.7
18. 障害者の福祉サービス	47.2	46.1	3.4	2.2	1.1	93.3	5.6
19. 公共建物のバリアフリー化	40.4	51.7	4.5	2.2	1.1	92.1	6.7
20. 高齢者の介護サービス	56.2	39.3	1.1	2.2	1.1	95.5	3.4
21. 生きがいづくりの場の確保	37.1	51.7	7.9	1.1	2.2	88.8	9.0
22. 地域の医療体制	74.2	24.7	0.0	1.1	0.0	98.9	1.1
23. 農業の振興	36.0	56.2	3.4	1.1	3.4	92.1	4.5
24. 林業の振興	24.7	60.7	7.9	2.2	4.5	85.4	10.1
25. 水産業（養鯉業等）の振興	16.9	55.1	19.1	3.4	5.6	71.9	22.5
26. 商店街の活性化	44.9	46.1	5.6	2.2	1.1	91.0	7.9
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	39.3	52.8	3.4	2.2	2.2	92.1	5.6
28. 観光誘客	42.7	47.2	5.6	2.2	2.2	89.9	7.9
29. 企業誘致、雇用の場の確保	58.4	34.8	3.4	2.2	1.1	93.3	5.6
30. 起業や事業継承への支援	39.3	52.8	3.4	2.2	2.2	92.1	5.6
31. 地域産業の人材確保対策	49.4	42.7	3.4	2.2	2.2	92.1	5.6
32. 生涯学習の場・講座数の確保	13.5	64.0	16.9	2.2	3.4	77.5	19.1
33. 学校教育の充実	44.9	44.9	5.6	2.2	2.2	89.9	7.9
34. 学校施設や設備	36.0	53.9	5.6	2.2	2.2	89.9	7.9
35. 芸術・文化活動の充実	18.0	55.1	20.2	3.4	3.4	73.0	23.6
36. 文化財の保護・活用	20.2	60.7	12.4	4.5	2.2	80.9	16.9
37. スポーツ・レクリエーション活動	22.5	58.4	13.5	2.2	3.4	80.9	15.7
38. 市政への市民参加	23.6	62.9	7.9	2.2	3.4	86.5	10.1
39. 市民と行政の協働体制の充実	30.3	55.1	9.0	1.1	4.5	85.4	10.1
40. 男女共同参画の意識啓発	20.2	60.7	12.4	3.4	3.4	80.9	15.7
41. 移住・定住の促進	37.1	52.8	5.6	2.2	2.2	89.9	7.9
42. 情報公開の促進や広報活動	32.6	55.1	6.7	2.2	3.4	87.6	9.0
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	31.5	59.6	3.4	2.2	3.4	91.0	5.6
44. 行財政運営の健全化	42.7	47.2	4.5	2.2	3.4	89.9	6.7
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	33.7	52.8	6.7	2.2	4.5	86.5	9.0

※ 重要度上位3位の項目を■（青）、重要でない上位3位の項目を■（赤）で示しています。

⑤ 60～69 歳

最も重要度が高い項目は、「22. 地域の医療体制」（90.2%）で、次いで「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」（89.4%）、「13. ごみの収集・処理」、「17. 子育て支援」の2項目（共に 87.8%）となっています。

一方、重要でないとの回答が最も高い項目は、「25. 水産業（養鯉業等）の振興」（22.0%）で、次いで「32. 生涯学習の場・講座数の確保」（19.5%）、「35. 芸術・文化活動の充実」（17.1%）となっています。

60～69歳(n=123) 単位：%	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要＋やや重要	あまり重要でない＋
1. 道路網の整備	35.0	43.9	8.1	0.8	12.2	78.9	8.9
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	63.4	26.0	1.6	0.0	8.9	89.4	1.6
3. 道路のバリアフリー化	24.4	50.4	13.0	0.0	12.2	74.8	13.0
4. 公共交通による地域交通網の維持	48.8	36.6	4.9	0.0	9.8	85.4	4.9
5. 情報通信基盤整備	22.0	54.5	8.1	1.6	13.8	76.4	9.8
6. 空き家の有効活用	29.3	47.2	10.6	0.0	13.0	76.4	10.6
7. 防災対策	47.2	36.6	3.3	0.0	13.0	83.7	3.3
8. 防犯対策	43.9	42.3	0.8	0.0	13.0	86.2	0.8
9. 自然環境の保全	31.7	52.0	4.1	0.0	12.2	83.7	4.1
10. 森林や里山の保全	33.3	50.4	5.7	0.0	10.6	83.7	5.7
11. 自然を活かした地域の活性化	27.6	48.8	9.8	0.0	13.8	76.4	9.8
12. 環境教育・環境学習	30.1	50.4	5.7	0.0	13.8	80.5	5.7
13. ごみの収集・処理	49.6	38.2	2.4	0.0	9.8	87.8	2.4
14. 地球温暖化対策	44.7	38.2	4.9	0.0	12.2	82.9	4.9
15. 公害の防止	32.5	45.5	7.3	1.6	13.0	78.0	8.9
16. 健康寿命延伸への取組	34.1	40.7	11.4	0.8	13.0	74.8	12.2
17. 子育て支援	52.0	35.8	0.8	0.0	11.4	87.8	0.8
18. 障害者の福祉サービス	40.7	42.3	4.9	0.0	12.2	82.9	4.9
19. 公共建物のバリアフリー化	30.1	47.2	8.1	0.8	13.8	77.2	8.9
20. 高齢者の介護サービス	43.9	42.3	3.3	0.0	10.6	86.2	3.3
21. 生きがいづくりの場の確保	33.3	43.1	12.2	0.0	11.4	76.4	12.2
22. 地域の医療体制	69.1	21.1	0.8	0.0	8.9	90.2	0.8
23. 農業の振興	32.5	46.3	3.3	0.0	17.9	78.9	3.3
24. 林業の振興	19.5	52.8	8.9	0.8	17.9	72.4	9.8
25. 水産業（養鯉業等）の振興	13.0	43.9	15.4	6.5	21.1	56.9	22.0
26. 商店街の活性化	41.5	36.6	3.3	0.8	17.9	78.0	4.1
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	28.5	42.3	8.9	0.0	20.3	70.7	8.9
28. 観光誘客	36.6	35.8	8.1	1.6	17.9	72.4	9.8
29. 企業誘致・雇用の場の確保	44.7	32.5	4.9	0.0	17.9	77.2	4.9
30. 起業や事業継承への支援	26.0	45.5	9.8	0.0	18.7	71.5	9.8
31. 地域産業の人材確保対策	36.6	40.7	4.1	0.0	18.7	77.2	4.1
32. 生涯学習の場・講座数の確保	12.2	48.8	17.1	2.4	19.5	61.0	19.5
33. 学校教育の充実	40.7	36.6	5.7	0.0	17.1	77.2	5.7
34. 学校施設や設備	27.6	50.4	4.1	0.8	17.1	78.0	4.9
35. 芸術・文化活動の充実	11.4	54.5	13.8	3.3	17.1	65.9	17.1
36. 文化財の保護・活用	13.0	54.5	12.2	3.3	17.1	67.5	15.4
37. スポーツ・レクリエーション活動	18.7	48.8	12.2	2.4	17.9	67.5	14.6
38. 市政への市民参加	22.0	47.2	11.4	1.6	17.9	69.1	13.0
39. 市民と行政の協働体制の充実	26.8	49.6	4.9	0.0	18.7	76.4	4.9
40. 男女共同参画の意識啓発	13.0	52.0	13.8	2.4	18.7	65.0	16.3
41. 移住・定住の促進	25.2	47.2	6.5	0.8	20.3	72.4	7.3
42. 情報公開の促進や広報活動	25.2	46.3	8.9	0.8	18.7	71.5	9.8
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	33.3	45.5	3.3	0.0	17.9	78.9	3.3
44. 行財政運営の健全化	33.3	47.2	1.6	0.0	17.9	80.5	1.6
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	17.9	50.4	8.9	2.4	20.3	68.3	11.4

※ 重要度上位3位の項目を■（青）、重要でない上位3位の項目を■（赤）で示しています。

⑥ 70歳以上

最も重要度が高い項目は、「22. 地域の医療体制」（83.5%）で、次いで「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」（82.6%）、「13. ごみの収集・処理」、「20. 高齢者の介護サービス」の3項目（共に80.7%）となっています。

一方、重要でないとの回答が最も高い項目は、「25. 水産業（養鯉業等）の振興」（12.8%）で、次いで「5. 情報通信基盤整備」と「6. 空き家の有効活用」（共に11.9%）となっています。

70歳以上(n=109) 単位：%	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	無回答	重要＋やや重要	あまり重要でない＋
1. 道路網の整備	33.9	40.4	2.8	0.9	22.0	74.3	3.7
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	58.7	23.9	0.0	0.0	17.4	82.6	0.0
3. 道路のバリアフリー化	26.6	45.0	3.7	0.9	23.9	71.6	4.6
4. 公共交通による地域交通網の維持	42.2	33.0	1.8	0.0	22.9	75.2	1.8
5. 情報通信基盤整備	20.2	45.9	11.9	0.0	22.0	66.1	11.9
6. 空き家の有効活用	31.2	38.5	8.3	3.7	18.3	69.7	11.9
7. 防災対策	47.7	26.6	5.5	0.0	20.2	74.3	5.5
8. 防犯対策	42.2	33.0	4.6	0.9	19.3	75.2	5.5
9. 自然環境の保全	33.9	41.3	1.8	0.9	22.0	75.2	2.8
10. 森林や里山の保全	33.9	44.0	2.8	0.9	18.3	78.0	3.7
11. 自然を活かした地域の活性化	31.2	43.1	5.5	0.0	20.2	74.3	5.5
12. 環境教育・環境学習	31.2	43.1	3.7	0.0	22.0	74.3	3.7
13. ごみの収集・処理	61.5	19.3	0.9	0.9	17.4	80.7	1.8
14. 地球温暖化対策	40.4	39.4	0.9	0.9	18.3	79.8	1.8
15. 公害の防止	39.4	35.8	4.6	0.0	20.2	75.2	4.6
16. 健康寿命延伸への取組	34.9	35.8	7.3	0.0	22.0	70.6	7.3
17. 子育て支援	46.8	32.1	0.9	0.0	20.2	78.9	0.9
18. 障害者の福祉サービス	39.4	37.6	1.8	0.9	20.2	77.1	2.8
19. 公共建物のバリアフリー化	31.2	43.1	2.8	1.8	21.1	74.3	4.6
20. 高齢者の介護サービス	51.4	29.4	1.8	0.0	17.4	80.7	1.8
21. 生きがいづくりの場の確保	31.2	45.9	5.5	0.9	16.5	77.1	6.4
22. 地域の医療体制	66.1	17.4	0.0	0.0	16.5	83.5	0.0
23. 農業の振興	44.0	25.7	2.8	0.0	27.5	69.7	2.8
24. 林業の振興	28.4	34.9	5.5	1.8	29.4	63.3	7.3
25. 水産業（養鯉業等）の振興	11.9	43.1	7.3	5.5	32.1	55.0	12.8
26. 商店街の活性化	42.2	28.4	3.7	0.0	25.7	70.6	3.7
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	30.3	32.1	5.5	0.0	32.1	62.4	5.5
28. 観光誘客	34.9	29.4	3.7	1.8	30.3	64.2	5.5
29. 企業誘致・雇用の場の確保	50.5	17.4	0.9	0.0	31.2	67.9	0.9
30. 起業や事業継承への支援	33.9	30.3	4.6	0.0	31.2	64.2	4.6
31. 地域産業の人材確保対策	32.1	32.1	1.8	0.0	33.9	64.2	1.8
32. 生涯学習の場・講座数の確保	12.8	46.8	6.4	1.8	32.1	59.6	8.3
33. 学校教育の充実	39.4	25.7	2.8	0.0	32.1	65.1	2.8
34. 学校施設や設備	33.0	31.2	2.8	0.9	32.1	64.2	3.7
35. 芸術・文化活動の充実	12.8	49.5	5.5	0.9	31.2	62.4	6.4
36. 文化財の保護・活用	17.4	45.9	6.4	0.0	30.3	63.3	6.4
37. スポーツ・レクリエーション活動	11.9	49.5	7.3	2.8	28.4	61.5	10.1
38. 市政への市民参加	19.3	46.8	3.7	0.0	30.3	66.1	3.7
39. 市民と行政の協働体制の充実	22.0	42.2	4.6	0.0	31.2	64.2	4.6
40. 男女共同参画の意識啓発	12.8	46.8	6.4	0.9	33.0	59.6	7.3
41. 移住・定住の促進	33.9	33.0	4.6	0.0	28.4	67.0	4.6
42. 情報公開の促進や広報活動	24.8	43.1	2.8	0.0	29.4	67.9	2.8
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	33.9	32.1	4.6	0.0	29.4	66.1	4.6
44. 行財政運営の健全化	34.9	33.9	0.9	0.0	30.3	68.8	0.9
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	20.2	42.2	6.4	0.9	30.3	62.4	7.3

※ 重要度上位3位の項目を■（青）、重要でない上位3位の項目を■（赤）で示しています。

【年齢別の重要度の上位3位】

(単位：%)

順位 区分	第1位	第2位	第3位
市全体 (N=536)	- 道路除雪や消雪パイプの維持 - 地域の医療体制 (92.0)	- ごみの収集・処理 - 子育て支援 (89.2)	
18～29歳 (n=57)	- 道路除雪や消雪パイプの維持 - 防災対策 - 自然環境の保全 - 学校教育の充実 (94.7)		
30～39歳 (n=66)	道路除雪や消雪パイプの維持 (97.0)	公共交通による地域交通網の維持 (95.5)	- 自然環境の保全 - 自然を活かした地域の活性化 - ごみの収集・処理 - 子育て支援 - 高齢者の介護サービス - 地域の医療体制 (93.9)
40～49歳 (n=90)	地域の医療体制 (97.8)	- 道路除雪や消雪パイプの維持 - 防災対策 - 子育て支援 (96.7)	
50～59歳 (n=89)	- 道路除雪や消雪パイプの維持 - 地域の医療体制 (98.9)	- 防災対策 - 高齢者の介護サービス (95.5)	
60～69歳 (n=123)	地域の医療体制 (90.2)	道路除雪や消雪パイプの維持 (89.4)	- ごみの収集・処理 - 子育て支援 (87.8)
70歳以上 (n=109)	地域の医療体制 (83.5)	道路除雪や消雪パイプの維持 (82.6)	- ごみの収集・処理 - 高齢者の介護サービス (80.7)

※第1位～第3位の（ ）内の数字は、「重要である」と「やや重要である」を合わせた割合を示します。

【年齢別の重要度でない上位3位】

(単位：％)

順位 区分	第1位	第2位	第3位
市全体 (N=536)	・水産業（養鰻業等）の振興 (19.6)	・芸術・文化活動の充実 (18.8)	・生涯学習の場・講座数の確保 (17.0)
18～29歳 (n=57)	・芸術・文化活動の充実 (24.6)	・健康寿命延伸への取組 (22.8)	・スポーツ・レクリエーション活動 (21.1)
30～39歳 (n=66)	・芸術・文化活動の充実 (25.8)	・男女共同参画の意識啓発 (22.7)	・文化財の保護・活用 (21.2)
40～49歳 (n=90)	・水産業（養鰻業等）の振興 (25.6)	・生涯学習の場・講座数の確保 ・芸術・文化活動の充実 (23.3)	
50～59歳 (n=89)	・芸術・文化活動の充実 (23.6)	・水産業（養鰻業等）の振興 (22.5)	・生涯学習の場・講座数の確保 (19.1)
60～69歳 (n=123)	・水産業（養鰻業等）の振興 (22.0)	・生涯学習の場・講座数の確保 (19.5)	・芸術・文化活動の充実 (17.1)
70歳以上 (n=109)	・水産業（養鰻業等）の振興 (12.8)	・情報通信基盤整備 ・空き家の有効活用 (11.9)	

※第1位～第3位の（ ）内の数字は、「あまり重要でない」と「重要でない」を合わせた割合を示します。

(3) 満足度・重要度の指数化

前項の回答結果を客観的に評価する分析手法として、満足度・重要度に関する回答をそれぞれ指数化し、比較しました。

満足度・重要度の指数の算出方法及び各選択肢の得点は、次に示すとおりです。

〔満足度・重要度指数の求め方〕

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2)}{\text{「無回答」を除く回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要」} \times 2 + \text{「やや重要」} \times 1 + \text{「あまり重要でない」} \times (-1) + \text{「重要でない」} \times (-2)}{\text{「無回答」を除く回答者数}}$$

〔満足度・重要度の各回答の得点〕

回 答	点数
満足している	2点
やや満足している	1点
やや不満である	-1点
不満である	-2点
無回答	対象外

回 答	点数
重要である	2点
やや重要である	1点
あまり重要でない	-1点
重要でない	-2点
無回答	対象外

●満足度指数

全体の満足度指数の平均は 0.28 点で、最も満足度指数が高かった項目は、「13. ごみの収集・処理」の 1.06 点、最も満足度指数が低かった項目は、「6. 空き家の有効活用」の -0.61 点となっています。

満足度指数が高い項目は、「1. 道路網の整備」、「16. 健康寿命延伸への取組」、「7. 防災対策」等となっており、満足度が低い項目は、「26. 商店街の活性化」、「28. 観光誘客」、「29. 企業誘致、雇用の場の確保」等となっています。

●重要度指数

全体の重要度指数の平均は 1.23 点で、最も重要度指数が高かった項目は、「22. 地域の医療体制」の 1.73 点、最も重要度指数が低かった項目は、「25. 水産業（養鯉業等）の振興」の 0.69 点となっています。

重要度指数が高い項目は、「2. 道路除雪や消雪パイプの維持」、「17. 子育て支援」、「13. ごみの収集・処理」等となっています。

〔全 45 項目の満足度・重要度指数の順位〕

満足度		順位	重要度	
項目名	指数		項目名	指数
13. ごみの収集・処理	1.06	1	22. 地域の医療体制	1.73
1. 道路網の整備	0.72	2	2. 道路除雪や消雪パイプの維持	1.70
16. 健康寿命延伸への取組	0.67	3	17. 子育て支援	1.60
7. 防災対策	0.60	4	13. ごみの収集・処理	1.51
8. 防犯対策	0.59	5	29. 企業誘致、雇用の場の確保	1.49
15. 公害の防止	0.59	6	7. 防災対策	1.48
36. 文化財の保護・活用	0.58	7	20. 高齢者の介護サービス	1.45
25. 水産業(養鯉業等)の振興	0.55	8	33. 学校教育の充実	1.45
34. 学校施設や設備	0.55	9	8. 防犯対策	1.42
9. 自然環境の保全	0.53	10	18. 障害者の福祉サービス	1.37
19. 公共建物のバリアフリー化	0.53	11	4. 公共交通による地域交通網の維持	1.37
35. 芸術・文化活動の充実	0.53	12	31. 地域産業の人材確保対策	1.35
18. 障害者の福祉サービス	0.50	13	14. 地球温暖化対策	1.35
10. 森林や里山の保全	0.45	14	23. 農業の振興	1.35
33. 学校教育の充実	0.43	15	26. 商店街の活性化	1.32
12. 環境教育・環境学習	0.43	16	9. 自然環境の保全	1.32
21. 生きがいづくりの場の確保	0.43	17	34. 学校施設や設備	1.32
42. 情報公開の促進や広報活動	0.42	18	12. 環境教育・環境学習	1.31
20. 高齢者の介護サービス	0.42	19	44. 行財政運営の健全化	1.29
17. 子育て支援	0.41	20	15. 公害の防止	1.28
37. スポーツ・レクリエーション活動	0.39	21	10. 森林や里山の保全	1.27
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	0.39	22	43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	1.26
24. 林業の振興	0.39	23	28. 観光誘客	1.25
32. 生涯学習の場・講座数の確保	0.38	24	41. 移住・定住の促進	1.23
3. 道路のバリアフリー化	0.38	25	30. 起業や事業継承への支援	1.23
23. 農業の振興	0.34	26	27. 企業への技術開発・販路拡大支援	1.20
5. 情報通信基盤整備	0.31	27	1. 道路網の整備	1.19
40. 男女共同参画の意識啓発	0.29	28	19. 公共建物のバリアフリー化	1.19
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	0.29	29	42. 情報公開の促進や広報活動	1.15
11. 自然を活かした地域の活性化	0.28	30	21. 生きがいづくりの場の確保	1.15
44. 行財政運営の健全化	0.26	31	39. 市民と行政の協働体制の充実	1.14
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	0.25	32	11. 自然を活かした地域の活性化	1.14
38. 市政への市民参加	0.19	33	5. 情報通信基盤整備	1.12
14. 地球温暖化対策	0.17	34	45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	1.09
39. 市民と行政の協働体制の充実	0.16	35	3. 道路のバリアフリー化	1.07
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	0.01	36	6. 空き家の有効活用	1.06
22. 地域の医療体制	-0.03	37	38. 市政への市民参加	1.05
41. 移住・定住の促進	-0.08	38	24. 林業の振興	1.05
30. 起業や事業継承への支援	-0.13	39	16. 健康寿命延伸への取組	1.04
31. 地域産業の人材確保対策	-0.22	40	37. スポーツ・レクリエーション活動	0.87
4. 公共交通による地域交通網の維持	-0.30	41	36. 文化財の保護・活用	0.83
29. 企業誘致、雇用の場の確保	-0.34	42	40. 男女共同参画の意識啓発	0.82
28. 観光誘客	-0.35	43	32. 生涯学習の場・講座数の確保	0.77
26. 商店街の活性化	-0.60	44	35. 芸術・文化活動の充実	0.74
6. 空き家の有効活用	-0.61	45	25. 水産業(養鯉業等)の振興	0.69
平均値	0.28		平均値	1.22

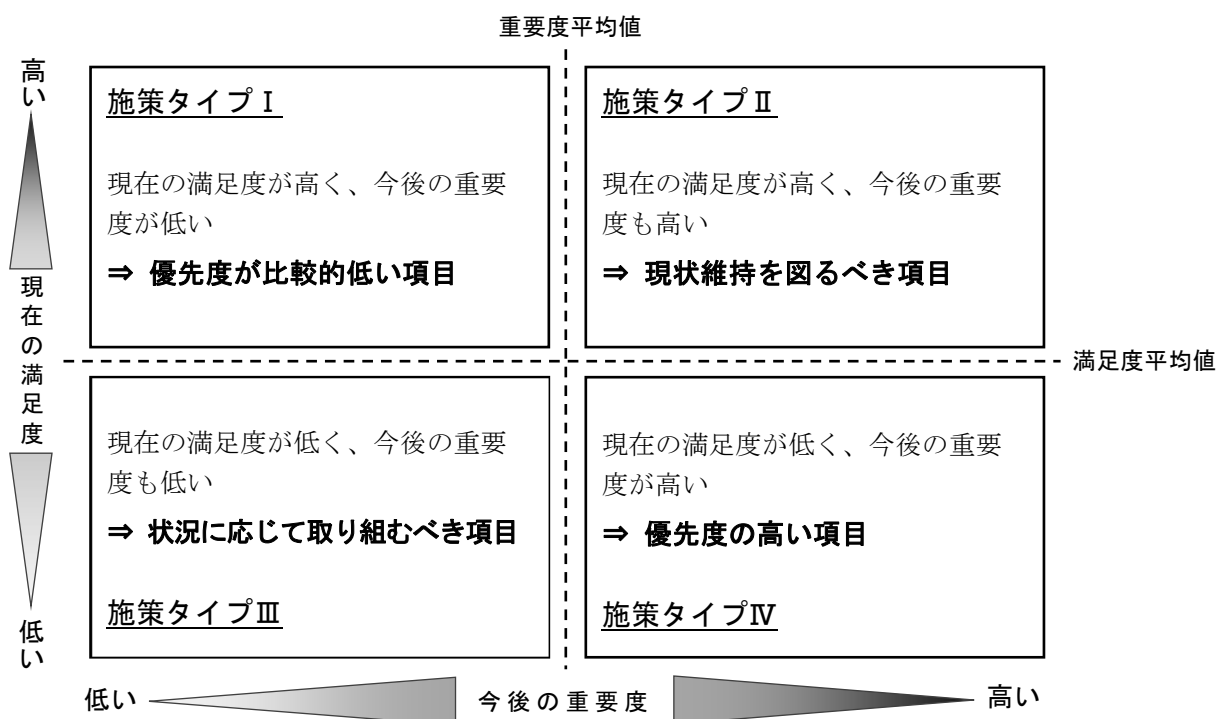
平均値

(4) 満足度と重要度の相関図による分析

施策項目の優先性を検討するために、先に算出した 45 項目の満足度と重要度の指数をもとに、縦軸に満足度、横軸に重要度を設定し、各施策の位置づけを整理します。

相関図は、ある施策の満足度と重要度の評価が、他の施策と比べて相対的に高いか、もしくは低いかを表しており、全体的に次のような傾向を示しています。

〔相関図の見方〕



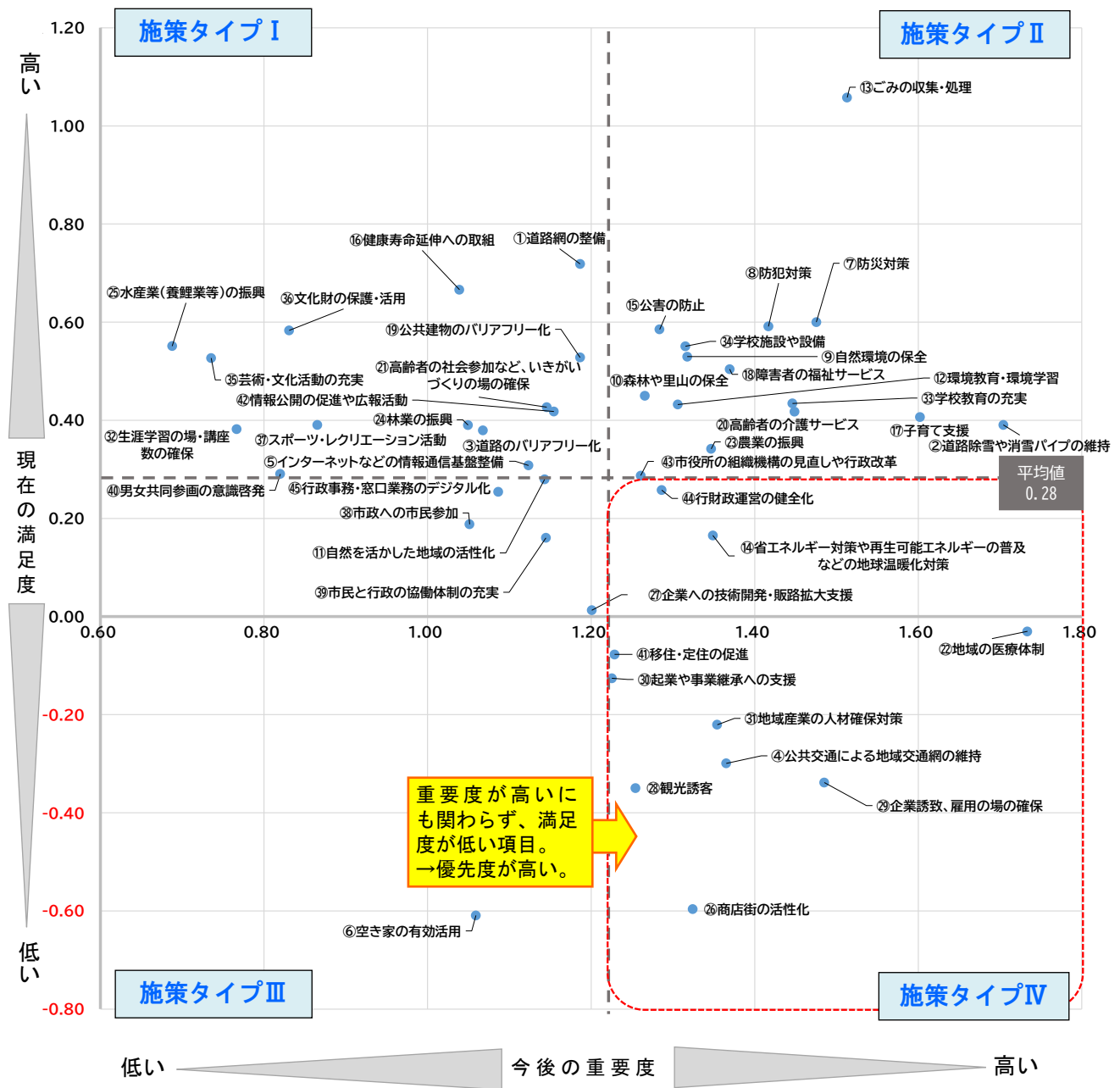
施策タイプⅠ・・・「満足度」が平均値以上で、「重要度」は平均値以下のもの

施策タイプⅡ・・・「満足度」が平均値以上で、「重要度」も平均値以上のもの

施策タイプⅢ・・・「満足度」が平均値以下で、「重要度」も平均値以下のもの

施策タイプⅣ・・・「満足度」が平均値以下で、「重要度」は平均値以上のもの

〔満足度と重要度の散布図〕



分析結果をみると、

施策タイプⅠ（優先度が比較的低い項目）に属するもの：15項目

施策タイプⅡ（現状維持を図るべき項目）に属するもの：15項目

施策タイプⅢ（状況に応じて取り組むべき項目）に属するもの：5項目

施策タイプⅣ（優先度の高い項目）に属するもの：10項目

となっています。

このうち、赤の破線で囲まれている部分（施策タイプⅣ）は、重要度が高いにもかかわらず満足度の低い項目であり、今後、優先的に取り組む必要がある項目です。

●施策タイプⅠ：優先度が比較的低い項目（満足度：高、重要度：低）

項目名	満足度指数	重要度指数
1. 道路網の整備	0.72	1.19
16. 健康寿命延伸への取組	0.67	1.04
36. 文化財の保護・活用	0.58	0.83
25. 水産業(養鯉業等)の振興	0.55	0.69
19. 公共建物のバリアフリー化	0.53	1.19
35. 芸術・文化活動の充実	0.53	0.74
21. 高齢者の社会参加など、生きがいつくりの場の確保	0.43	1.15
42. 情報公開の促進や広報活動	0.42	1.15
37. スポーツ・レクリエーション活動	0.39	0.87
24. 林業の振興	0.39	1.05
32. 生涯学習の場・講座数の確保	0.38	0.77
3. 道路のバリアフリー化	0.38	1.07
5. インターネットなどの情報通信基盤整備	0.31	1.12
40. 男女共同参画の意識啓発	0.29	0.82
11. 自然を活かした地域の活性化	0.28	1.14

●施策タイプⅡ：現状維持を図るべき項目（満足度：高、重要度：高）

項目名	満足度指数	重要度指数
13. ごみの収集・処理	1.06	1.51
7. 防災対策	0.60	1.48
8. 防犯対策	0.59	1.42
15. 公害の防止	0.59	1.28
34. 学校施設や設備	0.55	1.32
9. 自然環境の保全	0.53	1.32
18. 障害者の福祉サービス	0.50	1.37
10. 森林や里山の保全	0.45	1.27
33. 学校教育の充実	0.43	1.45
12. 環境教育・環境学習	0.43	1.31
20. 高齢者の介護サービス	0.42	1.45
17. 子育て支援	0.41	1.60
2. 道路除雪や消雪パイプの維持	0.39	1.70
23. 農業の振興	0.34	1.35
43. 市役所の組織機構の見直しや行政改革	0.29	1.26

●施策タイプⅢ：状況に応じて取り組むべき項目（満足度：低、重要度：低）

項目名	満足度指数	重要度指数
45. 行政事務・窓口業務のデジタル化	0.25	1.09
38. 市政への市民参加	0.19	1.05
39. 市民と行政の協働体制の充実	0.16	1.14
27. 企業への技術開発・販路拡大支援	0.01	1.20
6. 空き家の有効活用	-0.61	1.06

●施策タイプⅣ：優先度の高い項目（満足度：低、重要度：高）

項目名	満足度指数	重要度指数
22. 地域の医療体制	-0.03	1.73
41. 移住・定住の促進	-0.08	1.23
30. 起業や事業継承への支援	-0.13	1.23
31. 地域産業の人材確保対策	-0.22	1.35
4. 公共交通による地域交通網の維持	-0.30	1.37
29. 企業誘致、雇用の場の確保	-0.34	1.49
28. 観光誘客	-0.35	1.25
26. 商店街の活性化	-0.60	1.32
44. 行財政運営の健全化	0.26	1.29
14. 省エネルギー対策や再生可能エネルギーの普及などの地球温暖化対策	0.17	1.35

分野別にみると、施策タイプⅣでは、10項目のうちの半数が“産業分野”の項目が占めています。

〔分野別・施策タイプ別の項目数〕

分野	施策タイプⅠ	施策タイプⅡ	施策タイプⅢ	施策タイプⅣ	合計
生活基盤分野	3	3	1	1	8
環境衛生・自然分野	1	5	—	1	7
健康・福祉分野	3	3	—	1	7
産業分野	2	1	1	5	9
教育・文化分野	4	2	—	—	6
市民協働・行政分野	2	1	3	2	8

施策タイプⅠ：優先度が比較的低い項目（満足度：高、重要度：低）

施策タイプⅡ：現状維持を図るべき項目（満足度：高、重要度：高）

施策タイプⅢ：状況に応じて取り組むべき項目（満足度：低、重要度：低）

施策タイプⅣ：優先度の高い項目（満足度：低、重要度：高）

6 自由記載

1 分野別回答件数と内容

自由記載欄においては、市政全般について様々な意見や要望等が寄せられました。ここでは、頂いた意見や感想等について、主なテーマごとに分類して掲載しています。

なお、一つの自由記述欄に、複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。

また、自由記載は、原則として原文のまま全てを掲載することとしていますが、明らかな誤字・脱字は修正するとともに、特定の第三者に対する誹謗中傷と捉えられる意見については、掲載しておりません。

〔自由記載欄に寄せられた分野別の回答件数〕

大項目	小項目	回答数（件）	
都市基盤	公共施設	2	10
	公園・遊び場	3	
	道路・駐車場	5	
暮らし	公共交通等	4	10
	住宅	3	
	環境	3	
医療	医療全般	1	6
	小児医療	5	
子育て・教育等	子育て支援	3	9
	学校教育	3	
	若者支援	1	
	スポーツ	2	
産業	企業誘致	1	11
	企業支援	1	
	商業	5	
	観光	2	
	農業	2	
福祉	高齢者	4	8
	障害者・生活困窮者	2	
	地域福祉	2	
まちづくり	移住・定住対策	4	20
	PR・情報発信	7	
	まちづくり全般	9	
行政	行政サービス	6	20
	職員の対応力向上	5	
	市政運営	9	
その他	アンケートに関すること	5	6
	その他	1	
合 計		100	

【都市基盤】

●公共施設
六日町にあるような、居心地のいい図書館を作って欲しい。
あるものを大事にすることも大切だと思いますが、このままだと魚沼にいたいと思う若者は減るだけだと思うので、新しい建物、施設の建設を図ることは必要だと思います。
●公園・遊び場
子供達の遊び場を作り、今ある公園整備をして欲しい。
公園にしてもバトミントンはいいけど、野球はダメなど制限されることが多いため、もっと多くの人が使いやすい公園だったり、施設があるほうがいいと思った。
子育て施設の「かたくり」について今の施設は、未就学児はまだ遊べる場所がありますが、小学校へ上がると遊べるスペースの規制があり、兄弟で一緒に遊ばすことが出来ず、でも子どもから目も離してはいけないという、利用しづらい状況なので、そのような所を子育てに力を入れるなら見直ししてほしいです。
●道路・駐車場
このアンケートを回答する日、雪が降り始め又いやな季節になりました。なぜかと言うと毎朝の除雪です。今朝も4時から除雪車が来るまでに、車庫の前の雪を出さなくてはなりません。これでは若者が魚沼に住みたくないわけです。せっかくある消雪パイプも役にたちません。消雪パイプがダメなら、流雪溝の整備をするなど考えてはどうでしょう。魚沼は決して住みにくい所ではありません。
家の前の道路の傷みがひどく、トラックが通ると家が揺れ、毎日地震が来たかと思う。北部庁舎に写真を撮り補修をお願いしたが、無しのつぶて。前面舗装など希望してはいいないが、補修位はしてほしい。写真まで撮ってお願いしたのだから、返事位はするのが常識と思うが。
消雪パイプの増設。
小出の祭りでは、車を停められる場所を確保してほしい。
小出商店街には駐車場なさすぎです！商店街衰退の原因の一つでもあると思う！！開放して使用できる市の駐車場が必要だと思います。

【暮らし】

●公共交通等
電車の本数を増やして欲しい。
普段バスに乗らない人の為に、バスの停留所とバスのルート案内の一覧表みたいなものを配布してほしい。
父が畑までの移動手段がなく、免許返納できないという問題に悩まされています。地域で乗合い車等、交通手段が増えると嬉しいです。
買い物も市外に行く（洋服など）のに車が必要。
●住宅
空家対策。
子育て世代です。子供の成長に合わせて賃貸アパートの引越を考えますが、各管理会社のサイトを見て回ることが大変手間に感じます。市のHPでとりまとめたものがあり、検索でトップにあると良いのではないかと思います。（市外からの移住希望の人も、必要な情報だと思います。）また、アパートはあるのに、「魚沼市賃貸アパート」等で検索しても出てこない物件もあります。
若者や障害者の方が自立しやすいように、安く入れるマンションやアパートを提供してほしい。

●環境
保護猫、保護犬を守るような政策があると嬉しいです。
近年、動物が出没して畑を荒らし困っています。何か対策があると嬉しいのですが。
もっと街灯を多くしてほしい。あまりにも少なすぎる。とても安全とはいえない。

【医療】

●医療全般
診療科の偏りをもっと小さくしてほしい。
●小児医療
子供への医療体制の強化を是非に願います。
まだ小さい子供を育てている中で、すごく感じるのが、小出病院の救急外来ではほぼ100%とあっていいほど見てくれません。小児科の医師がいらないのは分かっていますが、基幹病院まで行く大変さや、頼りたい時に断られた時の不安な思いを分かっています。そういった点で子育てはしやすいとは言えない1つです。せっかく医療費無料や2人目以降保育料無料とっているのに、ありがたいのに…と残念に思っています。
子供が体調を崩した時に受診したくても、小児科は予約が必要であったり、内科医院では小児は対応できないと断られ、受診したくてもできない状況です。かかりたい時にかかれないのが本当に困ります。小児医療の充実を希望します。
魚沼市内の小児科を何とかしてもらいたい。診てもらいたくても1日の定員がすぐオーバーして診てもらえず、隣の市まで行かなくてはならない。
具体的に何が行われて、何が必要ななどの現状が見えないし、あまり関心を持ってない。こどもクリニックが開院したが、予約以外診察してもらえないとはどういう事なのか、風邪や胃腸炎など突然具合悪くなることの方が多く子供。基幹病院の方は見てくれるが、いつ行っても激混みで、本来の在り方とは到底かけ離れている。市からの働きかけは？

【子育て・教育等】

●子育て支援
子育てしやすい環境づくりを。病児保育の拡大。保育園の保護者負担を減らす。(現金集金、お弁当の日など)学校給食費無償化または公会計化。
子育て支援で、義務教育を終えた後の子育て支援をもう少し充実させてほしい。そこから子供にお金がかかるので。
子育て支援と物価高への対策をおねがいします。プレミアム付商品券が良かったと思います。
●学校教育
魚沼の教育水準、施設の維持が難しい。統合をすすめないと均等な教育の機会を子どもたちに与えられているとは現在でも思えない。最低限の機能と機会を維持できるように統合は進めて行くべき。
教育施策にもっと力と金を使うことと、レベルアップを望む。「魚沼の教育はいいぞ」と言われるようになってほしい。
子育てや教育環境が充実している魚沼市。不足の部分は、改善していくという市議の先生方にうかがいます。なぜ、ご自分の子供は市外へ行かせて教育するのですか？魚沼市ではダメな所教えて下さい。もしあるなら改善を求めます。
●若者支援
学生にもっと焦点をあてた政策を考えると良いと思う。

●スポーツ
一年を通して（年配者や子供達も一緒に）出来るスポーツ施設の建設を望みます。
泳げない子供が多くなっているとの話を聞いて、スイミングスクールがなくなってしまったことは本当に残念です。また、冬のスポーツの場所がなくなってしまう、お年寄りや子供の健康などを考えると、このまま無しとするのはあまり良いとは思えません。近い将来、水泳のできる場所ができることを期待しています。

【産業】

●企業誘致
企業誘致にも力を入れて欲しい。財源を増やすために必要だと思います。
●企業支援
建設業（小規模）をしていますが、従業員がまったく見つかりません。企業誘致も大切ですが、今ある企業を存続させる為の施策に期待します。
●商業
マックやスターバックス、サーティワン、GUやカラオケ、カフェなどの施設をもっと増やして欲しい。また、堀之内にスーパーが1つしかないのがとても不便。
職の関係等で、何度か魚沼市を出入りしていますが、そのたびにお店が増えていく、活発だなと感じます。（小出地域に多い気がします…。）自分の周りも地元に戻ってきている子が多いので、ドライブスルーのお店や若者が多く利用するチェーン店が増えると嬉しいです。（マクドナルド、スターバックス等）
ユニクロ、GU、マック、モス…市内にあったら若者は、嬉しいです。
最近小出インターチェンジが「魚沼」に替わるニュースがあったが、その周辺がもっと、にぎやかな場所になってほしい。すぐにはできる訳ないのはわかっていますが、やはり、人に多く来てもらうには、飲食店が無いことには、つまらないと思われてしまいます。
魚沼市の公共施設ばかり建直ししても、IC名称変更しても魚沼市はうるおわないと思います。IC付近に商業施設を誘致したり、レジャー施設やスポーツ施設などあってもいいと思います。
●観光
自然が多い地域なので、これを売りにして観光に力を入れて欲しい。
もっと只見線全線開通の時に力を入れておけば、観光客が魚沼市に来てくれたのに。魚沼市全体を考えてくれる市長に替わっていただきたい。魚沼インターと名前を替えても、しっかりと観光を楽しめる基盤が無いのにリピーターは増えませんよ。
●農業
耕作放棄された田、畑の利用方法。
自分達が高齢となり、田畑をやれなくなるとき、どうしていけばいいのかなと心配があります。

【福祉】

●高齢者
人は自分がその当事者にならないとわからない。子育て中は、老後のことなど考えもしなかった。その時々相談できる所があることは良いことだと思う。
60代・70代で人の役に立ちたいと思っている人もいますので、学校、保育園や施設などで簡単な作業があったら公開して手伝ってもらったらどうか。（無償で、市独自のポイント制にしたらどうか…10ポイントで温泉に一回利用できるとか…）

自分がこれから高齢になり、運転ができなくなったり除雪ができなくなったりしたらと考えると心配です。これからはコンパクトにまとまって生きていくのがいいのかとも思います。歩ける距離にいろいろあって、歳をとっても雪の心配なく暮らせる集合住宅とか。小出や堀之内の中心なら、まだ暮らしていけるかとも思います。
子育て中は、出かける時は他の地域に行っていた。歳もと、遠出もたいへんなので市内と思っても出かけたいと思えるところが少ない。
●障害者・生活困窮者
生活保護の見直し。ただ単に働きたくなく、生活保護を受けている人が一般市民より贅沢だったり、好き放題ネット通販だったりしていられるのはいかがなものか？だったら、本当に困っている母子家庭や障害者や貧困者などに回して欲しい。状況を精査して欲しい。
商品券の発行、低所得者対象に灯油代補助。
●地域福祉
年齢、男女に関わらず一緒に食事会を開き、コミュニティが取れる場所を設け、ボランティアが主体となることが出来る設備があればよいのではないか。（高齢者は生活の生き甲斐、若い人達への子育て支援、ボランティアの必要性も認識されるのではなかろうか。）
子育て世代から高齢者まで、市民が安心して自宅、市内で生活していくことができる取り組みをしていってほしいです。

【まちづくり】

●移住・定住対策
とにかく住んでいる私たちひとりひとりが「魚沼市っていいね」と思える町になれば、自然と他からも人がやってくると思います。自然も人的資源も結構あると思います。
魚沼市といえばコシヒカリが全国区で有名だが、その1つだけで、次にくるものがない。農業以外の面で企業の誘致（税制面の優遇も含め）などで労働力となる世代（20～50代）の人口を増やすことで、子供のいる家庭の永住（または少しでも長く住んでもらう）を目指す必要があるのではないか。そのためには、レジャー施設の充実が若い世代へのアピールになると思う。
若い人は一度都会に出るとほとんど帰ってきません。なぜだろうかと友人と話すとき、雪だよねという結論にいたります。これは仕方ない、どんなに支援を考えても、冬も青空が見えるところで何の心配もなく生活ができるのだから。50代になった私でさえも今すぐ引越したい。魚沼市だけが人口が減ってるわけじゃない。日本全体でみても少子化で、人口が減っている。現在、魚沼市がやっている支援は決して少ないわけではなく、なんなら手厚いほうではないでしょうか。便利で住みやすいところに人は流れていく。今に始まったことじゃない。
若者が定住するよう、若い人達の出会いの場をたくさん作って、集まるよう呼びかけて欲しい。
●PR・情報発信
インター名より「小出郷」の名称を改めて。
多数の意見で決定されたことですが、魚沼インターの名称変更については、魚沼エリアが北・南・中魚沼とエリアが広いことから、「魚沼小出インター」などとすれば、これまでの「小出」のイメージと「魚沼」のイメージが相乗効果を生んだのでは？と思っていました。（具体的に魚沼市をもっとPRしたい、ということであれば）決まったことなので、これまで同様に、地域の情報発信、宣伝を行い、更に新たな名称である「魚沼インター」で心機一転、地域のPRをしていける企画を市民と一体でしていただきたいと思います。
只見線という世界的に有名な終着駅がありながら、テレビで見る只見線の番組は福島の色ばかりなのが残念でなりません。その有効利用に対し、鉄オタに意見など頂けないもの

でしょうか。
県内外にＴＶやＦＭ等のメディアを利用した魚沼市の紹介。例えば魚沼ブランドやプレミアム品など、文化会館や体育館など公共施設の催し、キャンプ、ゴルフ、スキー、登山等のレジャー、山菜、百合、米、山芋、酒 etc。ＣＭとして発信するのではなく、定期的に時間枠発信する。スポンサーＣＭは市内から募集。
市民参加型が望ましいのであれば、情報発信、提供を充実させる！
市職員の一人ひとりが頑張っていると思います。魚沼の発信力を感じていないので、そこを頑張ってもらいたい。そうすれば、少しは変わっていくのではないかなと思う。
南魚沼市は色々なメディアに対しアピールが上手。魚沼市は下手だといつも思います。がんばって欲しいです。
●まちづくり全般
小出、堀之内地域に集約の形に移行されていくのか、確かに今の状態では、次の世代につながる家が少ない現状です。いずれ定年となったら帰ってくると言ってくれる子供が帰ってこれる世の中になってほしいと思います。
計画の基礎数値を目標として見込むため（特に人口）、将来像が実態とかけ離れすぎたものとなる。人口は減少方向にあるので実態に促した計画作業を。
今魚沼市に暮らしている人が困らない、小さくても住みやすい町、地味でも住みやすい町であればと思います。他自治体と競い合っても仕方ない。
魚沼市だけで生活が完結するような、若者が住みやすい町作りをお願いします。正直魅力を感じません。
少子高齢化しながらスピードを上げて減っていく人口問題について、既に過疎化が進む当地のような地方自治体はどう対応するのかは、なかなか難しい問題ではあるかと思います。しかしながら、必ず直面する問題ですので、行政と住民とで知恵を出し合い、乗り越えていかなければと感じています。
魚沼市は井の中の蛙である。同じ魚沼でも南魚沼とは差がある。もっと他の地域をみて学んでほしい。
人口減少、高齢化による住みにくさを解消する為の長期的なビジョンを早く策定し、段階的に進めていかななくては間に合わないと思う。この 10 年での高齢化の加速はすごいと思うので。市内中心部ではない過疎化の地域に住む人達のこれからの暮らし方の意向を個々に把握していくことが大事だと思う。
今回のアンケートを通して、客観的に魚沼市を見ることができました。子どもからお年寄が参加できるような地域づくりを目指したいですね。自身も大学で持続的な地域をつくるために何ができるか学んでいるので、いつか参加できたらいいと思います。魚沼市のために何ができるのか考え中です！
若い世代には不満の多い地域。生活できない。

【行政】

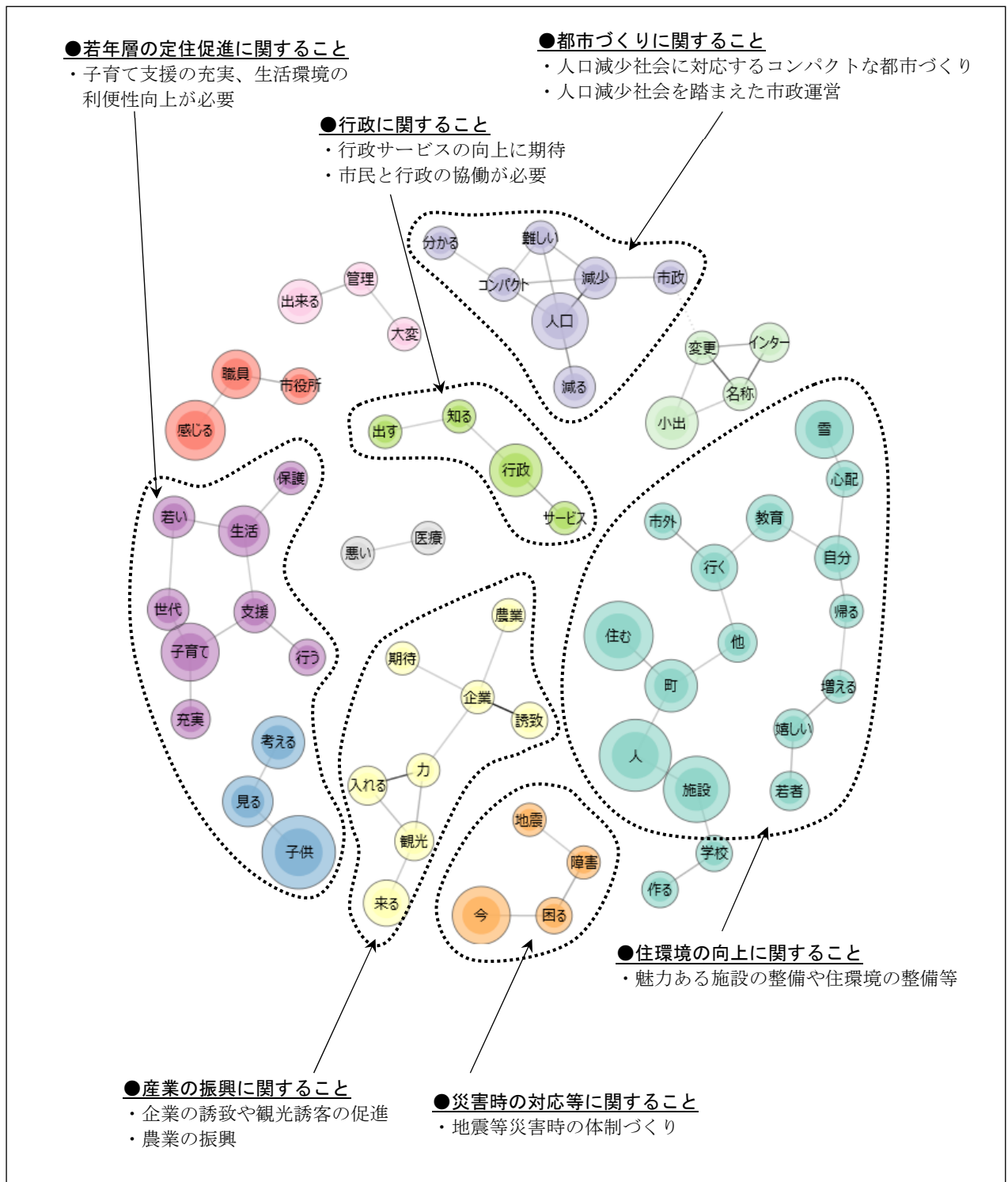
●行政サービス
以前に本当に困った時に助けてもらえなかったのは今でも不満が残ります。期待はしていません！！
旧小出庁舎跡の建設が進んでいるなかで、計画及び完成後の全容や利用計画などの市民への認知度が低い。ネット等が利用できない市民もいるので市報等での告知をお願いしたい。
雪国として、冬にかかる暖房、融雪などの補助必要。住みやすい町、住みたい町のため。
けっこうＨＰが見やすかったり、ネット手続きができてありがたかったです。（ワクチン接種等）
市の取組がどんなことをしているか分かりづらいので、もっと情報を広めてほしい。

介護保険関係で庁舎に行った時に、とても親切にしてくださいました。言葉もていねいでとても良い感じでした。職員の方々の対応がとても良かったです。
●職員の対応力向上
市職員に元気が感じられず、暗い雰囲気の仕事所であるように思います。サラリーマン化しているのでは明るい未来はきません。民間会社員よりはるかに高額の収入を得ていると思います。
最近感じたこと。部署によるが、あいさつのできる職員でいて下さい。人が行ってもパソコンに向いたままでは、気分が悪くなりますよ。世界一、雪に強い町、魚沼市に期待しています。
私の住む井口には春と秋に江ざらいがあり、地域の皆さんと活動しています。その日は80才を過ぎたおばあちゃんもスコップで川のそうじをしているのに、同じ班に住む市役所の職員はホントに出て来ないのです！もう何十年もそうなのですが、誰も本人に言うわけでもなく、毎回、私1人が頭からプンポン湯気を出しながら労働しています。そんなこともあり、私はこんな市役所の職員が許される、この魚沼市に良い感情がありません。市長の内田さんはこの事実を知っているのでしょうか。こんな人に税金が使われていると思うと悲しいです。
市役所職員の教育を向上させる。
障害者年金の窓口担当が横のカウンターから出てきて、なれなれしく話しかけられて、精神的に苦痛です。
●市政運営
市の広報や回覧などを3ヶ月に1回位に減らす。地区の役員を減らす（各地区1人で部落別にする）。東、西、南、北で12人位に決める。
魚沼市の財政が厳しい中、スキー場の集約、インターチェンジ名の変更により、どのような効果あったのか、年度毎に報告すべき、市政としてムダな投資をしているようにしか見えない。
問21でも答えましたが、市町村合併（吸収でなく対等）の弊害として、市の規模に対する職員数が見合っておらず、多すぎると感じます。今後、施設等すべてのことを集約していく中、市としてその部分にもメスを入れていく必要があるのではないのでしょうか。身内に優しいのは行政らしいですが、住民と同等の「痛み」を伴わないと決して良い市にはならないと思います。
議員、多すぎます！
内田市長に代わり、魚沼市は良くなってきたと思います。
子どもの教育、高齢者、雪害に予算を使って下さい。たとえば、雪は大事な資源ですが、たくさん降る地域の高齢者や弱者が、一切雪の心配をしなくて良くなるとか。
職員数が、多過ぎると思います。コスト管理が出来ておらず、ムダが多いと思います。大改革が今こそ必要！！市民まかせにするな！！
庁舎に行くと、これだけの職員がいないと行政サービスを提供できないのかと思う。時間をかけてもコンパクトな行政規模にしないと、人口減少化のもとで市の経営は難しいと感じる。それには、市民も行政サービスの縮小を議論する、行政はムダを排除するというお互いの立場でのコンセンサス形成を期待したい。
●その他（アンケートに関すること等）
途中から回答が嫌になった。
自分に関連が無く、分からない所があり答えにくかった。
市民の身近な意見は大事にして頂きたい。回答数が多いこのアンケートを意味のあるものにして頂きたい。
今後もこのようなアンケートを実施し、結果を集計・発表してもらいたい。
日本語でお願いしたい部分がありました。
特に無し。がんばれ魚沼市！いい町魚沼市！

2 共起ネットワークグラフを用いた分析

共起ネットワークとは、自由記載の中に、どのような単語が多く登場したか、また、それら単語同士の間でより結びつきが強いものには何があるのかを出現頻度が上位のキーワード（円）と関連性（線）から成るネットワークグラフとして可視化したものです。

語を囲む円が大きいほど出現頻度が高く、線が濃いほど共起性が強いことを示しています。本調査における自由記載内容からは、概ね次の内容に分類できます。



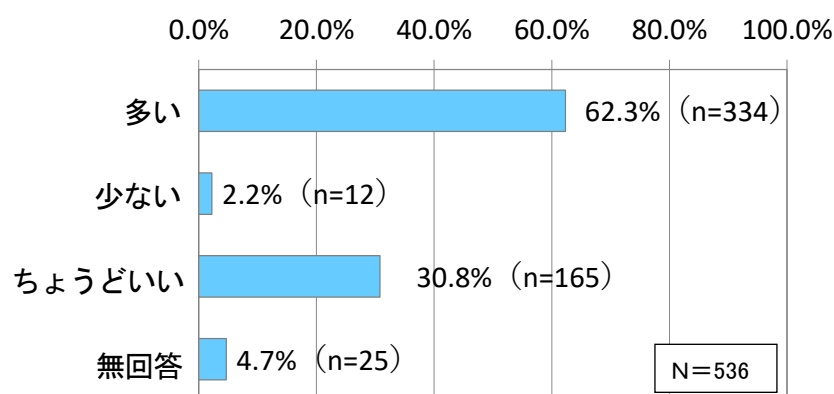
7 アンケート調査を終えて

魚沼市では計画策定や政策形成において、様々なアンケートを実施しております。

今後実施するアンケートの参考にするため、設問数や答えやすさなど、回答者ご自身が感じたことをお聞かせください。（〇は1つ）

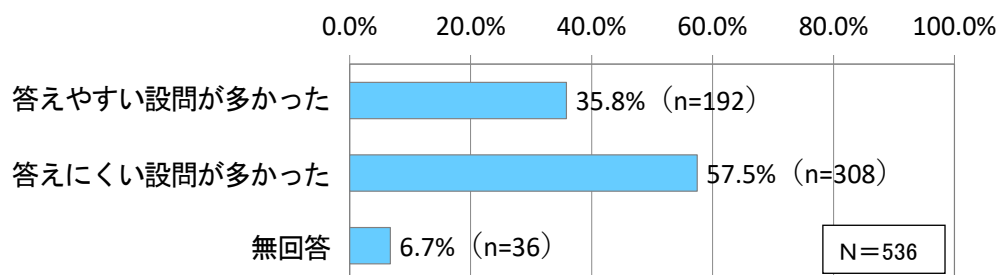
●設問数について

設問数については、「多い」が62.3%と最も多く、「ちょうどいい」は30.8%、「少ない」は2.2%となっており、今回のアンケートの設問数について、回答者の多くが「多い」と実感しています。



●答えやすさについて

アンケートの答えやすさについては、「答えやすい設問が多かった」が35.8%、「答えにくい設問が多かった」が57.5%となっており、回答者の過半数は「答えにくい設問が多かった」と実感しています。



●その他、アンケート回答にあたって感じたことをご記入ください。

今回のアンケート回答にあたって感じたことを自由記述方式で尋ねたところ、様々な意見・感想が寄せられました。ここでは、頂いた意見・感想について、項目別に分類し、次に掲載しています。

なお、一つの自由記述欄に、複数の項目に関連する意見を頂いている場合は、文章を分割して項目ごとに掲載しています。

●設問内容について
「答えにくい設問」ではなく、自分が「わからない設問」が多かったと思いました。市政に対して、私自身があまり勉強していなかったことに気づきました。これから、もっと知る事に努力したいと思います。
1つ1つにもっとわかりやすい説明をして欲しい。
アンケートの内容が理解できないものがあつた。
イメージがわからないことが多かった。
こういう設問があること自体がおかしい。我々が答えやすいように考えるべきだ。
わからない設問が多かった。
何がして欲しいか明確に聞いて欲しい。
学校の設備についてなど、回答できないものが含まれるので、回答者の属性に合ったアンケート内容にしてほしい。
考えさせられる設問が多かった。
行政が予定している施設、設備、行政内容（例えば5年先、10年先の内容）を明記し、一般市民の意見を聞くコーナーがあってもいいのではなかろうか。
高齢にてインターネット等をしていませんので、デジタル化を質問されても解りません。勉強不足で申し訳ありません。
産業分野の質問は、自分には全くわからないので満足も不満も実感がない。
子育ては終わってしまっているの、現状の学校や子育て支援については良くわからない。又、年齢的にも介護の現状もわからない（親はまだ介護度が低い）。
子供達がいないので、学校関係の事は全々情報がわかりません。
市の取組のアンケートがよくわからなかった。
特に問39にわからない設問が多かった。
市政の満足度、重要度はとても難しい。
市政の満足度は細かすぎて考えこんでしまうし、わからない所が多い。
市政全般の満足度・重要度の設問ですが、答えられない設問があり、空欄にしておきました。
市政全般の満足度と重要度の質問の意味が難しい。そして多いと感じた。
私は年寄りで世間知らずで物がわからず、むずかしかったです。
質問が難しいものもあつた。
市政の取組についてアンケート調査すると共に、現況や将来のことを考えられる資料を提供してもらいたい。
年齢に応じた問題があっても良いのではと感じました。

前のページにて、「起業や事業継承への支援」とあったが、起業と事業継承は異なるものであるため、質問は分けてほしい。農業や林業の担い手の高齢化が進んでいる今、起業よりも事業継承への支援の方が重要であると考えます。
質問内容が甘すぎると思いました。本気で市民の意見を知りたいのであれば、もっと深く掘り下げてグイグイ聞いてくれたほうが私は正直に言えるのになと思います。自分の生まれたこの土地に愛着はあるのですが、マイナスな部分が目について、少しずつ気持ちが南魚沼市のほうへ向いています。
内容がわかりにくいところがあり難しい。
難しい設問も多かったが、一応協力はしたいと思う。
年齢に幅があり、自分に関係しない設問が多かったように思った。
年齢的にわかりにくい。
無駄な設問が多い。
良く分からない事が多い
なかなか難しかった。
●回答について
(○は3つまで)の設問は、1つ、2つでもいいのか、3つを選ぶのかわからない。
P15、16は、現在の内容がわからないのが多いので答えにくい。
5.の(市政全般)は、現在の取組について認識不足で、どう回答したら良いか判断できなかった。
5のアンケートに対し(全部のアンケートも)、特に自分の満足度と言われても、どれも大事な仕事ばかりに思えます。現状もわからずすぎて、選べなくなりました。魚沼市のために、努力を続けて下さい。
5の満足度・重要度の部分は、わからない分野もあって答えに困った。
あてはまらなかったり、悩む項目が多くありましたが、枠外に少し書かせてもらいました。すいません。
あまり関わっていない設問には答えづらかった。
インターネットでは一度に回答しなければならないので、回数を分けてじっくり考えられるようにしてほしい。
そもそもアンケートの回答が設定されているのがおかしいと思います。たとえば、人口減に関することだけにしぼって広く市民からの意見を聞きようにすることで、市民の皆さんも興味をもつと思います。
それぞれの項目ごとに意見を書ける欄がある方が分かりやすいと思いました。
どちらともいえないという質問が多く、答えづらいし、時間がかかる。
回答者の年齢で考え方が変わるので、世代別で回答できる様式だと答えやすいと思います。
高齢なので消極的な答えしか出来なくて、残念です。
最後の現在の満足度については、分からない部分もありましたので、もう少し分かりやすく、答えやすいよう作成していただければなと思いました。今後、生活しやすくなるよう頑張ってください。
自分に関係ない設問は答えにくい。
自分に直接関係のない設問もあり、答えにくいことがあった。
自分の関わりのない分野に関しては答えようがない。
身近でない質問の答えに迷った。
適当な回答がないものもあると思った。

普段の生活で意識していない事を聞かれても、答えるのが難しい。
問 39 は、回答が難しく自信なしです。
満足度、重要度の設問が、漠然としすぎていて答えづらく、どれも「やや」になってしまいました。
問 39→答えに困ったものがいくつもあり、4 段階は迷う。(そう仕向けているのでしょうか)
問 39 について、「満足」とも「不満」とも感じられないので(重要度についても) 13 以外に○はつけませんでした。他の問いも具体的に考えられずすみません。「1」については、個人的なことを表したくありません。
●選択肢について
「どちらでもない」の回答選択肢があるといい。
スマホでアンケートを記入する時に選択肢が満足、やや満足、やや不満までしか見えなく不満の選択肢がわからなかった。もしかしたらそれに気づかないままの人もあるかな？
もう少し設問の選択幅が多いと答えやすくなると思います。
よく分からないことがあり、「満足」「やや満足」の 2 択では答えにくいと感じる設問がありました。
わからないため満足、不満では答えにくい。
回答は 2 択で良いと思います。
計画や政策に対する具体的な選択肢を実施して欲しい。
現在の満足度・今後の重要度は、yes・no. だけでなく、どちらともいえないとか興味がないとか、わからないの 5 択にしてほしい。
今年魚沼市に転入してきました。市が行っている制度や環境についてわからないことが多かったので、「わからない・知らない」という選択肢をもう少しつけて欲しかったなと思います。
全てのことに興味を持って暮らしているわけではない。わからないなどの項目設定が必要。
最後の満足度の設問について、満足、不満しか選択肢がありませんでしたが、その項目について知らない、関心が無かったものについては満足、不満では答えにくいと感じました。
自分が答えようがない問い等、パスする項目を設定してください。
設問によって、自由記述の選択肢があっても良いかも。送信前に確認できる方が良い。
全ての解答欄に「わからない」を設けてほしい。
●設問数について
設問数は多いと思ったが、アンケートとしては仕方がないのかなと思った。
ボリュームでびっくりしましたが、お力になれば嬉しいです。
質問が多過ぎるような気がする。
回答数が多い。もう少し具体的な質問内容、または子育てなら子育て！高齢化なら高齢化！といったようなアンケートの方が回答しやすい。
最後の設問が多い。
設問が多過ぎる。同じような設問は避けるべき。
●所要時間について
アンケートの所要時間は、15 分では終わりません。
いっぺんでくたびれました。
けっこう時間がかかった。(15 分では終わらない。)

回答提出期限にゆとりがあったので時間をかけて回答できた。
期限が過ぎてしまい申し訳ありません。
時間がかかった。
終わるまでにけっこう時間がかかった。
設問が多かった。時間がかかった、つかれた。
設問が多すぎて、よく知らないことにも答えなければいけなく、時間がかかりました。
長かった。
答えに悩んでいるうちに期限が過ぎてしまいました。申し訳ございません。
普段、考えたことがないので、回答にあたって考えこんで、時間がかかった。
全般的によく考えて回答すると 15 分では済みません。
●調査結果の反映について
アンケートが直接市政には反映はしないと思うが、市民の意見を聞いてもらえる場にはなと思う。
アンケートを取ることを意味があるのか、少なくとも税金でやってることなので成果が見える形で出してもらいたい。
アンケート結果を市民に示して、具体的な対策・計画案として今後示していただけると、引き受けた意味があると感じることができる。
このアンケートがどのように反映されるか？疑問である。活用されるのか？
このアンケート結果が実りあるものになるよう、真剣に活用して欲しいです。
これをして、地域の人の声が届き、反映して欲しいです。
意見を書けるところがたくさんあると嬉しいし、アンケートで市民の意見を取り入れて下さるのは嬉しいです。
意味があるのか、今後に活用されてほしいです。
今回のアンケートの結果を、どのように市政に反映していくのか市民に教えてほしい。
魚沼市がよりよくなって住みやすく、住みたくなる地域になってもらいたい。
自分の意見がしっかりと市の計画に反映されてほしい。
設問が今後の市政に反映されるのか、疑問が残る感じがしました。
●全体的な感想
あまり役に立てなかったのではと思っています。ごめんなさい！！
アンケートありがとうございます。これからの魚沼市に期待します。今後もよろしくお願いします。
アンケートの集計は、なぜ業務委託しているのか？ムダなコストはかける必要はないと思います。
アンケートはPCなら手軽なので、これからも多く実施しても良いと思います。
アンケートは一部の人となると、意見等がまとまるのかなと思ったり、皆さんにより住みやすい所になってほしいと思いますし、とりくみに感謝したいと思います。
がんばって続けてください。
行政目線ではなく、住民目線での行政政策を考えてほしい！！魚沼は生まれた所なので好きですよ。しかし、一度離れてみると、あまりにも他の地域との差があることにガッカリします。ステキな所・良い所がたくさんあるのに。それが、知られていない。残念でなりません。もっと魚沼のことを発信しましょう。その手段を考えましょう。もっとどんどん住民の意思を聞きましょう。たぶんみなさんの努力が住民の人たちに届いていないのではないですか？努力が無駄にならないよう、どんどんアイディアを出してください。

さい。今回のこのアンケートが魚沼の一步前進に役に立って、みんながおどろくような魅力ある魚沼にしてください。期待しています！！
はじめてアンケートしたと思うのですが、こういうふうに広く意見集める事も大事なんだろうなって思いました。
このアンケートを実施して頂いたことに感謝します。とてもいいことだと思います。市民皆で、必ずより良い魚沼市にしていきましょう。すてきな人がいっぱいいる魚沼市です。 We can do it！！
このアンケートを取ることに意味があるのかわからない。
わからない事もありましたが、自分なりにアンケートに答えました。
一部の方へのアンケートは回答に偏りがでると思います。回答が得られないことも多いと思いますが、行政の関わることは、なるべく全世帯を対象にするなどが好ましいと思います。
結果論でのアンケートに思えた！
公共の場所にあまり行くことがないので、どう思うかと言われても答えかねる。デジタルはついていけないし、覚えようと思う気もあまりない。でも、人々にはここで生活してよかった。生きがい・やりがいを持てるような良い市になるとうれしいです。
今後ぜひ実施をお願いいたします。
市として方向性を示した上で、皆の意見を聞いた方が良いと思います。
紙の節約が地球を守るので、会社でもペーパーレス化・電子化に移行しているので、インターネットで回答した時は、紙が無駄になると思い記入しました。
ペーパーレス化を考えては、どうですか。紙のムダ、経費のムダにしか思えない。
紙ベースの内容とネットの設問が違い、集約の意味があるのか疑問。途中で回答をやめてしまいました。悪しからず。
自分が自分や家族のことで精一杯で、市の活動に対してあまり知らないんだなと感じました。
前半アンケートは必要なのか。後半アンケートを充実した方がよいと思った。
自分が選ばれ、市民として気持ち・意見を伝えられて感謝します。以後、同じようなアンケートがあれば、協力させてもらいます。
都市部、山村部広大な魚沼市の多様な暮らし向きに、きめ細かく情報収集し切れるか疑問を感じた。
当方スマホは持っておらず、パソコンにURLを入力しましたが、回答のページにたどり着くことができず、知り合いのスマホから回答させていただきました。当方の見落としなら申し訳ありませんが、ホームページにリンクを付けていただけたらありがたかったです。
年齢がいつているので、今のデジタルについていけないです。
封に糊があればもっとよかった。
無作為でアンケート回答者を選ぶのも大事ですが、高齢者だけではなく、20～30代のこれからの魚沼市を担う若者たちの意見や意思を聞いたり尊重して欲しいなと思います。
良いと思います！
行政に関心をもたずにいました。
地域、行政への関わりと関心がなかったことに改めて気付かされた。今後改善していきたいと思った。
年齢の段階において感じ方は違ってくると思います。私が感じることですが、全般的でなく、段階別のアンケートのほうがより一層くわしく知ることが出来るのでは？まとめ

るのは大変でしょうが、記述式もあったほうがより具体的なことを知ることが出来るのではと思います。
●その他
ずいぶん前ですが、市民が参加する行政の会に出ました。するといつも同じメンバーが参加していました。聞くと参加と頼みやすい人、行政側の都合を十分理解していて頼みやすいということでした。前例や既成概念にしばらずという観点からご一考いただければと存じます。
とにかく、もうすこし市長に、市民のことを考えてほしい。
やっているかは分からないが、若者達を集めて、魚沼市を活性化する企画・会などを開いて聞いてみたらどうか。
行政事務を行っている職員のプロ意識が非常に弱い。
高齢化・少子化に当たり、今後どう生活できるか？税負担や収入面も心配は絶えないが、今出来る事をするしかないのが現状。ただ有難い事に、色々な人に心配され、お野菜など届く心の温かさは感じる。
今のままの感じで良いと思います。
市長・職員・議員、平和ボケせず、公平に身を正して対応してもらいたい。（サービス業であり、自分の金ではないのだ）
住みやすい市＝楽しい事がないと市外に求める。収入も必要。
談合について入札も、詳しく。内田市長へ、お金業者から絶対受取らない事。
転居してきた私にとって、魚沼市は何もなくて、夜暗いということしか思っておりません。時代の流れ、変化に対応するのは大変だけど、「人口減少＝市外へ行く人が増えること」。若者向きの市になることを願います。
この土地でこれからも生活していきたいと思うので、若い人達がここで働いて生活してゆける街になってもらいたいと切に願っています。
老後、1人でも、自宅で暮らして行けるサポートをお願いします。特に、老々介護には手厚いサポートをお願いします。
特になし。
特に無し。がんばれ魚沼市！いい町魚沼市！